

平成 24 年度

決算に係る主要な施策の
成果についての報告書

平 戸 市

目 次

主要な施策の成果

(一般会計)

議 会 費	1 頁
総 務 費	3 頁
民 生 費	25 頁
衛 生 費	49 頁
労 働 費	63 頁
農 林 水 産 業 費	65 頁
商 工 費	103 頁
土 木 費	125 頁
消 防 費	147 頁
教 育 費	153 頁
災 害 復 旧 費	193 頁
公 債 費	197 頁

(特別会計)

国 民 健 康 保 険	201 頁
後 期 高 齢 者 医 療	209 頁
介 護 保 険	211 頁
農 業 集 落 排 水 事 業	221 頁
宅 地 開 発 事 業	223 頁
あ づ ち 大 島 い さ り び の 里 事 業	225 頁
電 気 事 業	227 頁

【 1 款 議会費 】

地域住民の代表機関として、地方自治体の最終意思決定機関である地方議会の役割は大幅に増大しており、組織の自己決定権を尊重し、議会の活性化及び公開を図りつつ、住民に理解が得られる議会運営が求められている。

こうした状況の中で、議会の審議能力の向上はもちろんのこと、地方議会の充実強化あるいは議員個々の政策形成能力の高揚に努めた。

特に市民の悲願でもある西九州自動車道の早期建設に向け、積極的な取り組みを行い進展がみられた。また、本市の厳しい財政状況の下、重要施設整備検討特別委員会、行財政改革特別委員会を開催し、重要施設の整備に関する調査研究及び、公の施設等の見直しと有効活用について横断的かつ総括的に調査研究を行った。

このような、議会の活動内容を市民に広く知らせるために、議会中継システム、会議録検索システム、議会だよりを活用し開かれた議会の構築に向けて努力を重ねた。

(1) 議員研修旅費

各常任委員会では、先進都市のすぐれた施策等を見聞し、市勢浮揚の一助となるよう所管事務調査等を実施した。

- ・総務委員会 …… 消防行政及び公共施設ストックマネジメントについて
(北海道上川郡美瑛町、滝川市)
- ・産業建設委員会 …… 畜産行政 (近江牛のブランド化の取り組み) 及び観光行政 (魅力的な観光地づくり) について
(滋賀県大津市、湖南省、蒲生郡日野町、長浜市)
- ・文教厚生委員会 …… いじめ防止条例及び病院事業並びに図書館事業について
(岐阜県可児市、愛知県新城市、田原市)
- ・議会運営委員会 …… 議会運営及び議会改革の取り組み並びにプロジェクター等を活用した議会運営・委員会中継について
(千葉県流山市、柏市)
- ・議会広報特別委員会 …… 議会広報作成全般について
(福岡県古賀市、佐賀県伊万里市)

事業名	事業内容	事業費
議会中継システム 管理事業 (議会事務局) 【事項別明細書 86 頁】	開かれた議会と議会傍聴ができない市民等の利便性向上のため、インターネットによる本会議の生中継、録画中継を行った。	1,659
議会会議録作成経費 (議会事務局) 【事項別明細書 86 頁】	議会内容の記録・保存のため会議録を作成するとともに、ホームページへの掲載を行った。また、議会に関する情報を広く市民に周知するため「市議会だより」を発行した。 ・会議録 2,173 千円 発行回数：年 4 回 発行部数：54 部 ・市議会だより 662 千円 発行部数：14,500 部 発行回数：定例号 年 4 回 (5 月、8 月、11 月、2 月)	2,835

(2) 特別委員会

【議会広報特別委員会】

市議会だより「とかいせん」は、定例号 4 回を発行した。各号発行に際し委員会を 3 回開催し、市民に議会の様子がよりわかりやすく伝わるよう記事・レイアウト等の校正に努めた。

また、シリーズ「ふるさと宝さがし」では、委員が各地区の行事や歴史を取材し地域の魅力を発信した。

【西九州自動車道整備促進特別委員会】

平成 24 年度も引き続き、伊万里道路、伊万里松浦道路の事業推進及び松浦市から佐々町間の早期事業化に向け、佐賀、長崎河川国道事務所、九州地方整備局、自由民主党本部、地元選出国會議員等に対し、事業促進に向けて要望活動を行った。

特に中央要望活動を、民間団体と合同で昨年に続き実施したことにより市民の関心がより高まったものと思われる。そうした中で、松浦・佐々間約 19 キロメートルが事業の前提となる環境影響評価の手続きが完了したことは、事業化に向けて大きな成果があった。

【重要施設整備検討特別委員会】

前年度に引き続き、重要施設の整備に関する調査研究のために 2 回の委員会を開催した。

6 月定例会では、施設を総合的に企画・検討・調整する体制を行政に強く求め、最終報告を行った。

【行財政改革特別委員会】

公の施設等の見直しと有効活用について横断的かつ総括的に調査するため、6 月定例会において設置し、4 回の委員会を開催した。市が所有する公の施設等に特化した行財政改革について審査を行い、平成 25 年 3 月定例会において中間報告を行った。

(3) 市議会会議録検索システム

会議録検索システムの活用により、インターネット、庁内のネットワークを通して市民や理事者等が本会議の内容を知ることができるなど、情報化時代に即応した事業の展開が図られた。

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,659	いつでも視聴できる環境で、市民に開かれた議会情報の提供を行い、市政への関心を図ることができた。 アクセス件数 H24 生中継 1,349 件 録画中継 1,372 件 H23 生中継 1,635 件 録画中継 1,696 件 H22 生中継 1,630 件 録画中継 2,085 件
			2,835	会議録発行と併せて、インターネットによる検索システムにより、いつでも誰でも迅速に、容易に会議録の閲覧ができるようになり、また、市議会だよりを通じて、より身近な議会活動情報を提供し、市民に対し市政への関心を醸成することができた。

【 2 款 総務費 】

1 総務管理費

(1) 一般管理費

少子高齢化、高度情報化などが進展し地方分権が推進される中、複雑多様化する行政ニーズに対応し、分権時代に対応できる環境の整備や職員の資質向上が求められている。こうしたことから、開かれた行政、市民総参加のまちづくりを進めるとともに、長崎県市町村職員研修センター主催の研修をはじめとする各種研修への職員の参加等を積極的に行った。また、国家公務員においては平成 21 年 4 月から改正国家公務員法の施行による新しい人事評価制度が実施されており、今後、地方公務員法の改正による同制度の義務化が予想されることなどから人事評価制度構築に向けた取り組みに着手した。

また、平戸市市民表彰式を行い各般にわたって市政の振興に寄与した者や、市民の模範と認められる行為があった 26 人及び 2 団体に市民表彰を授与し、個々の業績を称え本市の自治振興を促進した。

また、市長自らが各地区に赴き、地域の実情や課題等を把握し、市民の皆さんの声をより市政に反映させるため、移動市長室及び市政懇談会を開催した。

(2) 広報費

広報活動については、市政に関する情報を市民等に広く周知するため、「広報ひらど」の発行及びホームページによる情報発信を行った。

「広報ひらど」とホームページに、市民の声のコーナーを設け、市民の意見を積極的に収集することに努めた。

(3) 情報通信費

平成 23 年 7 月 24 日に完全移行した地上デジタル放送について、難視聴対策のための共聴施設整備に対する補助を行った。

また、地域社会における情報化を推進し、地域の活性化及び豊かな市民生活の実現を図るため、平戸市地域情報化推進協議会を設置し協議会を開催した。

(4) ふるさと振興費

本市では、地方分権、自治体財政の悪化、少子化・高齢化、環境保全や産業の空洞化等、多様化高度化する地域社会の課題に対して、法令等に基づく画一的な行政サービスでは十分な対応が困難となる中、新たなまちづくりのシステムとして、「市民と行政が対等・平等な立場で、お互いを理解し尊重しながら協力してまちづくりを行う」協働によるまちづくりを進めている。

平成 24 年度は、平戸市まちづくり大会を核として、市民活動を推進する施策を強化するとともに、新しいコミュニティの形成を目指した地域の元気づくり支援交付金を創設し、住民自治の確立に向けた取り組みを実施した。

また、定住対策については、ホームページ等による情報提供や定住希望者への相談対応、また、田舎暮らし体験ツアーの開催により、本市への定住の促進を図った。

さらに、農林、水産、商工関係団体及び市で組織する協議会において、独身男女のめぐりあいの場を提供するイベントを開催した。

(5) 国際交流費

平成 23 年 9 月 18 日に姉妹都市締結を行ったオランダ王国ノールトワイケルハウト市との姉妹都市交流事業として、市内高校生 12 名を青少年訪問団として派遣し短期留学事業を行い、両市の友好交流を深めた。

さらに、友好都市である中国福建省南安市との交流では、日中国交正常化 40 周年を記念して開催された「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」へ両市の中学生からなる合同チームを編成して大会へ参加した。

また、国際交流につながる活動を行う団体の交流活動に対し助成を行い、市民団体レベルでの国際交流を推進することができた。この他に 2013 年は平戸に英国商館が設置されて 400 周年を迎えることから、各種記念事業を実施するための事前調査等を行った。

(6) 国土調査事業

本事業は、土地の保全及びその利活用の高度化に資するとともに、地籍の明確化及び土地行政の円滑化を図り、土地に関する紛争の未然防止や早期解決、土地取引や公共工事の円滑化など、市民生活並びに行政施策ともに効果性の高い事業として実施した。

(7) 交通政策費

度島、高島地区の生活航路を維持・確保するため、離島航路の運航補助や運航委託を行った。また、地方バス路線の確保を図り、地域住民の福祉の向上に資するため、ふれあいバスの運行補助などを行った。さらに、鉄道交通の安全性の確保と利便性の向上のため、松浦鉄道(株)が行う施設整備に対し支援を行った。

(8) 諸費

市内 6 か所で市民総合相談所を開設するとともに、市民総合相談室を常設し気軽に相談できる機会を設け、悩み、相談、トラブルなどの解決を図るための助言等を行った。

【 2 款 総務費 】

2 徴 税 費

賦課事務については、地方税法、市税条例等を基に公平・公正な課税に努めており、電子申告をインターネットを通じて受け付けることができる「eLTAシステム」の導入が完了し、利用者の利便性と事務の軽減化・経費削減が図られた。

また、固定資産税課税の適正及び公平化ならびに課税業務の円滑な遂行を図るため導入している土地評価システムにおいて平成 27 年度評価替えに向け、航空写真のデジタル撮影を実施した。

徴収事務については、デフレ等による景気低迷が続く中で、依然として滞納整理を取巻く環境は厳しい状況にあるが、「納税推進行動計画」に基づき、滞納整理の促進に努めた。

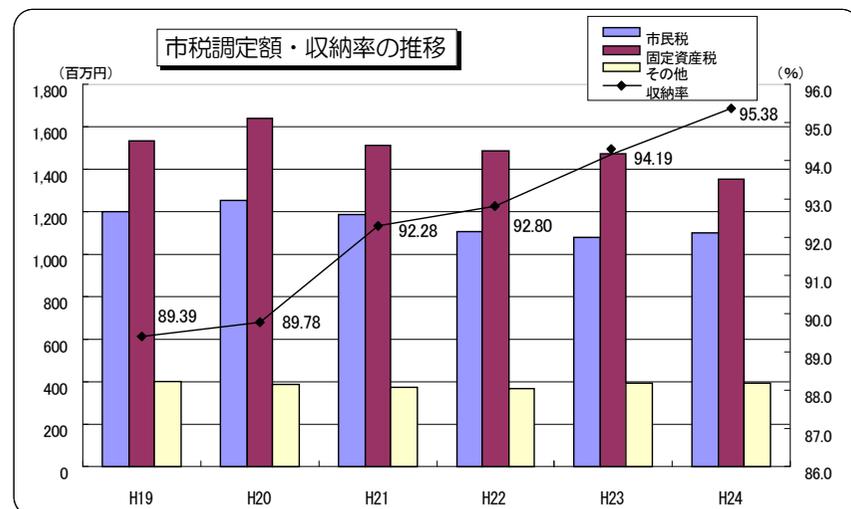
特に平成 20 年度から実施している「搜索」等により滞納者の生活実態を把握し、納税相談を行う中で多重債務等の解消についても指導を行うなど、納税者の生活再建にも寄与するとともに、税に対する納税意識の高揚にもつながっている。このような取り組みの結果、過払い金の還付による自主納付の増加や差押えによる公売会の実施などの効果があり、平成 24 年度は特に不動産公売に取組み、滞納繰越分の収納率が飛躍的に増加し、県下でも上位を維持している。

しかしながら、過払い金の請求等については効果が限定的なこともあり、今後も研修等による滞納整理担当職員の資質向上に努めるとともに、引き続き、搜索や合同公売会、不動産公売を実施するなど、さらなる徴収事務の推進に努めていきたい。

調定額、収入額及び収納率の比較 (単位：千円、%)

税目	平成 23 年度			平成 24 年度		
	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
市 民 税	1,082,145	1,046,922	96.7	1,103,186	1,076,191	97.55
固定資産税	1,471,166	1,345,074	91.4	1,351,937	1,256,190	92.92
軽自動車税	94,138	89,538	95.1	94,787	90,755	95.75
市たばこ税	211,994	211,994	100.0	215,207	215,207	100.0
入 湯 税	27,973	27,973	100.0	27,720	27,720	100.0
都市計画税	60,311	55,002	91.2	55,462	50,786	91.57
計	2,947,727	2,776,503	94.2	2,848,301	2,716,851	95.38
うち滞納繰越	190,990	79,744	41.8	158,927	78,856	49.62

※滞納繰越分を含む。



3 選 挙 費

次の選挙を執行した。

- ① 長崎県北部海区漁業調整委員会委員一般選挙 (無投票)
- ② 国営田平土地改良区総代選挙 (無投票)
- ③ 田平土地改良区総代選挙 (無投票)
- ④ 衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査 (投票日：平成 24 年 12 月 16 日)

4 統計調査費

平成 24 年度において、統計法に基づく以下の統計調査を実施した。

- ① 工業統計調査
- ② 住宅・土地統計調査 (単位区設定)
- ③ 就業構造基本調査
- ④ 経済センサス

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
人事評価制度構築事業 (総務課) 【事項別明細書 90 頁】	人事評価制度の構築に向け、職員アンケートを行い、平戸市職員人事評価に関する検討委員会において、人事評価制度の設計・構築について検討を進めた。また、人事評価制度マニュアルにより、職員を対象として制度説明会を開催した。 ・職員アンケート 594人 ・検討委員会開催回数 6回 ・制度説明会 368人	3,004

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			3,004	人事評価制度導入に向け、人事評価マニュアル及び職員の行動指針となる、求める職員像を策定することができた。 また、制度説明会の実施により、人事評価制度に対する職員の理解が深まった。

事業名	事業内容	事業費
市民表彰制度事業 (総務課) 【事項別明細書 90 頁】	本市の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市勢の振興に寄与した者や市民の模範と認められる行為があった者など特別2人、個人24人及び2団体に市民表彰を授与した。 平戸市市民表彰式 期日 平成25年2月23日 場所 平戸文化センター 表彰 特別 体育 2人 個人 地方自治 8人 産業 4人 体育 1人 消防防災 4人 交通安全 2人 德行 1人 寄附 2人及び2法人 団体 優良団体 2団体	132
移動市長室開催事業 (政策推進課) 【事項別明細書 96 頁】	地域の実情や課題を把握し、市民の声を市政に反映させるため、市長自ら各地域に赴き、地域住民との意見交換を行った。 開催状況 移動市長室 5か所 15人 市政懇談会 8か所 468人	36
平戸市振興公社公益法人移行事業 (企画課) 【事項別明細書 98 頁】	公益法人制度改革に伴い、(財)平戸市振興公社が旧法から新法に基づく法人へ移行する際に必要となる手続き等を専門家へ委託する経費に対し、助成を行った。 全体事業費 3,360千円(H23:1,680千円 H24:1,680千円)	1,680
情報格差等対策事業 (政策推進課) 【事項別明細書 100 頁】	平戸市地域情報化推進協議会を設置し、地域情報化の指針の策定のため協議会を行った。 委員13名 協議会開催 4回	139
無線システム普及支援事業 (政策推進課) 【事項別明細書 102 頁】	平成23年7月24日の地上デジタル放送移行に伴う難視聴対策として、共聴施設の整備に対する補助を行った。 実施地域 2件 鮎川地区(平戸南部) 12世帯 大久保地区(生月) 24世帯	17,610
高齢者交通安全対策事業 (市民課) 【事項別明細書 108 頁】	運転免許保有者数に占める高齢者の割合が増加傾向にあり、交通死亡事故の当事者となる高齢者の比率も増加傾向にある。その中でも高齢者が加害者となる事故が増加していることから、体験型の運転者講習会を行った。	187

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			132	市政功労者・功績者等の表彰を行うことにより、事績を広く紹介し、市勢の振興と経済、社会、文化等の発展に対する市民の意識の高揚を図ることができた。
			36	各地域や市民一人ひとりが抱える問題・課題について、生の声を直接耳にすることで、実態把握ができ、今後のまちづくりに活かすための課題を整理することができた。
			1,680	新法に適合するための財務状況の把握や定款の整備などの手続きが円滑に進められ公益財団法人として認定された。
			139	地域情報化の現状と課題を把握することができた。(平成25年度も継続して事業実施)
		17,244	366	地上デジタル放送移行に伴って、新たな難視聴地域となった世帯の良好な受信環境を保つことができた。
			187	講習会を受講することで、自分自身の運動能力、判断力等の低下を体験することにより、安全運転の意識の向上に寄与した。 【参加人数】 1日目：17人(平戸地区) 2日目：15人(生月・田平・大島地区)

事業名	事業内容	事業費														
地域間交流推進事業 (政策推進課) 【事項別明細書 112 頁】	<p>【枝幸町・平戸市いきいき交流事業】12月24日～28日 平成14年度から始まった北海道枝幸町(旧歌登町)との交流事業は、市内中学生6名が枝幸町を訪問し、ホームステイや雪遊び等を通して枝幸町の中学生や地域住民と親睦を図った。</p> <p>【善通寺市市民号訪問】 10月20日～21日 昭和60年に弘法大師が取り持つ縁で姉妹都市締結を行っている香川県善通寺市とは、隔年ごとに相互訪問を実施。24年度は、善通寺市から市民号使節訪問団17名が友好親善として来平し、平戸くんち城下秋まつりへの善通寺市特産品の出店をするなどの交流を図った。</p>	762														
地域総合整備資金貸付事業 (企画課) 【事項別明細書 112 頁】	<p>地域振興に資する民間事業者の支援を目的とした融資制度について、平戸市森林組合が行う菌床椎茸栽培施設建設事業に対し貸付を行った。</p> <p>貸付対象事業費 171,450千円 財 源 内 訳 国費 85,725千円 市費 27,432千円 森林組合負担額 58,293千円 貸 付 金 14,000千円(森林組合負担額×25%) 新 規 雇 用 者 25名予定</p>	14,000														
地域めぐりあい創出事業 (企画課) 【事項別明細書 112 頁】	<p>農林、水産、商工関係団体及び市で組織する協議会において、独身男女のめぐりあいの場を提供するイベントを開催した。</p> <p>○イベント開催数 5回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>参加実績(男女)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プチ my 畑と海の幸Vo13</td> <td>男：5名 女：4名</td> </tr> <tr> <td>プチ my 畑と海の幸Vo14</td> <td>男：4名 女：3名</td> </tr> <tr> <td>クッキング de ホットなめぐりあい</td> <td>男：5名 女：5名</td> </tr> <tr> <td>平戸牛 de 焼肉 LOVE コン</td> <td>男：8名 女：8名</td> </tr> <tr> <td>平戸恋するスボ婚</td> <td>男：7名 女：8名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>男：29名 女：28名</td> </tr> </tbody> </table>	イベント名	参加実績(男女)	プチ my 畑と海の幸Vo13	男：5名 女：4名	プチ my 畑と海の幸Vo14	男：4名 女：3名	クッキング de ホットなめぐりあい	男：5名 女：5名	平戸牛 de 焼肉 LOVE コン	男：8名 女：8名	平戸恋するスボ婚	男：7名 女：8名	合 計	男：29名 女：28名	575
イベント名	参加実績(男女)															
プチ my 畑と海の幸Vo13	男：5名 女：4名															
プチ my 畑と海の幸Vo14	男：4名 女：3名															
クッキング de ホットなめぐりあい	男：5名 女：5名															
平戸牛 de 焼肉 LOVE コン	男：8名 女：8名															
平戸恋するスボ婚	男：7名 女：8名															
合 計	男：29名 女：28名															

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		84	678	姉妹都市及び交流都市と市民レベルでの親睦と交流を深めるとともに、「平戸くんち城下秋まつり」に特産品が出品されるなど、今後においても人的交流とともに物産交流などが期待される。
	14,000			長期かつ無利子の貸付により事業者の負担軽減が図れたとともに、本市の産業振興・雇用促進に寄与した。
193			382	協議会参画団体による体験型の婚活イベントを実施することで数多くの出会いの場を提供する体制が整った。しかし、近年、街コンなど参加者ニーズが多様化し、年々、参加者が減少している。今後は、時代にマッチしたイベントを企画するなど新しい出会いの場を粘り強く提供したい。

事業名	事業内容	事業費
協働によるまちづくり推進事業 (企画課) 【事項別明細書 112 頁】	<p>本市が目指す協働は、市民が「自ら考え」「自らの力で」実行することを基本におき、市民と行政がお互いを理解し、尊重しながら、それぞれの役割を担い、ともに地域を支えあうことを目的にまちづくりを進めた。</p> <p>平成 24 年度では、これまでの地域活動に対する支援を見直し、その活動を支える市民活動団体の育成及び強化を目的とした「やらんば市民活動サポート事業補助金」を創設し、段階に応じた継続的な支援を構築し、市民が主体となったまちづくりの推進を図った。</p> <p>また、これまでの支援を引き続き実施することで市民と行政が一体となった協働のまちづくりの推進を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やらんば市民活動モデル事業委託料 2件 1,558千円 ・やらんば市民活動サポート事業補助金 12件 3,059千円 <ul style="list-style-type: none"> ①はじめの一歩部門 3件 300千円 ②活動ステップアップ部門 1件 200千円 ③新規事業チャレンジ部門 8件 2,559千円 ・市民力アップ支援事業補助金 1件 5,000千円 ・まちづくり活性化交付金 12件 13,620千円 <ul style="list-style-type: none"> ① 生月地区 4件 6,375千円 ② 田平地区 5件 3,777千円 ③ 大島地区 3件 3,468千円 ・まちづくり大会経費他 820千円 	24,057
地域の元気づくり支援交付金事業 (企画課) 【事項別明細書 112 頁】	<p>市民の参画と連携による自立した地域の確立を目指し、地域が一体となって、個々の課題解決などに取り組むために交付金を創設し、新しいコミュニティの組織化による地域活性化を図る。</p> <p>【平成 24 年度 取り組み実績 2 地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> 度島地区 お帰りのなさいイルミネーション 400 千円 田助地区 ふれあい交流 250 千円 事務費（各事業に係る諸費） 70 千円 	720

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	17,200	4,000	2,857	<p>平成 24 年度から新設した「やらんば市民活動サポート事業」及び「平戸市まちづくり大会」を開催することで、新しい市民活動団体の組織強化など機運が高まってきたが、実際に支援を活用する団体は、少数に止まった。今後とも平戸市まちづくり大会を核にして、市民の意識改革や機運づくりを行っていききたい。</p> <p>また、まちづくり活性化交付金を生月・田平・大島に交付することで、地域の特性を活かしたまちづくりに寄与した。</p>
719			1	<p>地域において、自治会を中心とした各種団体の連携が図られ、地域活動に対する市民参画の拡大や新しいコミュニティへの意識の高揚につながった。しかしながら、平成 24 年度の交付金活用地区は、2 地区に止まった。今後も市民参加型のまちづくり推進のため、本交付金を活用する地区を増加させるため、各地区説明会を実施する。</p>

事業名	事業内容	事業費							
			定住促進対策事業 (企画課) 【事項別明細書 114 頁】 ホームページ等による定住関連情報の提供を行うとともに、都市圏において開催された「ながさき田舎暮らしキャラバン」等に参加し、本市への定住希望者への相談対応を行った。 また、平戸ならではの生活を体験してもらうための「田舎暮らし体験ツアー」を開催した。 ○ながさき田舎暮らしキャラバン及びふるさと回帰フェア <table border="1"> <thead> <tr> <th>会場名</th> <th>本市相談者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京会場</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>大阪会場</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32件</td> </tr> </tbody> </table> ○平戸市田舎暮らし体験ツアー 参加者 1回目 4組 5名 2回目 4組 7名	会場名	本市相談者	東京会場	10件	大阪会場	22件
会場名	本市相談者								
東京会場	10件								
大阪会場	22件								
合計	32件								
「やらんば！平戸」応援基金プロジェクト事業 (企画課) 【事項別明細書 114 頁】	ふるさと納税制度を受けて創設した「やらんば！平戸」応援基金について、平戸市総合計画の「やらんば燦燦プロジェクト」を達成するための事業への活用を行った。 市内公民館プロジェクター購入(4台) 809千円	808							
国際交流員招致事業 (政策推進課) 【事項別明細書 116 頁】	姉妹都市交流事業などの国際交流事業を円滑に実施するため、国際交流員1名(オランダ人)を雇用し、通訳業務を行うとともに、学校訪問や各種イベント等において、異文化の理解を深める交流を行った。	4,656							
南安市友好交流事業 (政策推進課) 【事項別明細書 116 頁】	日中国交正常化40周年を記念して開催された「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」に、鄭成功との歴史的なつながりで、友好都市を締結している中国福建省南安市の中学生と本市中学生の合同チームを編成し大会へ参加した。 開催日時 平成24年8月16日(木)～8月21日(火) 開催場所 中国北京市(中国オリンピックセンター体育館) 参加者 平戸市 5名 (中学生男女各1名、監督、役員、随員)	906							

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		941	473	キャラバンやホームページ等による情報発信により98件の相談を受け、7世帯16名のUIターン者の定住につながった。 ○UIターン者数 平成18年度 1世帯 1名 平成19年度 7世帯 12名 平成20年度 5世帯 10名 平成21年度 4世帯 13名 平成22年度 6世帯 13名 平成23年度 7世帯 14名 平成24年度 7世帯 16名
		808		公民館講座の充実並びに利用団体の活動の幅が拡充された。今後ともふるさと応援寄付金の推進を図るとともに、寄附者の意向を反映した効果的な基金の運用を行っていく。 ○「やらんば！平戸」応援基金残高 2,760千円(H24末)
	4,100	18	538	国際交流員を配置したことにより、オランダ王国などとの交流事業の際に、円滑に事業運営ができた。また、学校訪問や各種イベント等を通じて異文化への理解に貢献するとともに、市民レベルでの国際交流を推進することができた。
			906	両市の友好親善を深めるとともに、スポーツを通じて21世紀を担う青少年の友好交流の輪を大きく広げることができた。

事業名	事業内容	事業費																															
平戸英国商館設置 400周年記念事業 (政策推進課) 【事項別明細書 116 頁】 【事項別明細書 118 頁】	2013 年は、平戸英国商館が設置されて 400 周年の記念の年となることから、官民一体となった実行委員会を組織し各種記念事業開催に向けた事前調査を行うため、実行委員会委員による訪問団を英国に派遣するとともに、記念事業PRのための事前準備を行った。 【事前調査訪問】 訪問者 5名 期間 平成 24 年 10 月 30 日～11 月 4 日 訪問先 イギリス国ロンドン市、メドウエイ市	3,024																															
平戸英国商館設置 400周年記念推進 事業 (政策推進課) 【事項別明細書 118 頁】	平戸英国商館設置 400 周年記念事業を推進するため、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用した実行委員会事務局の推進体制の整備を行った。 雇用人数 1名 雇用期間 平成 25 年 2 月 1 日～3 月 31 日	468																															
ノールトワイケル ハウト市姉妹都市 交流事業 (政策推進課) 【事項別明細書 118 頁】	平成 23 年 9 月に姉妹都市締結を行ったオランダ王国ノールトワイケルハウト市との更なる友好交流を発展させるため、市内高校生 12 名を青少年交流訪問団として派遣し短期留学事業を行った。 訪問期間 平成 24 年 9 月 10 日～9 月 23 日 参加人数 17 名 (高校生 12 名、教員 3 名、国際交流員、随行) 短期留学先 レーウェンホルスト中高等学校	3,224																															
国土調査事業 (建設課) 【事項別明細書 118 頁】 【事項別明細書 120 頁】	土地の保全及びその利活用的高度化に資するとともに、あわせて地籍の明確化を図るため、下記の地区について地籍調査事業を実施した。 ①平戸港周辺地区地籍調査業務委託 (平戸港周辺地区、岩の上第 3-2 地区、岩の上第 2-2-1 地区) ②大久保地区地籍調査業務委託 (大久保第 3 地区、大久保第 2 地区) ③戸石川地区地籍調査業務委託 (戸石川第 2 地区、岩の上第 2-2-2 地区、戸石川第 1-1 地区) ④地籍調査数値情報化業務委託 (岩の上第 2-1 地区、岩の上第 3-1 地区、大久保第 1 地区)	105,449																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務委託</th> <th>工程</th> <th>面積</th> <th>筆数</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①</td> <td>D・E・F</td> <td>0.41 k m²</td> <td>2,118 筆</td> <td rowspan="2">33,511</td> </tr> <tr> <td>G・H</td> <td>0.93 k m²</td> <td>1,793 筆</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td>D・E・F</td> <td>0.33 k m²</td> <td>432 筆</td> <td rowspan="2">14,175</td> </tr> <tr> <td>G・H</td> <td>0.30 k m²</td> <td>377 筆</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>D・E・F</td> <td>0.92 k m²</td> <td>1,974 筆</td> <td>43,177</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>H4</td> <td>1.10 k m²</td> <td>—</td> <td>840</td> </tr> </tbody> </table>	業務委託	工程	面積	筆数	事業費(千円)	①	D・E・F	0.41 k m ²	2,118 筆	33,511	G・H	0.93 k m ²	1,793 筆	②	D・E・F	0.33 k m ²	432 筆	14,175	G・H	0.30 k m ²	377 筆	③	D・E・F	0.92 k m ²	1,974 筆	43,177	④	H4	1.10 k m ²	—	840	
業務委託	工程	面積	筆数	事業費(千円)																													
①	D・E・F	0.41 k m ²	2,118 筆	33,511																													
	G・H	0.93 k m ²	1,793 筆																														
②	D・E・F	0.33 k m ²	432 筆	14,175																													
	G・H	0.30 k m ²	377 筆																														
③	D・E・F	0.92 k m ²	1,974 筆	43,177																													
④	H4	1.10 k m ²	—	840																													

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		1,570	1,454	関係する各種団体及び地域代表からなる実行委員会が組織され、官民が一体となった記念事業への取り組みがなされた。 また、事前調査を実施したことで、史実を記した資料として、徳川家康が発行した「朱印状」の存在により、交易の史実を確認することができたとともに、イギリス側関係団体等の協力を得られるなど、記念事業実施に向けた準備を行うことができた。
468				新たな雇用創出が図られたとともに、記念事業を推進するための事務局体制整備が図られた。
		593	2,631	姉妹都市としての更なる友好交流の促進が図られるとともに、日本とオランダの教育の違いや、ホームステイを通じての文化・生活の違いを体感することができ、次代を担う子どもたちの国際的な視野を広げることができた。
77,385		31	28,033	平成 24 年度は、平戸港周辺地区、岩の上第 3-2 地区、大久保第 3 地区、戸石川第 2 地区、岩の上第 2-2-2 地区、戸石川第 1-1 地区の一筆地調査を実施し、次年度の地積測定、地籍図及び地籍簿の作成のための準備を完了した。及び、前年度に一筆地調査を実施した岩の上第 2-2-1 地区、大久保第 2 地区の成果の閲覧を行い認証・承認の手続きを経て法務局へ送付した。 また、岩の上第 2-1 地区、岩の上第 3-1 地区、大久保第 1 地区の成果について、数値情報化による地籍情報管理システム基礎データを作成することにより、国土調査の成果の管理と利活用を図ることが可能となった。

事業名	事業内容	事業費														
			<p>離島航路対策事業 (企画課) 【事項別明細書 120 頁】 【事項別明細書 122 頁】</p> <p>度島地区住民の生活航路を維持するため、平戸-度島航路の運航事業者に対し運航補助を行った。また、大島・度島航路の悪天候時の薄香港寄港の際における臨時バスの運行委託を行った。</p> <p>○航路：平戸-度島（本村、飯盛）1日4便1,467回運行 旅客人員82,797人 自動車台数9,678台</p> <p>○臨時バス：68回運行 利用者1,206人</p>	19,450												
<p>高島地区航路対策事業 (企画課) 【事項別明細書 122 頁】</p>	<p>高島地区住民の生活航路を確保するため、宮の浦-高島航路の運航委託を行った。</p> <p>○宮の浦-高島：420回運行、利用者891人</p>	1,960														
<p>路線バス維持対策事業 (企画課) 【事項別明細書 122 頁】</p>	<p>地方バス路線の確保を図り、地域住民の福祉の向上に資するため、不採算路線を運行するバス事業者に対し運行補助・委託を行った。</p> <p>○市内生活路線維持費補助 45,013千円</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平戸</td> <td>生月</td> <td>大島</td> </tr> <tr> <td>路線系統数</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>○広域生活路線維持費補助 2,569千円 路線系統数 1路線 平戸～松浦線</p> <p>○ふれあいバス運行業務委託 17,360千円</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>中部(平戸)</td> <td>南部(平戸)</td> </tr> <tr> <td>路線系統数</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> </table>		平戸	生月	大島	路線系統数	5	1	5		中部(平戸)	南部(平戸)	路線系統数	7	3	64,951
	平戸	生月	大島													
路線系統数	5	1	5													
	中部(平戸)	南部(平戸)														
路線系統数	7	3														
<p>松浦鉄道施設整備事業 (企画課) 【事項別明細書 122 頁】</p>	<p>鉄道交通の安全性を確保するため、松浦鉄道(株)が新経営改善計画(平成16年度～25年度)に基づき行う老朽化施設の整備に対し、長崎県・佐賀県及び沿線自治体による支援を行った。</p> <p>事業費：295,777千円 事業内容：レール重量化、分岐器重量化、マクラギ交換など</p>	8,607														
<p>防犯灯管理運営事業 (市民課) 【事項別明細書 122 頁】 【事項別明細書 124 頁】</p>	<p>各地区で設置・維持管理している防犯灯に対して補助を行った。</p>	7,113														

財源内訳				事業の成果																																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																					
			19,450	<p>離島航路を維持するとともに、航路利用者の利便性の向上が図られた。</p> <p>○旅客人員等の推移</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> <tr> <td>運航回数(回)</td> <td>1,452</td> <td>1,444</td> <td>1,467</td> </tr> <tr> <td>旅客人員(人)</td> <td>80,122</td> <td>81,288</td> <td>82,797</td> </tr> <tr> <td>自動車台数(台)</td> <td>8,687</td> <td>9,966</td> <td>9,678</td> </tr> </table>	区分	22年度	23年度	24年度	運航回数(回)	1,452	1,444	1,467	旅客人員(人)	80,122	81,288	82,797	自動車台数(台)	8,687	9,966	9,678																				
区分	22年度	23年度	24年度																																					
運航回数(回)	1,452	1,444	1,467																																					
旅客人員(人)	80,122	81,288	82,797																																					
自動車台数(台)	8,687	9,966	9,678																																					
			1,960	<p>高島地区住民の交通手段の確保に寄与した。</p> <p>○利用者数の推移 (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> <tr> <td>利用者</td> <td>639</td> <td>614</td> <td>891</td> </tr> </table>	区分	22年度	23年度	24年度	利用者	639	614	891																												
区分	22年度	23年度	24年度																																					
利用者	639	614	891																																					
		2,254	62,697	<p>ふれあいバスの運行により、交通空白地帯の解消、通勤・通学・通院などの生活路線の確保に寄与した。平成24年度は、平戸地区の補助対象区間を拡大し、路線の維持を図った。</p> <p>○利用者数の推移 (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">補助</td> <td>平戸地区</td> <td>86,523</td> <td>83,812</td> <td>152,978</td> </tr> <tr> <td>生月地区</td> <td>5,532</td> <td>5,621</td> <td>5,309</td> </tr> <tr> <td>大島地区</td> <td>11,485</td> <td>9,883</td> <td>13,845</td> </tr> <tr> <td>平戸・松浦線</td> <td>37,274</td> <td>37,361</td> <td>39,119</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">委託</td> <td>平戸中部地区</td> <td>17,353</td> <td>16,223</td> <td>16,325</td> </tr> <tr> <td>平戸南部地区</td> <td>9,799</td> <td>11,000</td> <td>12,769</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>167,966</td> <td>163,900</td> <td>240,345</td> </tr> </table>	区分		22年度	23年度	24年度	補助	平戸地区	86,523	83,812	152,978	生月地区	5,532	5,621	5,309	大島地区	11,485	9,883	13,845	平戸・松浦線	37,274	37,361	39,119	委託	平戸中部地区	17,353	16,223	16,325	平戸南部地区	9,799	11,000	12,769	合計		167,966	163,900	240,345
区分		22年度	23年度	24年度																																				
補助	平戸地区	86,523	83,812	152,978																																				
	生月地区	5,532	5,621	5,309																																				
	大島地区	11,485	9,883	13,845																																				
	平戸・松浦線	37,274	37,361	39,119																																				
委託	平戸中部地区	17,353	16,223	16,325																																				
	平戸南部地区	9,799	11,000	12,769																																				
合計		167,966	163,900	240,345																																				
	8,100		507	<p>本整備により、鉄道交通の安全性の確保と利用者の利便性の向上に寄与した。</p> <p>○松浦鉄道(株) 営業路線：有田駅～佐世保駅 93.8km</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> <tr> <td>駅数</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>車両数</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">乗客数(千人)</td> <td>普通</td> <td>1,038</td> <td>1,098</td> <td>1,073</td> </tr> <tr> <td>定期</td> <td>1,859</td> <td>1,809</td> <td>1,859</td> </tr> </table>	区分	22年度	23年度	24年度	駅数	57	57	57	車両数	26	23	23	乗客数(千人)	普通	1,038	1,098	1,073	定期	1,859	1,809	1,859															
区分	22年度	23年度	24年度																																					
駅数	57	57	57																																					
車両数	26	23	23																																					
乗客数(千人)	普通	1,038	1,098	1,073																																				
	定期	1,859	1,809	1,859																																				
			7,113	<p>自治会の防犯灯の設置及び維持管理に対し補助事業を行うことで、安全・安心まちづくりに寄与した。</p> <p>・新規 36基 ・器具取替 77基 ・修理(電球取替等) 296基 ・電気料 2,228基</p>																																				

事業名	事業内容	事業費
人権問題啓発事業 (総務課) 【事項別明細書 124 頁】	差別や偏見のない市民生活を目指し、人権擁護委員協議会と協力して、小学校児童を対象に人権の花運動等の人権問題啓発活動を行った。 人権の花運動(指定校 根獅子小、生月小、大島小) 人権擁護委員会負担金 320千円	390
市民総合相談開催事業 (市民課) 【事項別明細書 124 頁】	市内6か所で相談所を開設し、市民が気軽に相談できる機会を設けた。	84
市民総合相談室設置事業 (市民課) 【事項別明細書 124 項】	長崎県消費者行政活性化基金事業を活用し、消費者相談員の配置及び啓発活動を実施した。 また、市民総合相談室を常設し、市民が相談しやすい環境を整えた。	4,177
土地評価システム管理事業 (税務課) 【事項別明細書 126 頁】	固定資産税課税における税の適正及び公平化ならびに課税業務の円滑な遂行を図るため、土地評価システムによりデータを整備して評価を行っている。また、平成27年度固定資産評価替えに向け、基礎資料となる土地、家屋の航空写真のデジタル撮影を行った。 ○システム内容 航空写真や地番図をデジタル処理した後、情報としてシステム内に取り込み、それぞれを重ね合わせながら、土地の状況を判断し評価を行なうシステム。 ○作業内容 年度内のデータ更新(地番図、家屋図異動修正) 市内全域の航空写真の撮影・デジタルオルソフォト作成	21,851

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
16			374	人権に関する教育や啓発を行うことで、差別や偏見のない温もりある心豊かな地域づくりを推進できた。
			84	近年さまざまな相談依頼があっており、そのため行政相談委員や人権擁護委員等の協力を得て、市民総合相談所を開設し、複雑な相談内容などの最善策を模索し市民がかかえる問題の解決に寄与した。 開設日及び相談件数 平戸南部地区:10月10日 2件 田平地区:10月24日 8件 平戸中部地区:11月5日 4件 大島地区:11月21日 3件 平戸北部地区:12月21日 3件 生月地区:1月16日 0件 相談室(常設) 93件 合計113件
2,369		14	1,794	消費生活相談員及び啓発活動の充実を図ることによって、地域住民の生活や財産を守るとともに、専門員の配置による各種関係機関との連携強化によって、相談解決に努めた。 相談件数 85 件
			21,851	システムにより評価の均衡化が図られ、公平且つ適正な課税を行うことができた。 また、市内全域の航空写真撮影を実施することにより、平成27年度評価替えに向けて正確な客体の把握と基礎データの整備が図られた。

事業名	事業内容	事業費																																																																
収納対策推進事業 (税務課) 【事項別明細書 128 頁】	<p> 搜索等による差押物件の合同公売会、平成 24 年度から不動産公売を実施するなど、滞納対策を積極的に行った。 また、国保事業と連携した F P (ファイナンシャルプランナー) による納税相談の実施や国税 O B による指導を受けるなど収納対策の強化を図った。 </p> <p>○滞納処分件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>19 年度</th> <th>20 年度</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付要求</td> <td>33</td> <td>30</td> <td>43</td> <td>45</td> <td>24</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">差 押</td> <td>債 権</td> <td>201</td> <td>637</td> <td>796</td> <td>1,257</td> <td>1,180</td> <td>1,175</td> </tr> <tr> <td>動 産</td> <td>0</td> <td>37</td> <td>101</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>不 動 産</td> <td>10</td> <td>28</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>自動車等</td> <td>1</td> <td>44</td> <td>38</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>245</td> <td>776</td> <td>987</td> <td>1,460</td> <td>1,337</td> <td>1,340</td> </tr> </tbody> </table> <p>○搜索件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>19 年度</th> <th>20 年度</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搜索</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>70</td> <td>75</td> <td>95</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	交付要求	33	30	43	45	24	29	差 押	債 権	201	637	796	1,257	1,180	1,175	動 産	0	37	101	121	121	72	不 動 産	10	28	9	11	11	59	自動車等	1	44	38	26	26	4	合 計	245	776	987	1,460	1,337	1,340		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	搜索	0	19	70	75	95	50	298
	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度																																																												
交付要求	33	30	43	45	24	29																																																												
差 押	債 権	201	637	796	1,257	1,180	1,175																																																											
	動 産	0	37	101	121	121	72																																																											
	不 動 産	10	28	9	11	11	59																																																											
	自動車等	1	44	38	26	26	4																																																											
合 計	245	776	987	1,460	1,337	1,340																																																												
	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度																																																												
搜索	0	19	70	75	95	50																																																												
長崎県北部海区漁業 調整委員会委員一般 選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 132 頁】	<p> 任期満了に伴う、長崎県北部海区漁業調整委員会委員一般選挙を執行した。 </p> <p> 選挙すべき委員の数 9 人 告示日：平成 24 年 7 月 24 日 (火) 投票日：平成 24 年 8 月 2 日 (木) </p>	92																																																																
国営田平土地改良区 総代選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 132 頁】	<p> 任期満了に伴う、国営田平土地改良区総代選挙を執行した。 </p> <p> 選挙すべき総代の数 35 人 告示日：平成 24 年 11 月 20 日 (木) 投票日：平成 24 年 11 月 27 日 (木) </p>	77																																																																
田平土地改良区総代 選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 134 頁】	<p> 任期満了に伴う、田平土地改良区総代選挙を執行した。 </p> <p> 選挙すべき総代の数 50 人 告示日：平成 25 年 2 月 14 日 (木) 投票日：平成 25 年 2 月 21 日 (木) </p>	178																																																																

財 源 内 訳				事業の成果																																										
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																											
		157	141	<p>○滞納処分にかかる税充当の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>税充当金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得 税 還 付 金</td> <td>107 件</td> <td>2,961 千円</td> </tr> <tr> <td>預 貯 金</td> <td>735 件</td> <td>25,728 千円</td> </tr> <tr> <td>動 産</td> <td>72 件</td> <td>2,383 千円</td> </tr> <tr> <td>給 与</td> <td>161 件</td> <td>8,314 千円</td> </tr> <tr> <td>不 動 産</td> <td>59 件</td> <td>12,437 千円</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>206 件</td> <td>12,347 千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,340 件</td> <td>64,170 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○公売の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>税充当金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インターネット公売</td> <td>8 回</td> <td>2,300 千円</td> </tr> <tr> <td>合同公売会</td> <td>5 回</td> <td>713 千円</td> </tr> <tr> <td>期間入札公売</td> <td>12 回</td> <td>81 千円</td> </tr> <tr> <td>不動産公売</td> <td>2 回</td> <td>9,717 千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>27 回</td> <td>12,811 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※件数、税充当金額については国保税等にかかる分を含む。</p>		件数	税充当金額	所得 税 還 付 金	107 件	2,961 千円	預 貯 金	735 件	25,728 千円	動 産	72 件	2,383 千円	給 与	161 件	8,314 千円	不 動 産	59 件	12,437 千円	そ の 他	206 件	12,347 千円	合 計	1,340 件	64,170 千円		回数	税充当金額	インターネット公売	8 回	2,300 千円	合同公売会	5 回	713 千円	期間入札公売	12 回	81 千円	不動産公売	2 回	9,717 千円	合 計	27 回	12,811 千円
	件数	税充当金額																																												
所得 税 還 付 金	107 件	2,961 千円																																												
預 貯 金	735 件	25,728 千円																																												
動 産	72 件	2,383 千円																																												
給 与	161 件	8,314 千円																																												
不 動 産	59 件	12,437 千円																																												
そ の 他	206 件	12,347 千円																																												
合 計	1,340 件	64,170 千円																																												
	回数	税充当金額																																												
インターネット公売	8 回	2,300 千円																																												
合同公売会	5 回	713 千円																																												
期間入札公売	12 回	81 千円																																												
不動産公売	2 回	9,717 千円																																												
合 計	27 回	12,811 千円																																												
	92			<p> 選挙の結果は、下記のとおり。 漁業法第 94 条において準用する公職選挙法第 100 条第 4 項の規定により無投票。 </p>																																										
		77		<p> 選挙の結果は、下記のとおり。 土地改良法施行令第 18 条の 2 の規定により無投票。 </p>																																										
		178		<p> 選挙の結果は、下記のとおり。 土地改良法施行令第 18 条の 2 の規定により無投票。 </p>																																										

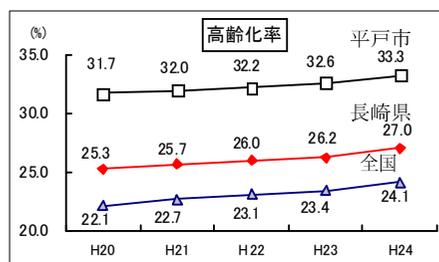
事業名	事業内容	事業費																				
衆議院議員総選挙、 最高裁判所裁判官 国民審査 (選管事務局) 【事項別明細書 134頁】	平成 24 年 11 月 16 日に衆議院が解散されたことに伴い、第 46 回 衆議院議員総選挙を執行した。また、最高裁判所裁判官国民審査も 同時に執行した。 公示日：平成 24 年 12 月 4 日 (火) 投票日：平成 24 年 12 月 16 日 (日) ◎投票所・開票所・期日前投票所内訳 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設置数</th> <th>従事者数</th> <th>延べ日数</th> <th>経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>投票所</td> <td>53 か所</td> <td>299</td> <td>—</td> <td>9,502</td> </tr> <tr> <td>開票所</td> <td>1 か所</td> <td>99</td> <td>—</td> <td>1,167</td> </tr> <tr> <td>期日前投票所</td> <td>8 か所</td> <td>159</td> <td>43</td> <td>2,656</td> </tr> </tbody> </table>		設置数	従事者数	延べ日数	経費	投票所	53 か所	299	—	9,502	開票所	1 か所	99	—	1,167	期日前投票所	8 か所	159	43	2,656	23,932
	設置数	従事者数	延べ日数	経費																		
投票所	53 か所	299	—	9,502																		
開票所	1 か所	99	—	1,167																		
期日前投票所	8 か所	159	43	2,656																		

財源内訳				事業の成果																										
国県支出金	地方債	その他	一般財源																											
23,932				<p>選挙の結果は、下記のとおり。</p> <p>◎投票結果 (小選挙区) 65.38%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平戸</th> <th>大島</th> <th>生月</th> <th>田平</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当日有権者数 (人)</td> <td>16,809</td> <td>1,099</td> <td>5,361</td> <td>5,862</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">投票率 (%)</td> <td>小選挙区</td> <td>65.95</td> <td>70.43</td> <td>68.76</td> <td>60.44</td> </tr> <tr> <td>比例代表</td> <td>75.94</td> <td>70.43</td> <td>68.76</td> <td>60.44</td> </tr> <tr> <td>国民審査</td> <td>64.28</td> <td>70.25</td> <td>64.52</td> <td>59.60</td> </tr> </tbody> </table>		平戸	大島	生月	田平	当日有権者数 (人)	16,809	1,099	5,361	5,862	投票率 (%)	小選挙区	65.95	70.43	68.76	60.44	比例代表	75.94	70.43	68.76	60.44	国民審査	64.28	70.25	64.52	59.60
	平戸	大島	生月	田平																										
当日有権者数 (人)	16,809	1,099	5,361	5,862																										
投票率 (%)	小選挙区	65.95	70.43	68.76	60.44																									
	比例代表	75.94	70.43	68.76	60.44																									
	国民審査	64.28	70.25	64.52	59.60																									

【 3款 民生費 】

1 社会福祉費

本市の高齢化率は、県下の中でも高く、これと相まって少子化現象もさらに進行するなど、福祉を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。このため、社会全体で支える介護保険制度の円滑な運営とともに、高齢者が健康で暮らしやすいまちづくりを目指して、在宅福祉のサービスの充実を努めた。また、障害者対策については、地域の中で自立し、生活するための社会参加型の福祉サービスを実施した。



(1) 社会福祉対策

高齢社会における地域福祉の向上を目的として、民生委員児童委員及び社会福祉協議会との連携により、積極的に市民のニーズに応じた相談、各種サービス等を提供した。

(2) 障害者福祉対策

障害者の高齢化や核家族化など、様々な状況の変化により、行政に求められるニーズも多種・多様化している現状である。また、地域生活への移行や定着のため、住む場所や就労に関する相談も増加傾向にある。平成18年から、「措置」から利用者として事業所との「契約」による利用へと移行し、平成24年には障害者自立支援法に則った、新しいサービス種別の体系へ完全移行した。これに伴い、申請手続きにおいて利用者個々のサービス量や支援制度を窓口、電話、訪問で相談対応し、障害者の社会参加を促進し、安心して生活できるように支援した。また、障害者が病院や入所施設でなく地域で自立できるよう支援を行った。

(3) 高齢者福祉対策

ひとり暮らしの高齢者や介護保険の対象外となった在宅の高齢者に対し、関係機関と連携をとりながら、介護予防・生活支援事業等に積極的に取り組み、安心、安全な生活が送れるよう福祉施策を実施した。

また、高齢者が老後の生活を豊かなものにするための環境づくりとして、老人クラブの活動を支援することにより、教養の向上、地域社会との交流など、高齢者の生きがいと健康づくりに努めた。

高齢者生活福祉センターにおいては、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、自立的生活の助長と社会的孤立感の解消を図った。また、居住部門においては、高齢のため独立して生活することに不安のある者に対して居住施設を提供することにより、安心して生活できる環境づくりに努めた。

(4) 後期高齢者医療対策

後期高齢者医療制度に基づく療養給付費負担金のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基金安定負担金、長崎県後期高齢者医療広域連合事務費負担金等の繰り出しを行い、制度の円滑な運営に努めた。

(5) 国民健康保険

国民健康保険法に基づく事務処理を行うための人件費負担のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基金安定負担金、財政安定化支援事業に基づく財政支援のための繰り出し等を行い、国保財政の健全化及び税負担の平準化に努めた。

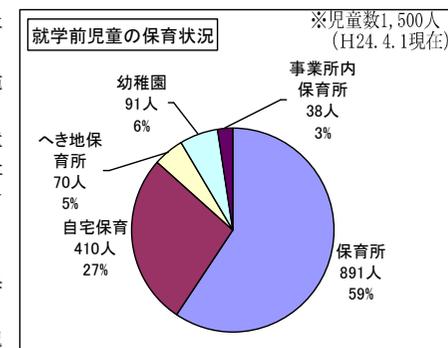
(6) 介護保険

介護保険事業を円滑に運営するため、介護保険財政基盤の安定化を推進し、介護保険法に基づく保険給付費、地域支援事業費の繰り出し等を行った。また、低所得者に対する利用負担の軽減・支援措置等を行い、公平、公正な介護サービスの提供を図った。

2 児童福祉費

(1) 児童福祉対策

次世代育成支援対策推進法に基づき策定した「平戸市次世代育成支援行動計画(後期計画)」に沿って、利用者の多様な需要に対応した保育サービスを実施する保育所に対し助成を行った。放課後対策として、保護者が就労等で家庭にいない小学校低学年の児童に対して適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図る放課後児童クラブへの活動経費の助成を行った。また、家庭相談員による各種相談・指導・助言により、家庭における児童養育の向上に努めた。さらに、要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童の早期発見及び適切な保護並びに関係機関との連携、協力を図った。子育て家庭に対して、育児不安や育児ストレスによる虐待防止のための「親子講座」の開催や子育て支援拠点施設を整備し、子育て親子の支援を行った。離島地域における妊婦に対しては、定期健診時や出産時における交通費の助成を行い、安全安心な出産のための支援を行った。また、保育所の改修や保育環境を整えるための施設整備、児童館の耐震改修事業、託児ボランティアの派遣、乳児の健やかな成長と保護者の経済的負担を軽減するため育児用品の無料貸出しを行い、子育て家庭が安全安心で子育てしやすい環境づくりを行った。

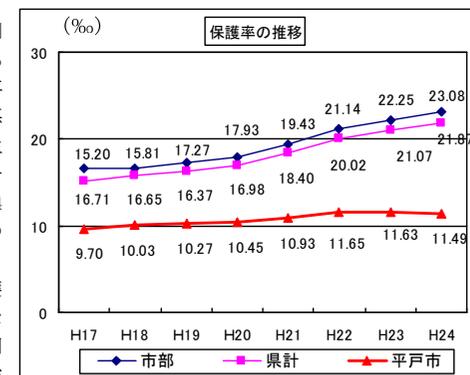


(2) 母子福祉対策

ひとり親家庭等の生活の安定と、自立の促進を目的とした児童扶養手当の認定及び支給を行った。この他、福祉資金の貸付相談、母子家庭自立支援給付事業による必要な指導助言及び家庭支援員を派遣し、育児支援や家事支援を行うなど、母子家庭等の福祉の増進に努めた。

3 生活保護費

本市の保護率(人口1,000人に対する保護人員割合)は、新市発足時(平成17年度)は9.70%であった。以降、ほぼ横ばい傾向で推移していたが、平成20年10月以降の国内経済の低迷と雇用環境の悪化に伴い、失業者は急激に増加し、本市における生活保護受給者もこの社会情勢を背景に増加傾向が一層高まり、平成22年度において、被保護者数は324世帯408人、保護率11.65%と新市発足後、最高の受給者数となった。平成23年度以降は、減少傾向となっているが、平成25年3月31日現在では被保護者数は309世帯397人と前年より世帯数は変わらないものの、世帯員数は12人の増となっている。全国及び県内の保護世帯数は増加傾向にあり、本市においても相談件数は増加していることから今後は微増すると推測される。



制度の実施については、保護相談時における失業保険や老齢年金及び障害年金受給、住宅手当、生活福祉資金の利用など他法他施策の活用による最低生活維持の可能性を検討し助言を行った。また、保護者に対しては、公的扶助を受ける権利を有するとともに、扶助費の計画的な利用や早期就労による自立、収入届出等の報告義務について被保護者が進んでこれを果たすよう指導を行った。

4 災害救助費

現に居住の用に供している建物が、災害救助法の適用基準に達しない災害により被害を受けた市民に対し、小災害見舞金の支給を行った。また、火災により死亡した者の遺族に対し、弔意の意を表し自立更生を助長するため弔慰金を支給した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費				
社会福祉協議会支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 140 頁】	多様化する福祉ニーズに応えるため、社会福祉の向上を目的とする民間組織団体である社会福祉協議会に対して、地域福祉の増進、広報活動、共同募金運動など福祉ニーズに応えるべく活動する非営利部門に対して助成した。 社会福祉協議会運営補助金 56,305 千円 社会福祉センター運営補助金 3,738 千円	60,043				
福祉健康まつり開催事業 (福祉課) 【事項別明細書 140 頁】	高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会あるいは家庭において、温かく、ふれあいがあり、安心して生活できる環境づくりを推進するとともに、一般市民の理解と関心の高揚を図るため開催する福祉健康まつりに対して助成した。 実施団体 平戸市福祉健康まつり実行委員会 参加協力団体 63 団体	1,000				
民生委員児童委員設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 140 頁】	社会奉仕の精神を持って自主的に地域住民の福祉の増進に努めるため、社会福祉政策への協力など、広範囲にわたる活動を職務とする民生委員児童委員で構成される民生委員児童委員協議会連合会に対し、活動費等の助成を行った。 民生委員児童委員協議会連合会補助金 12,474 千円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>開催数・委員数</td> <td>実施団体等</td> </tr> <tr> <td>125 名</td> <td>民生委員児童委員協議会連合会</td> </tr> </table>	開催数・委員数	実施団体等	125 名	民生委員児童委員協議会連合会	12,474
開催数・委員数	実施団体等					
125 名	民生委員児童委員協議会連合会					
戦没者追悼事業 (福祉課) 【事項別明細書 140 頁】	戊辰戦争から太平洋戦争までの長崎県籍の戦没者 60,723 柱を祀る長崎県忠霊塔の屋根改修の負担を始め、先の大戦で亡くなられた方々の御霊を奉慰顕彰するとともに、未来を担う世代に継承するため、各地区遺族会などの関係団体の参加を得て設立した「平戸市戦没者慰霊奉賛会」に対し助成を行った。また、各地にある慰霊碑等維持管理に対しても助成を行った。 ①県忠霊塔屋根改修工事負担金 264 千円 (長崎県戦没者慰霊奉賛会) ②平戸市戦没者追悼式補助金 668 千円 (平戸市戦没者慰霊奉賛会 参列者:約 380 人) ③戦没者慰霊碑等維持管理補助金 440 千円 (平戸地区遺族会他 10 団体) ④長崎県追悼式参加費経費等 200 千円	1,572				

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			60,043	社会福祉協議会の運営基盤の強化、施設の維持補修等が行われ、多様化する福祉ニーズに応えるなど、地域福祉の増進が図られた。
			1,000	高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会に活動情報等を発信し、参加者の生きがいがいつくりや市民の福祉健康に対する理解と関心の高揚を図ることができた。 来場者数 H24 : 約 4,700 人 H23 : 約 5,300 人 H22 : 約 4,700 人
			12,474	民生委員児童委員活動を支援することにより、地域住民が安心して暮らせる環境づくりに寄与した。
200			1,372	大戦で亡くなられた方々の御霊を追悼するとともに、平和学習の一環として参加した学生とともに改めて、平和の大切さを確認することができた。 また、高齢化に伴い、弱体化が懸念される遺族会活動を支援するため追悼式の開催経費や慰霊碑維持管理費の助成を行い、遺族会の活動が行い易くなった。

事業名	事業内容	事業費
地域生活支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 142 頁】 【事項別明細書 144 頁】	<p>障害者が、自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう特性に応じた支援を行った。</p> <p>○移動支援事業 2,269 千円 屋外での移動が困難な在宅の障害者に対し、ヘルパーによる移動支援を行った。 8 施設 利用人数 18 人 (延べ 97 人)</p> <p>○身体障害者訪問入浴サービス事業 596 千円 在宅の肢体不自由身体障害者 1、2 級で自ら入浴が困難な者に対し、訪問入浴サービスを行った。 1 施設 利用人数 2 人 (延べ利用回数 53 回)</p> <p>○日中一時支援事業 3,008 千円 障害者(児)の介護を行う者が疾病その他の理由により、当該障害者が在宅において介護を受けることが一時的に困難となった場合に施設に短期入所させ、日常訓練等を行った。 3 施設 利用人数 9 人 (延べ 606 人)</p> <p>○生活サポート事業 32 千円 障害程度区分非該当者に対し、ホームヘルパーを派遣し日常生活の支援を行った。 1 施設 利用人数 1 人 (延べ利用回数 24 回)</p> <p>○社会参加促進事業 2,990 千円 障害者が地域生活を継続できるよう障害者やボランティア等の交流事業を行い、生きがいを持って過ごせるよう支援を行った。 市内 6 か所 16 回 参加人数 46 人 (延べ 166 人)</p> <p>○地域活動支援センター事業 5,529 千円 障害者の社会復帰を目的とした平戸市障害者地域活動支援センター「ホープドリーム」、「はーとオアシス(松浦市)」へ助成を行った。</p> <p>○日常生活用具給付事業 6,840 千円 日常生活を容易にするため、在宅の重度障害者に対し、その利用に適した日常生活用具の給付を行った。 排泄管理支援用具等 642 件</p> <p>○手話奉仕員派遣事業 6 千円 聴覚、言語機能などの障害のため、意思疎通を図ることに障害がある方に、円滑にコミュニケーションが図れるよう手話奉仕員を派遣した。 助成件数 1 件</p> <p>○身体障害者補助犬飼育管理助成事業 246 千円 補助犬を利用する障害者に対し、福祉の向上を図り、社会参加を支援するために、飼育のために必要な経費の助成を行った。 盲導犬利用者 3 人</p>	21,516

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
11,289		12	10,215	<p>障害者の行動範囲の拡大などによる日常の生活向上や地域での自立が支援され、社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。</p>

事業名	事業内容	事業費
心身障害者福祉タクシー助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 44 頁】	社会活動の範囲を広め福祉向上を図るため、在宅の心身障害者で、車椅子常用者、知的障害者、視覚障害者に対し、市内のタクシー業者を利用する場合、基本料金の9割助成を行った。 車椅子常用者 29 人 (述べ 471 件) 169 千円 知的障害者 5 人 (述べ 86 件) 39 千円 視覚障害者 12 人 (述べ 247 件) 106 千円 事務費 25 千円	339
身体障害者交通船旅客運賃助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】	第2種身体障害者手帳所持者に対し、社会参加とその軽減を図るため交通船旅客運賃の4割助成を行った。 大島～平戸 29 人 (述べ 1,388 件) 356 千円 度島～平戸 4 人 (述べ 283 件) 70 千円 事務費 186 千円	611
福祉医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】 【事項別明細書 158 頁】	福祉の増進及び負担軽減のため、心身障害者、乳幼児、母子家庭等における母と子及び寡婦等に対して、医療費の助成を行った。 ○扶助費 153,892 千円 乳幼児 <29,842 千円> 母子家庭等 <11,236 千円> 障害1・2級 <39,609 千円> 療育A1・2 <7,719 千円> 老人 <36,871 千円> 障害3級 <9,199 千円> 療育B1 <2,537 千円> 単独(障害4級・療育B2・老人3・4級B1) <16,879 千円> ○事務費 4,608 千円	158,500
ひらどふれあい福祉事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】 【事項別明細書 146 頁】	地域福祉向上のため、ひらどふれあい福祉基金を活用し、社会福祉活動団体に対して助成した。 在宅重度障害者と学生ボランティアとのふれあい研修事業 58 千円 実施団体：田平町身体障害者福祉協会	58

財源内訳				事業の成果																																								
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																									
			339	障害者の社会活動の範囲が広がり、障害者の福祉向上に寄与することができた。																																								
			611	障害者の社会参加が促進された。																																								
70,149		5	88,346	心身機能の障害で日常生活に支障がある者、乳幼児、母子家庭等の経済的負担の軽減ができた。 ○支給件数の推移 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>13,653</td> <td>23,688</td> <td>22,708</td> </tr> <tr> <td>母子家庭等</td> <td>3,441</td> <td>4,261</td> <td>4,032</td> </tr> <tr> <td>障害1・2</td> <td>6,459</td> <td>6,701</td> <td>6,806</td> </tr> <tr> <td>療育A1・2</td> <td>2,116</td> <td>2,068</td> <td>1,833</td> </tr> <tr> <td>老人</td> <td>6,844</td> <td>6,706</td> <td>6,250</td> </tr> <tr> <td>障害3</td> <td>1,893</td> <td>2,248</td> <td>2,344</td> </tr> <tr> <td>療育B1</td> <td>924</td> <td>875</td> <td>913</td> </tr> <tr> <td>単独</td> <td>5,621</td> <td>5,540</td> <td>6,131</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40,951</td> <td>52,087</td> <td>51,017</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	24年度	乳幼児	13,653	23,688	22,708	母子家庭等	3,441	4,261	4,032	障害1・2	6,459	6,701	6,806	療育A1・2	2,116	2,068	1,833	老人	6,844	6,706	6,250	障害3	1,893	2,248	2,344	療育B1	924	875	913	単独	5,621	5,540	6,131	合計	40,951	52,087	51,017
	22年度	23年度	24年度																																									
乳幼児	13,653	23,688	22,708																																									
母子家庭等	3,441	4,261	4,032																																									
障害1・2	6,459	6,701	6,806																																									
療育A1・2	2,116	2,068	1,833																																									
老人	6,844	6,706	6,250																																									
障害3	1,893	2,248	2,344																																									
療育B1	924	875	913																																									
単独	5,621	5,540	6,131																																									
合計	40,951	52,087	51,017																																									
		58		日頃外出する機会が少ない障害者が、福祉施設等の視察研修や交流を通じて、仲間や生きがいつくりなどの社会参加を促進することができた。																																								

事業名	事業内容	事業費
障害者自立支援給付費等事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>障害者自立支援法に基づき、障害者の自立を支援するため、特性に応じた障害福祉サービスを行った。</p> <p>○補装具給付事業 8,911千円 身体機能を補うために、車いすや補聴器等の補装具の交付、修理の費用を給付した。 交付 80件 修理 54件</p> <p>○介護給付サービス事業 555,250千円 障害に起因する、日常生活上継続的に必要な介護支援で、在宅の障害者に対して、家事や身体的支援のため、ホームヘルパーの派遣や介護者の事情等により一時的に施設で預かる短期入所事業、通所による創作的活動等を行う生活介護事業の給付、また、自立を図るため、生活訓練等を必要とする者や家庭において必要な介護を受けられない障害者に対し、施設入所や通所サービス等の給付を行った。</p> <p>居宅介護事業 9施設 71人(延べ 759人) 44,765千円 短期入所事業 3施設 7人(延べ 60人) 4,234千円 生活介護事業 42施設 154人(延べ 1,705人) 244,686千円 療養介護事業 5施設 3人(延べ 143人) 48,062千円 入所支援施設 27施設 127人(延べ 1,358人) 138,864千円 ケアホーム 25施設 55人(延べ 615人) 74,639千円</p> <p>○訓練等給付サービス事業 299,794千円 自立を図るため、身体機能等の向上のための自立訓練や、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練給付を行った。グループホームでは、地域の中で生活を望むものに対し、共同生活を営みながら生活支援の給付を行った。</p> <p>自立訓練 12施設 35人(延べ 344人) 37,205千円 就労継続支援 33施設 139人(延べ 1,629人) 208,042千円 就労移行支援 7施設 14人(延べ 138人) 24,334千円 グループホーム 18施設 37人(延べ 392人) 30,213千円</p> <p>○サービス利用計画作成事業 430千円 障害者福祉サービスを効果的に利用するため、個別の利用計画作成の支援を行った。 延べ29人</p>	864,385
障害児支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>障害児の療育の場を提供し、障害児とその保護者に対し指導や育成を図った。</p> <p>児童発達支援 1施設 16人(延べ 455人) 3,476千円 放課後等デイサービス 4施設 25人(延べ 727人) 5,582千円</p>	9,058

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
645,811			218,574	障害者の身体機能の回復や生活能力の向上等が図られ、障害者の自立や集団生活への適応、就労に向けた支援等に寄与することができた。また、介護者の身体的、精神的な援助等も図られた。
6,167			2,891	幼年期より、日常生活における基本的な動作、集団生活への適応、生活能力向上のための訓練等を通じて障害児の自立促進が図られた。

事業名	事業内容	事業費												
更生医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>身体の機能障害を軽減するために行う医療費について助成を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>人工透析</td> <td>179 人 (延べ 1,951 件)</td> <td>43,419 千円</td> </tr> <tr> <td>心臓</td> <td>9 人 (延べ 50 件)</td> <td>6,283 千円</td> </tr> <tr> <td>身体障害</td> <td>3 人 (延べ 11 件)</td> <td>325 千円</td> </tr> <tr> <td>免疫障害</td> <td>2 人 (延べ 18 件)</td> <td>2,049 千円</td> </tr> </table>	人工透析	179 人 (延べ 1,951 件)	43,419 千円	心臓	9 人 (延べ 50 件)	6,283 千円	身体障害	3 人 (延べ 11 件)	325 千円	免疫障害	2 人 (延べ 18 件)	2,049 千円	52,076
人工透析	179 人 (延べ 1,951 件)	43,419 千円												
心臓	9 人 (延べ 50 件)	6,283 千円												
身体障害	3 人 (延べ 11 件)	325 千円												
免疫障害	2 人 (延べ 18 件)	2,049 千円												
特別障害者手当等 給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>重度の障害による特別な負担の軽減を図るため、在宅の重度身体障害者(児)に対し、手当の支給を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>特別障害者手当</td> <td>71 人 (延べ 850 人)</td> <td>22,333 千円</td> </tr> <tr> <td>経過的福祉手当</td> <td>3 人 (延べ 33 人)</td> <td>472 千円</td> </tr> <tr> <td>障害児福祉手当</td> <td>15 人 (延べ 170 人)</td> <td>2,429 千円</td> </tr> </table>	特別障害者手当	71 人 (延べ 850 人)	22,333 千円	経過的福祉手当	3 人 (延べ 33 人)	472 千円	障害児福祉手当	15 人 (延べ 170 人)	2,429 千円	25,234			
特別障害者手当	71 人 (延べ 850 人)	22,333 千円												
経過的福祉手当	3 人 (延べ 33 人)	472 千円												
障害児福祉手当	15 人 (延べ 170 人)	2,429 千円												
自立支援協議会運 営事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>地域の障害者自立支援に携わる関係者が、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、それを踏まえて地域のサービス基盤の整備に努める。</p> <p>委員会開催 (1 回) 委員 12 名</p>	51												
療育支援センター 管理運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	<p>障害者自立支援法に規定する児童デイサービスを行う療育支援センターの管理運営について、指定管理による適正管理に努めた。</p> <table border="1"> <tr> <td>施設名</td> <td colspan="2">平戸市療育支援センター「あったかさん 21」</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td colspan="2">社会福祉法人親愛会</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td colspan="2">6,500 千円</td> </tr> </table>	施設名	平戸市療育支援センター「あったかさん 21」		指定管理者	社会福祉法人親愛会		指定管理料	6,500 千円		6,500			
施設名	平戸市療育支援センター「あったかさん 21」													
指定管理者	社会福祉法人親愛会													
指定管理料	6,500 千円													
高齢者見守りネット ワーク事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】	<p>地域全体で高齢者に対する見守りや声かけ等の活動を行い、安否を日常的に確認し、異常者を発見したときに迅速に対応できる体制の確保を行った。</p> <p>協力機関事業所数 14 事業所 サポーター登録数 30 名</p>	515												
敬老行事開催支援 事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】 【事項別明細書 150 頁】	<p>老人の日、老人週間の取組みの一環として、各地区において開催される敬老会に高齢者の人数に応じて交付金の支給を行った。</p> <p>対象者 75 歳以上 5,562 人</p>	5,531												
敬老祝金給付事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	<p>長寿を祝福し、敬老の意を表するため、平戸市内に居住する高齢者に対し、祝金の支給を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>敬老祝金 (満 77 歳)</td> <td>517 人</td> </tr> <tr> <td>(満 88 歳)</td> <td>224 人</td> </tr> <tr> <td>長寿祝金 (100 歳)</td> <td>12 人</td> </tr> </table>	敬老祝金 (満 77 歳)	517 人	(満 88 歳)	224 人	長寿祝金 (100 歳)	12 人	7,132						
敬老祝金 (満 77 歳)	517 人													
(満 88 歳)	224 人													
長寿祝金 (100 歳)	12 人													

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
39,057			13,019	機能障害を軽減するとともに、障害者の医療費負担軽減がなされた。
18,905			6,329	重度障害による経済的負担の軽減がなされた。
			51	地域の障害者自立支援に携わる関係者が、地域のサービス基盤の整備を着実に進め、加えてサービスの質の向上を図るための体制やネットワークが強化された。
			6,500	民間事業者の能力を活用し、利用者のニーズにあったサービスが提供され療育を必要とする利用者への支援が強化された。
515				高齢者見守りサポーター及び事業所の協力により、独居等の高齢者の安否確認、地域コミュニティの安心安全を確保することができた。
			5,531	身近な地域の人達による敬老会の開催を支援することにより、敬老精神の高揚が図られ、また、高齢者の生きがいがづくり等に寄与することができた。
			7,132	高齢者の福祉の向上と敬老思想の高揚が図られた。

事業名	事業内容	事業費
老人クラブ活動等 支援事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	地域における高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し、活動を推進するための運営費の一部を助成した。 単位老人クラブ (64 クラブ) 3,672 千円 平戸市老人クラブ連合会 2,703 千円 〃 世代間交流事業 240 千円	6,615
高齢者生きがいづくりサポート事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 高齢者の生きがい活動として、市民ボランティアによる「いきいきサロン」新規立ち上げのため、関係団体への協力依頼、地域への説明会の開催、コーディネート業務を行った。 委託先 社会福祉協議会 「いきいきサロン」 H23 23 団体 H24 31 団体	3,969
ワンコインまごころ事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	在宅高齢者等の既存の公的サービスで対応できない「簡易な困りごと」を移動時間を含め、1 時間以内の業務を 500 円の利用料で対応した。 委託先 シルバー人材センター 対応件数 56 件	264
介護予防具設置事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	高齢者のふれあいの場を提供するとともに健康を維持、介護予防のため介護予防遊具を公園に設置した。 設置場所 館浦中児童遊園 (背伸ばしベンチ・ぶらさがり健康棒・足つぼ (健康歩道))	1,961
緊急通報装置貸与事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	緊急時の適切な対応を図るため、ひとり暮らしの高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与した。 貸与台数 392 台 (平成 25 年 3 月末現在) (内訳) 平戸 217 台 生月 43 台 田平 88 台 大島 44 台	5,765
高齢者デイサービス事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	社会的孤立感の解消、自立生活の助長を図るため、在宅のひとり暮らしの高齢者等に対し、通所による生活指導、機能訓練及び給食サービス等を実施した。 登録者数 35 人 (H25.3 末) 延べ利用回数 1,420 回	2,637
在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 152 頁】	介護の労をねぎらうため、寝たきり高齢者等を常時介護している者に対し、介護見舞金の支給を行った。 支給人数 53 人 (内訳) 平戸 36 人 生月 5 人 田平 6 人 大島 6 人	1,325

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,449			3,166	高齢者の教養の向上、健康の増進、地域社会における世代間の交流など、高齢者福祉の増進が図られた。
3,969				既存の「いきいきサロン」や老人クラブへの活動支援、問題点や困りごとの解消を図ることができた。また、各団体が抱える「いきいきサロン」の新規の立ち上げを支援することができた。 新規雇用失業者数 2 名
264				簡単な困りごとをワンコインで依頼し、問題を解決することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援することができた。
1,961				介護予防効果に加え高齢者のふれあいの場を提供することができた。
			5,765	緊急時の迅速な対応や安否確認、また、普段の生活の心配事、悩み事の相談に応じるなど、日常生活を支援することにより、対象者が安心して在宅生活を送ることができた。
	2,500		137	自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図ることにより、介護予防ができた。
		1,325		介護者の労をねぎらうことができ、また、寝たきり高齢者等の福祉の増進が図られた。

事業名	事業内容	事業費																		
高齢者・障害者住宅 改造助成事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 152 頁】	高齢者(要介護者及び要支援者)または重度障害者の日常生活を容易にし、介護者の負担を軽減するため、高齢者等の住宅改造に対し助成を行った。 高齢者 15 件 1,303 千円	1,303																		
度島いきいきプラ ザ(仮称)整備事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 152 頁】	昭和56年以前に建設された度島診療所及び医師住宅の建設に併せ、介護予防施設を併設するための地質調査、設計委託を行った。 地質調査業務委託 350 千円 設計業務委託 2,168 千円	2,519																		
老人保護措置事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	概ね65歳以上の老人で、環境上及び経済的理由のため、在宅生活が困難な者を対象に、養護老人ホームに入所させ養護した。 ○入所者の状況(平成25年3月末現在) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>入所人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>光の園</td><td>50名</td></tr> <tr><td>しかまち</td><td>27名</td></tr> <tr><td>グリーンホーム</td><td>6名</td></tr> <tr><td>ソレイユ</td><td>2名</td></tr> <tr><td>恵の丘</td><td>2名</td></tr> <tr><td>光明荘</td><td>1名</td></tr> <tr><td>湧泉荘</td><td>1名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>89名</td></tr> </tbody> </table>	施設名	入所人員	光の園	50名	しかまち	27名	グリーンホーム	6名	ソレイユ	2名	恵の丘	2名	光明荘	1名	湧泉荘	1名	合計	89名	200,283
施設名	入所人員																			
光の園	50名																			
しかまち	27名																			
グリーンホーム	6名																			
ソレイユ	2名																			
恵の丘	2名																			
光明荘	1名																			
湧泉荘	1名																			
合計	89名																			
後期高齢者医療 療養給付事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 154 頁】	被保険者の医療給付費の市負担分を長崎県後期高齢者医療広域連合に対し負担した。	487,244																		
家庭児童相談員設 置事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	家庭相談員を設置し、家庭生活及び家庭における子どもの養育についての各種相談・指導・助言を行い、相談指導業務の充実強化を図った。 家庭相談員 1 名 相談件数 1,070 件 ケース検討会 26 回	1,684																		

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
651			652	高齢者及び障害者の日常生活を容易にし、介護者や家族の負担を軽減するとともに、安心して快適に自立した生活を送ることができる環境整備を行った。
	2,500		19	施設建設に伴い、医療供給体制の充実と福祉・介護サービスの提供を行うことで、医療・福祉・介護の連携が可能となる。
		27,758	172,525	入所者本人や家族の不安解消と、生活安定の支援を行った。
			487,244	後期高齢者医療被保険者の医療給付費の市負担分を負担し、後期高齢者医療制度の安定した運営に寄与した。
		7	1,677	家庭における人間関係の健全化及び子どもの養育の適正化等家庭児童福祉の向上を行った。

事業名	事業内容	事業費
放課後児童クラブ運営支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童の放課後対策のため、放課後児童クラブへの活動経費に対して施設整備費の助成を行った。また、放課後児童クラブに入所している母子家庭等の児童に対し、保育料の負担軽減を行った。 ○放課後児童クラブ事業補助金 3 か所 (平戸 2 生月 1) 11,342 千円 登録児童数 105 人 利用人数 延べ 20,247 人 ○放課後対策母子家庭等児童助成事業補助金 1,826 千円 対象児童数 38 人 利用人数 延べ 413 人	13,168
離島地域安心出産支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	産婦人科がない離島地域に在住する妊婦に対して、妊娠・出産にかかる交通費等の助成を行い、経済的な負担を軽減し、安全安心な出産の支援を図った。 受給者数 6 人	185
ノーパディーズパーフェクトプログラム事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	育児不安や育児ストレスによる虐待を防ぐことを目的に、子育て中の親を支援するためのプログラム事業(親育ち講座)を実施した。 3 か所 (平戸 2 田平 1) 参加者 31 人	68
子育て親社会参加促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	講演会などへ託児ボランティアの派遣等を行った。 ○子育て親社会参加促進事業 講演会 20 回 ボランティア数 延べ 137 人 児童数 延べ 220 人	284

財源内訳				事業の成果															
国県支出金	地方債	その他	一般財源																
9,585			3,583	保護者が昼間家庭にいない児童に授業終了後または休暇期に、適切な遊び場及び生活の場を与えることで、放課後における児童の健全育成、安全対策を図ることができた。 また、母子家庭等における保育料の負担軽減を行うことで、円滑な制度適用ができた。 ○登録児童数の推移 (各年度3月末現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童数</td> <td>58 人</td> <td>100 人</td> <td>134 人</td> <td>105 人</td> </tr> <tr> <td>クラブ数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		21年度	22年度	23年度	24年度	児童数	58 人	100 人	134 人	105 人	クラブ数	1	2	3	3
	21年度	22年度	23年度	24年度															
児童数	58 人	100 人	134 人	105 人															
クラブ数	1	2	3	3															
92			93	妊娠・出産にかかわる費用の一部を助成することで、経済的な負担軽減を行い、母子ともに健全な出産に寄与した。															
			68	親の不安感を取り除き、子育てに自信をつけてもらうことができ、虐待等の防止につながった。															
		284		子育て家庭において、社会的な活動に参加しやすい環境づくりを行った。															

事業名	事業内容	事業費
子育て支援交付金事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	小学校低学年児童の放課後の居場所づくりや、子育ての負担感を緩和し、安心して子育てができるよう環境整備事業に対する助成を行った。 ○地域子育て支援拠点事業 8,598 千円 実施箇所数 1 園 (平戸 1) 1 か所 (田平 1) ○小学校低学年児童受入事業 2,400 千円 実施箇所数 6 園 (平戸 5、田平 1)	10,998
保育対策等促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応するため、各種保育事業に対する助成を行った。 ○休日保育事業 1,409 千円 実施箇所数 1 園 (平戸 1) ○病児・病後児保育事業 12,930 千円 実施箇所数 3 園 (平戸 2、田平 1) ○延長保育事業 56,893 千円 実施箇所数 14 園 (平戸 11、田平 3)	71,232
障害児保育事業 (福祉課) 【事項別明細書 160 頁】	障害児の保育促進のため、保育に欠ける障害児の受け入れを行う保育所に対して助成を行った。 実施箇所数 8 園 (平戸 5、田平 2、生月 1)	8,880
子ども・児童手当給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	児童の福祉の増進を図るため、0歳から15歳までの子どもを養育する者に対し、子ども・児童手当を支給した。 子ども手当 児童手当 子どもが0～3歳未満の被用者 延べ 748 人 延べ 3,764 人 子どもが0～3歳未満の非被用者 延べ 454 人 延べ 2,052 人 子どもが3歳以上～小学校終了前の児童の被用者 延べ 3,046 人 延べ 13,609 人 子どもが3歳以上～小学校終了前の児童の非被用者 延べ 1,807 人 延べ 7,906 人 子どもが小学校終了後～中学校終了前 延べ 2,057 人 延べ 9,740 人 特例給付 延べ 318 人	520,785

財源内訳				事業の成果																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
4,360			6,638	仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を容易にするとともに、子育ての負担感を緩和することができた。 ○事業実施箇所数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域子育て支援事業</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小学校低学年受入</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	地域子育て支援事業	1	1	2	小学校低学年受入	5	6	6				
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																	
地域子育て支援事業	1	1	2																	
小学校低学年受入	5	6	6																	
47,487			23,745	核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応し、保護者が安心して就労や子育てができる環境づくりに寄与することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日保育</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>病児・病後児保育</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	休日保育	1	1	1	病児・病後児保育	3	3	3	延長保育	14	14	14
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																	
休日保育	1	1	1																	
病児・病後児保育	3	3	3																	
延長保育	14	14	14																	
			8,880	保育に欠ける障害児の保護者の子育ての負担感を緩和することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害児保育</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	障害児保育	4	4	8								
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																	
障害児保育	4	4	8																	
441,555			79,230	次世代の社会を担う児童の健全な育成に寄与することができた。 ○受給者数 (平成 25 年 2 月末現在) (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもが 0～3 歳未満の被用者</td> <td>327</td> </tr> <tr> <td>子どもが 0～3 歳未満の非被用者</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>子どもが 3 歳以上～小学校終了前の被用者</td> <td>886</td> </tr> <tr> <td>子どもが 3 歳以上～小学校終了前の非被用者</td> <td>515</td> </tr> <tr> <td>子どもが小学校終了後～中学校終了前</td> <td>854</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,077</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	24 年度	子どもが 0～3 歳未満の被用者	327	子どもが 0～3 歳未満の非被用者	182	子どもが 3 歳以上～小学校終了前の被用者	886	子どもが 3 歳以上～小学校終了前の非被用者	515	子どもが小学校終了後～中学校終了前	854	合 計	2,077		
区 分	24 年度																			
子どもが 0～3 歳未満の被用者	327																			
子どもが 0～3 歳未満の非被用者	182																			
子どもが 3 歳以上～小学校終了前の被用者	886																			
子どもが 3 歳以上～小学校終了前の非被用者	515																			
子どもが小学校終了後～中学校終了前	854																			
合 計	2,077																			

事業名	事業内容	事業費
保育所運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	保育に欠ける児童を保育する市内の民間保育所及び市外の保育所に対し、運営費を助成した。 民間保育所 30 か所 (市内 16 か所、市外 14 か所) 延べ在籍児童数 10,471 人	911,469
母子自立支援員 設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	母子自立支援員を設置し、ひとり親家庭等に対し自立支援に必要な相談指導、求職活動に関する支援を行った。 母子自立支援員 1 名 相談件数 1,267 件	1,659
母子家庭自立支 援給付金事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	母子家庭の就業支援対策として、ホームヘルパー等の資格取得にかかる経費への支援及び、看護師等のさらに高度な資格取得のための訓練期間中に給付金を支給した。 母子家庭自立支援教育訓練給付金 1 人 高等技能訓練促進費 4 人 (看護師 1 人、准看護師 1 人、社会福祉士 2 人)	4,449
児童扶養手当給 付事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	父母の離別などにより、ひとり親家庭等の生活安定と児童の福祉増進を図るため、児童扶養手当を支給した。 受給者数 内訳 全部支給者 延べ支給人数 2,284 人(うち父子 240 人) 一部支給者 延べ支給人数 1,860 人(うち父子 343 人) 第2子加算 延べ支給人数 1,862 人(うち父子 272 人) 第3子加算 延べ支給人数 620 人(うち父子 121 人)	162,859
ひとり親家庭等 日常生活支援事 業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	修学等自立の促進や社会的な事由等により、日常生活を営むのに支障を生じているひとり親家庭等に対して、生活支援員を派遣し、家事支援、子育て支援を行った。 生活支援 利用回数 4 回 利用人数 2 人	109

財 源 内 訳				事業の成果																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																					
504,823		204,292	202,354	児童の心身の健全な発達と家庭における仕事と子育ての両立に寄与することができた。																				
423		7	1,229	ひとり親家庭等の生活の安定と向上を図り、自立支援を行うことができた。																				
3,336			1,113	母子家庭の母が、自主的に就業能力を習得することにより、就職や経済的な自立への促進につながった。 ○利用者数の推移 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育訓練給付金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高等技能訓練促進費</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	教育訓練給付金	1	1	1	高等技能訓練促進費	0	3	4								
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																					
教育訓練給付金	1	1	1																					
高等技能訓練促進費	0	3	4																					
53,898			108,961	母子家庭等における家庭生活の安定と経済的な自立への促進につながった。 ○受給者数の推移 (各年度 11 月末現在) (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全部支給者</td> <td>195(20)</td> <td>194(18)</td> <td>181(21)</td> </tr> <tr> <td>一部支給者</td> <td>158(30)</td> <td>158(30)</td> <td>156(28)</td> </tr> <tr> <td>全部停止者</td> <td>29(5)</td> <td>31(8)</td> <td>27(7)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>382(55)</td> <td>383(56)</td> <td>364(56)</td> </tr> </tbody> </table> () は父子家庭数	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	全部支給者	195(20)	194(18)	181(21)	一部支給者	158(30)	158(30)	156(28)	全部停止者	29(5)	31(8)	27(7)	合 計	382(55)	383(56)	364(56)
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																					
全部支給者	195(20)	194(18)	181(21)																					
一部支給者	158(30)	158(30)	156(28)																					
全部停止者	29(5)	31(8)	27(7)																					
合 計	382(55)	383(56)	364(56)																					
82			27	ひとり親家庭等の福祉の増進に資することができた。																				

事業名	事業内容	事業費																																
			へき地保育所運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	保育に欠ける児童のため、へき地における保育を要する児童に対して、平戸市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、必要な保育を行った。 (平成 25 年 3 月 1 日現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>定員</th> <th>入所児童数</th> <th>延べ利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>度島町へき地保育所</td> <td>50 人</td> <td>20 人</td> <td>331 人</td> </tr> <tr> <td>根獅子町へき地保育所</td> <td>35 人</td> <td>11 人</td> <td>235 人</td> </tr> <tr> <td>木ヶ津町恵へき地保育所</td> <td>40 人</td> <td>3 人</td> <td>70 人</td> </tr> <tr> <td>早福町へき地保育所</td> <td>20 人</td> <td>6 人</td> <td>118 人</td> </tr> <tr> <td>志々伎町へき地保育所</td> <td>30 人</td> <td>15 人</td> <td>308 人</td> </tr> <tr> <td>野子町へき地保育所</td> <td>30 人</td> <td>19 人</td> <td>361 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>205 人</td> <td>74 人</td> <td>1,423 人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	定員	入所児童数	延べ利用人数	度島町へき地保育所	50 人	20 人	331 人	根獅子町へき地保育所	35 人	11 人	235 人	木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	3 人	70 人	早福町へき地保育所	20 人	6 人	118 人	志々伎町へき地保育所	30 人	15 人	308 人	野子町へき地保育所	30 人	19 人	361 人	合 計	205 人
区 分	定員	入所児童数	延べ利用人数																															
度島町へき地保育所	50 人	20 人	331 人																															
根獅子町へき地保育所	35 人	11 人	235 人																															
木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	3 人	70 人																															
早福町へき地保育所	20 人	6 人	118 人																															
志々伎町へき地保育所	30 人	15 人	308 人																															
野子町へき地保育所	30 人	19 人	361 人																															
合 計	205 人	74 人	1,423 人																															
地域子育て支援拠点施設整備事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	新たな拠点を田平地区に設置するにあたり、田平保健センターの一室を子育て親子が利用しやすいように改修し、環境を整備した。 ○修繕料 195 千円 ○工事請負費 1,712 千円	1,907																																
児童館耐震改修事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	耐震化工事を行い、利用者の安全・安心な環境を整備した。 実施箇所数 1 館 (山田児童館 耐震補強)	11,029																																
生活保護事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	生活保護法に基づき、被保護者に対し、最低生活を保障するとともにその自立を支援した。 ○平成 25 年 3 月末現在 被保護世帯数 309 世帯 被保護人員 397 人 生活扶助 161,443 千円 住宅扶助 16,009 千円 教育扶助 1,118 千円 医療扶助 416,118 千円 介護扶助 17,181 千円 生業扶助 902 千円 葬祭扶助 123 千円 施設事務費 2,170 千円	615,064																																

財 源 内 訳				事業の成果																																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																	
8,000	30,200		11,546	交通条件及び自然的諸条件に恵まれない山間地、離島等において、へき地保育所を運営することにより、へき地における児童福祉の向上に寄与した。 ○入所児童数の推移 (各年度 3 月 1 日現在) (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>度島町へき地保育所</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>根獅子町へき地保育所</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>木ヶ津町恵へき地保育所</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>早福町へき地保育所</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>志々伎町へき地保育所</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>野子町へき地保育所</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	22 年度	23 年度	24 年度	度島町へき地保育所	24	20	20	根獅子町へき地保育所	16	15	11	木ヶ津町恵へき地保育所	5	5	3	早福町へき地保育所	2	5	6	志々伎町へき地保育所	8	12	15	野子町へき地保育所	18	15	19	合 計	73	72	74
区 分	22 年度	23 年度	24 年度																																	
度島町へき地保育所	24	20	20																																	
根獅子町へき地保育所	16	15	11																																	
木ヶ津町恵へき地保育所	5	5	3																																	
早福町へき地保育所	2	5	6																																	
志々伎町へき地保育所	8	12	15																																	
野子町へき地保育所	18	15	19																																	
合 計	73	72	74																																	
855			1,052	田平地区の子育て家庭を中心に、子育ての負担感を緩和することができた。																																
6,908			4,121	利用者の安全・安心な子育て環境の確保及び児童の健全育成に寄与することができた。																																
472,018		1,168	141,878	生活困窮者に対し、必要な保護を実施することにより、自立助長を促すことができた。																																

【 4 款 衛生費 】

1 保健衛生費

少子化、核家族化に伴い、子育てに不安を持つ親への支援、乳幼児の健康診査への受診勧奨や指導を行った。
また、昨今の高齢化社会において、「自分の健康は、自分でつくるもの」を目標に、健康保持増進のための各種健(検)診、健康教室、感染症予防対策等の事業を行った。

(1) 保健衛生総務費

核家族化が進行し、身近に助言者がいないなど、育児不安をもつ親が増えている中、安心して笑顔で子育てができるまちづくりを目指し、育児について様々な相談ができる場を提供するとともに、異常の早期発見のための健康診査の実施、保健指導、医療への受診勧奨等の措置を講じた。

また、休日等における救急医療対策として、平戸市医師会へ委託し、在宅当番医制による初期救急医療体制の確保を行うとともに、休日・夜間等の重症救急患者の医療確保のため、3市1町(佐世保市、松浦市、平戸市、佐々町)で構成する佐世保県北医療圏における病院群輪番制病院運営事業により、二次救急医療体制の確保を行った。

(2) 予防費

感染症の発症やまん延予防を目的に、市民への衛生思想の啓発活動、予防接種法に基づいた定期予防接種及び、子どものインフルエンザの予防接種事業を実施した。また、子宮頸がんの発症や、髄膜炎の重症化予防を目的とした任意の予防接種である子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用について助成を行った。

(3) 健康増進費

市民の健康寿命の延伸や介護予防を目的とし、健康増進法に基づいた健康教育、健康相談、各種健(検)診、訪問指導を実施した。

(4) 環境衛生費

ごみの散乱防止のためのパトロールや回収を行い、環境保全に努めた。花とみどりのふるさとづくり推進のため、フラワー街道やプランター植栽による緑化事業並びに公共施設等に花いっぱい運動用の花苗の配布を行った。

また、自然エネルギーの利用を促進することで地球温暖化防止及び、新エネルギーの導入を推進するため住宅用太陽光発電システムの設置に係る費用の一部助成を行った。

松浦地区火葬場組合においては、平成25年3月末をもって解散がなされ4月から利用者(田平地区)においては一部助成を行い支援を行う。

(5) 公害対策費

公害防止の観点から公共用水域の水質測定を行い水質汚濁防止に努めた。また、騒音防止対策として、県からの権限委譲に基づく主要道路の自動車騒音状況を測定し、環境騒音の監視を行った。

(6) 飲料水供給施設管理費

離島である高島地区における、飲料水供給施設の維持管理を行い安全な飲料水の安定供給を図った。

2 清掃費

(1) 清掃総務費

一般廃棄物の中間処理は、北松北部クリーンセンターにおいて適正な処理を行い、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。また、平戸市総合衛生センター最終処分場は、監視委員会の活動を踏まえた適切な管理により、地域住民の安心と信頼を維持できた。

(2) 塵芥処理費

一般廃棄物処理計画に基づき、適切なおみ・し尿の収集運搬を行った。また、再資源物の回収に対する助成を行い廃棄物の減量化対策を実施した。廃棄物及び資源物の円滑な処理体制を図るため、平戸市総合衛生センター解体跡地にストックヤード施設を整備し海岸漂着物対策等の推進に努めた。

また、既に廃止している生月・田平地区の廃棄物処理施設について、ダイオキシン類曝露防止による解体工事を行い、地域の環境の保全が図られた。

(3) し尿処理費

公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全のため、浄化槽設置整備事業の推進を図り、個人住宅の改築に併せて浄化槽を設置する場合に限り市単独で20万円の上乗せ補助を実施することで普及促進に努めた。

田平地区コミュニティ・プラントによる汚水処理や大島地区のし尿処理について、適正な処理の実施により、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。

事業名	事業内容	事業費
妊産婦健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 170 頁】	<p>妊娠中からの健康管理を目的として、すべての妊婦を対象に妊婦健康診査費用の一部を助成した。</p> <p>また、聴覚異常を早期に発見することを目的として、新生児聴覚検査費用の一部を助成した。</p> <p>母子健康手帳交付者数：239 人 妊婦健診受診者数：延べ2,826 人 新生児聴覚検査受診者数：213 人(受診率 89.9%)</p>	21,825
子育て支援交付金事業 (保健センター) 【事項別明細書 170 頁】	<p>○ 生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、「こんにちは赤ちゃん事業」を実施し、妊産婦の健康管理と育児不安の軽減、新生児の成長発達確認、家庭内の育児環境や協力体制等について指導、助言を実施した。その後、継続的な支援が必要な家庭を対象に「養育支援家庭訪問事業」を実施した。</p> <p>○ 母子保健推進員(22人)による妊産婦の相談、健診勧奨などの地域支援活動や、育児支援事業としてお遊び教室を実施した。 また、母子保健推進員を対象に、研修会を開催し、推進員同士での交流、知識の伝達に努めた。</p> <p>○ 児童虐待ゼロプロジェクト事業として、妊娠中からの精神的安定を図る目的で医療機関において、妊婦にアンケート調査を行い、支援が必要な対象者については訪問活動を実施した。</p> <p>○ 障害等の早期発見、適切な援助、成長発達の評価、育児支援等、乳児の健康の保持増進を図るため、乳児相談・健診時の絵本の読み聞かせや離乳食教室(指導)を実施した。</p> <p>こんにちは赤ちゃん事業 対象者数：247 人 訪 問 数：239 人 養育支援家庭訪問事業 訪問件数(実)：32 件 (延べ)：57 件 母子保健推進員研修会 実施回数：2 回 参加者延べ数：31 人 お遊び教室 実施回数：6 回 参加者延べ数：31 人 児童虐待ゼロプロジェクト事業 医療機関からの情報提供数：123 件 うち訪問が必要と連絡のあった人数：18 件 うち訪問者数：18 件 乳児健診 実施回数：30 回 対象者数：237 人 対象者延べ数：690 人 受診児延べ数：680 人(受診率：98.6%) 母子健康相談 実施回数：40 回 参加者延べ数：329 人</p>	3,618

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
7,134	12,500		2,191	<p>妊婦健康診査の費用を助成したことにより、妊婦の経済的負担を軽減するとともに、妊娠週数に応じた健康管理ができた。</p> <p>また、新生児の聴覚検査費用を助成することで、異常の早期発見ができた。</p>
993			2,625	<p>家庭を訪問することで、妊産婦の健康管理や育児に対する不安の軽減を行った。また、妊娠初期から産後まで産科医療機関と情報を共有し、連携により支援を行うことで児童虐待の未然防止に努め、子育て不安の軽減を図り母親の精神的安定に寄与した。</p>

事業名	事業内容	事業費
幼児健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 170 頁】	健康・発達の評価、障害・疾病等の早期発見などの個々に応じた指導助言を行った。 1歳6か月児健康診査 実施回数：18回 対象者数：215人 受診者数：212人(受診率：98.6%) 3歳児健康診査 実施回数：19回 対象者数：264人 受診者数：258人(受診率：97.7%) フッ素塗布事業 むし歯予防のため、1歳6か月児から3歳児までに対し、フッ素塗布事業を行った。塗布回数は全5回で、初回と最終回は1歳6か月・3歳児健診とあわせて実施し、2回目から4回目までは、受診者の日程にあわせ歯科医院を受診しフッ素を塗ることができるようにしている。 対象者 1,256人 フッ素塗布 598人(塗布率47.6%)	1,738
地域医療人材育成事業 (保健センター) 【事項別明細書 172 頁】	平戸市民病院を教育の拠点とし、長崎大学に委託して地域医療に貢献できる医師の養成を行った。また、市民を対象とした地域医療に関する講演会の開催及び、へき地医療体験合宿等を通じて、過疎・へき地の医療を担う人材を育成した。 研修医受入数：25人	21,068
妊婦相談事業 (保健センター) 【事項別明細書 172 頁】	安心して子どもを産み・育てる環境を整えるために妊婦の相談、妊産婦同士の交流の場として平戸市内助産師有志の会“平戸さんばの会”へ委託し“Sun・MaMaひろば”を開催した。 Sun・MaMaひろばの開催 回数：13回 参加者：妊産婦36人、配偶者10人	165
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金事業 (保健センター) 【事項別明細書 174 頁】	予防接種法に基づかない任意の予防接種で、子宮頸がんの発生を予防するワクチン、乳幼児が細菌性髄膜炎などの病気になることを予防するヒブワクチン及び、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の全額を助成した。 予防接種者延べ数(接種率) 子宮頸がん 468人(18.6%) ヒブ 931人(53.5%) 小児用肺炎球菌 997人(50.4%)	23,510

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		79	1,659	健康診査は、受診率100%を目指して受診勧奨を実施しており、高い受診率を維持することができ、幼児の健康管理に寄与した。 また、幼児期における口腔環境は、成長発達に影響を与える一因であり、むし歯予防は重要であることから、歯の生え始める時期からむし歯予防の実践を啓発しているが、特に1歳6か月児健診以降にむし歯が増えていくため、この時期からフッ素を塗布することでむし歯の予防が可能となった。
1,000	19,800		268	長崎大学への委託により、地域医療の人材育成を図るとともに、平戸市民病院における医師を確保できた。
			165	妊婦を対象とした助産師による相談の場、妊産婦同士の交流の場として“Sun・MaMaひろば”を開設し、妊産婦の不安が軽減された。
11,755			11,755	ワクチン接種により、疾病の発症及び重症化を防ぐことができた。

事業名	事業内容	事業費																				
予防接種事業 (保健センター) 【事項別明細書 174 頁】	<p>予防接種法で定められた定期予防接種については、複数回にわたる個人通知を行うなど接種率向上に努め、前年度で終了できなかった接種者には、引き続き接種勧奨の働きかけを行った。</p> <p>他に、生後6か月から就学前までの子どもを対象に、インフルエンザ予防接種費用を助成した。</p> <p>また、法令改正に伴い、平成24年9月から不活化ポリオワクチン、11月から四種混合ワクチンの接種事業を実施した。</p> <p>予防接種者延べ数(接種率)</p> <table border="0"> <tr> <td>生ポリオ(急性灰白髄炎)</td> <td>202人(43.0%)</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ(急性灰白髄炎)</td> <td>556人(78.9%)</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td>751人(79.9%)</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>248人(35.2%)</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ(高齢者)</td> <td>6,653人(44.1%)</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ(子ども)</td> <td>1,485人(62.3%)</td> </tr> <tr> <td>ジフテリア・破傷風混合</td> <td>300人(95.5%)</td> </tr> <tr> <td>B C G</td> <td>232人(94.7%)</td> </tr> <tr> <td>麻疹風しん混合</td> <td>1,055人(93.4%)</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td>1,186人</td> </tr> </table> <p>※日本脳炎については、23年度途中に対象者の年齢が拡大されたため、接種率は計上していない。</p>	生ポリオ(急性灰白髄炎)	202人(43.0%)	不活化ポリオ(急性灰白髄炎)	556人(78.9%)	三種混合	751人(79.9%)	四種混合	248人(35.2%)	インフルエンザ(高齢者)	6,653人(44.1%)	インフルエンザ(子ども)	1,485人(62.3%)	ジフテリア・破傷風混合	300人(95.5%)	B C G	232人(94.7%)	麻疹風しん混合	1,055人(93.4%)	日本脳炎	1,186人	50,344
生ポリオ(急性灰白髄炎)	202人(43.0%)																					
不活化ポリオ(急性灰白髄炎)	556人(78.9%)																					
三種混合	751人(79.9%)																					
四種混合	248人(35.2%)																					
インフルエンザ(高齢者)	6,653人(44.1%)																					
インフルエンザ(子ども)	1,485人(62.3%)																					
ジフテリア・破傷風混合	300人(95.5%)																					
B C G	232人(94.7%)																					
麻疹風しん混合	1,055人(93.4%)																					
日本脳炎	1,186人																					
いきいき平戸21 計画策定事業 (保健センター) 【事項別明細書 174 頁】	21世紀における国民の健康づくり運動「健康日本21」に基づき、平戸市健康づくり計画として策定した「いきいき平戸21(第1次)」が平成24年度で終了することから、これまでの取り組みの評価及び新たな健康課題を踏まえ、平成25年度から平成34年度までの10年間の第2次計画を策定した。	409																				
健康教育事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	<p>健康づくりの中でも、生活習慣病予防に重点を置き、市民1人ひとりが自分自身の生活習慣を見直す機会として、個人や各種団体などに対し、集団健康教育を行い健診受診率向上に努めた。</p> <p>実施回数：92回 参加者延べ数：2,190人</p>	758																				

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			50,344	各種予防接種により、感染症などの疾病予防が図られた。
			409	健康寿命の延伸と健康格差の縮小をはじめとした各種取り組みについて目標値を設定したことで、市民の健康増進に取り組む方針を示すことができた。
504			254	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に対する関心を高めるとともに、生活習慣病予防についての認識を深めることができた。

事業名	事業内容	事業費																								
健康相談事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	健康教育実施時や健診時等に併せて、健康相談を実施した。 実施回数：112 回 参加者延べ数：4,308 人	257																								
健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	健康増進法により肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診、歯周疾患検診等を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> </tr> <tr> <th>受診者数 (人)</th> <th>受診率 (%)</th> <th>受診者数 (人)</th> <th>受診率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝炎ウイルス</td> <td>85</td> <td>—</td> <td>178</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>骨粗鬆症</td> <td>393</td> <td>23.0</td> <td>184</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患</td> <td>84</td> <td>4.2</td> <td>44</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	平成23年度		平成24年度		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	肝炎ウイルス	85	—	178	—	骨粗鬆症	393	23.0	184	10.7	歯周疾患	84	4.2	44	1.3	1,808
種 類	平成23年度		平成24年度																							
	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)																						
肝炎ウイルス	85	—	178	—																						
骨粗鬆症	393	23.0	184	10.7																						
歯周疾患	84	4.2	44	1.3																						
訪問指導事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	特定健診・がん健診の要精密者等に訪問し、指導及び助言を行った。 訪問者延べ数：181 人	53																								
後期高齢者健康 診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	長崎県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療の被保険者を対象に健康診査を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数 (人)</td> <td>778</td> <td>793</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>11.4</td> <td>11.5</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平成23年度	平成24年度	受診者数 (人)	778	793	受診率 (%)	11.4	11.5	5,981															
区 分	平成23年度	平成24年度																								
受診者数 (人)	778	793																								
受診率 (%)	11.4	11.5																								
食育推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	市民1人ひとりが、命の源である「食」について認識を高め、生涯にわたって健やかで心豊かな生活を送るため、減塩減糖などによる生活習慣病予防・地産池消の促進・郷土料理の伝承・食への感謝の念を育てる「食育」を家庭や学校・保育所・生産者等の「食」に関わる多様な関係者が地域において一層の連携を深めながら、市民運動として推進した。 食育研修会 1回開催 参加者： 24人 食育推進リーダー学習会 29回開催 参加者延べ数： 384人 地域普及活動 93回実施 参加者延べ数：4,066人	1,103																								

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
164			93	生活習慣改善に結びつくような心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に寄与することができた。
795			1,013	各種健(検)診を実施することで、疾病予防及び重症化を防ぐことができた。
34			19	生活習慣改善の支援のため戸別訪問を行い、生活習慣病の発症及び重症化予防を図ることができた。また、がん検診要精密者に対し個別訪問を行うことで、早期受診につなげることができた。
		5,981		後期高齢者医療の被保険者に対する健診を実施することで、疾病予防・重症化予防に寄与することができた。
550			553	教育・農林水産・保健衛生・地域関係者等の「食育」に関わる分野の連携が図られ、「食育」が推進された。

事業名	事業内容	事業費
がん検診事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	がん対策基本法により、大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を行った。また、特定健診受診者を対象に前立腺がん検診を実施するとともに、今年度から胃がん検診の検査方法に胃がんリスク検診を追加して実施した。	22,334
がん検診推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	子宮がん、乳がん、大腸がん検診について、一定の節目年齢の人へ検診手帳と検診費用が無料になるがん検診無料クーポン券を送付し、受診の促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及啓発を行った。 対象年齢 子宮がん 21・26・31・36・41 歳 乳がん・大腸がん 41・46・51・56・61 歳	3,174
太陽光発電システム設置促進事業 (政策推進課) 【事項別明細書 178 頁】	自然エネルギーの利用を促進するため、住宅用太陽光発電システムの設置に係る費用の一部助成を行った。 助成件数 50 件 助成単価 60,000 円/件	3,000
花とみどりのふるさとづくり事業 (市民課) 【事項別明細書 178 頁】	市民の美化意識の向上のため、市街地を中心とした大型プランターに四季の花苗、国道 383 号線沿い一部区間に菜の花を植栽した。 フラワー街道事業 プランター植栽事業 花いっぱい運動用苗配布事業	3,258
海岸漂着物地域対策推進事業 (市民課) 【事項別明細書 186 頁】	市管理海岸において、漁業被害や海岸の景観を損ねている外国などからの漂着ごみ等を適正に処理し、海岸景観の保全を図った。	3,042

財源内訳				事業の成果																																																											
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
			22,334	<p>各種がん検診における受診率向上を目指し、受診しやすい検診体制づくりに努め、がんの早期発見、早期治療に寄与することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種 類</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">大腸がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>2,087</td> <td>2,188</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>293</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>14.4</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">胃がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>1,408</td> <td>1,574</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>9.7</td> <td>10.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(うち胃がんリスク)</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>—</td> <td>(98)</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>—</td> <td>(2.5)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">肺がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>2,422</td> <td>2,557</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>16.7</td> <td>16.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">乳がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>1,215</td> <td>718</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>236</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>27.1</td> <td>21.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">子宮がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>1,097</td> <td>602</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>75</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">前立腺がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>421</td> <td>434</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>3.9</td> <td>4.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※前立腺がん検診は、特定健診及び健康診査受診者の内数。 ※大腸がん、乳がん及び子宮がん検診については、がん検診推進事業での受診者を含む。</p>	種 類		23年度	24年度	大腸がん	受診者数 (人)	2,087	2,188	うちクーポン	293	199	受診率 (%)	14.4	14.4	胃がん	受診者数 (人)	1,408	1,574	受診率 (%)	9.7	10.3	(うち胃がんリスク)	受診者数 (人)	—	(98)	受診率 (%)	—	(2.5)	肺がん	受診者数 (人)	2,422	2,557	受診率 (%)	16.7	16.8	乳がん	受診者数 (人)	1,215	718	うちクーポン	236	146	受診率 (%)	27.1	21.1	子宮がん	受診者数 (人)	1,097	602	うちクーポン	75	58	前立腺がん	受診者数 (人)	421	434	受診率 (%)	3.9	4.1
種 類		23年度	24年度																																																												
大腸がん	受診者数 (人)	2,087	2,188																																																												
	うちクーポン	293	199																																																												
	受診率 (%)	14.4	14.4																																																												
胃がん	受診者数 (人)	1,408	1,574																																																												
	受診率 (%)	9.7	10.3																																																												
(うち胃がんリスク)	受診者数 (人)	—	(98)																																																												
	受診率 (%)	—	(2.5)																																																												
肺がん	受診者数 (人)	2,422	2,557																																																												
	受診率 (%)	16.7	16.8																																																												
乳がん	受診者数 (人)	1,215	718																																																												
	うちクーポン	236	146																																																												
	受診率 (%)	27.1	21.1																																																												
子宮がん	受診者数 (人)	1,097	602																																																												
	うちクーポン	75	58																																																												
前立腺がん	受診者数 (人)	421	434																																																												
	受診率 (%)	3.9	4.1																																																												
1,539			1,635																																																												
			3,000	地球温暖化、自然エネルギーへの関心が深まる中、家庭の省エネ対策としての太陽光発電システム設置の普及促進を図るとともに、設置に係る費用負担を軽減することで、電力消費量の軽減が図られ、低炭素社会の推進に寄与することができた。																																																											
			3,258	「花いっぱい運動」の一環として実施したプランター植栽事業などにより、市民の緑化思想の普及ができた。公共施設や街路などに花木の植栽が行われ、市民の美化意識の向上と、ふるさとへの愛着を深めることができた。																																																											
1,500			1,542	<p>漂流漂着ごみを回収し、適正処分することにより海岸景観の保全を行った。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>回収ポリ容器</td> <td>215 個</td> </tr> <tr> <td>クリーンセンター搬入量</td> <td>27,700kg</td> </tr> <tr> <td>処理困難物 (発泡スチロール等)</td> <td>165 m³</td> </tr> </tbody> </table>	回収ポリ容器	215 個	クリーンセンター搬入量	27,700kg	処理困難物 (発泡スチロール等)	165 m ³																																																					
回収ポリ容器	215 個																																																														
クリーンセンター搬入量	27,700kg																																																														
処理困難物 (発泡スチロール等)	165 m ³																																																														

事業名	事業内容	事業費
ごみ減量化推進事業 (市民課) 【事項別明細書 188 頁】	各種団体による資源物の集団回収に対し交付金を交付し、ごみの減量化を図った。 再資源化推進登録団体数 216団体	5,908
ストックヤード整備事業 (市民課) 【事項別明細書 188 頁】	平成16年4月より、一般廃棄物（ごみ）処理広域化による北松北部クリーンセンターの稼働に伴い、既に廃止している生月・田平地区の焼却施設について、ダイオキシン曝露防止対策を講じ解体工事を実施した。 また、平戸市総合衛生センター解体跡地は、漂着ごみ等の一時保管施設としてストックヤード施設整備を行った。 【解体工事】生月町志保良塵芥焼却場 10t/日 生月町志保良塵芥焼却場解体工事 地下1階地上3階建 509.56㎡ 煙突30m 【解体工事】田平町ごみ処理施設 6t/日 田平町ごみ処理施設解体工事 地下1階地上2階建 256.85㎡ 煙突30m 【建築工事】平戸市総合衛生センター 平戸ストックヤード建築工事 鉄骨・スレート葺 平屋建 126㎡	201,462
浄化槽設置整備事業 (市民課) 【事項別明細書 190 頁】	生活雑排水の適正な処理を目的に、浄化槽設置者への補助を実施した。	54,517
し尿処理施設解体事業 (市民課) 【事項別明細書 190 頁】	平成17年4月から、一般廃棄物（し尿）処理広域化による北松北部クリーンセンター稼働に伴い、既に廃止しているし尿処理施設において解体実施計画の基本設計を行った。 生月町し尿処理施設 15k1/日	6,901

財源内訳				事業の成果																											
国県支出金	地方債	その他	一般財源																												
			5,908	各団体における再資源化物の回収の推進を図り、市民の分別リサイクル意識の啓発に伴うごみの減量化を行った。 再資源化推進交付金 平成23年度 平成24年度 古紙類 766,588kg 717,934kg リターナブルビン 182,637本 173,205本																											
72,911	126,700		1,851	ダイオキシン類曝露防止対策等により周辺環境へ影響も無く生月・田平地区の施設解体撤去を実施し、ストックヤード建設予定地が確保できた。また、平戸ストックヤード施設整備により漂着ごみ等の処理体制が構築された。																											
26,801			27,716	浄化槽設置により、水質汚濁の主因とされる生活雑排水の浄化を図り、公共用水域の環境保全に貢献した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>本土</th> <th>離島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人槽</td> <td>29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6～7人槽</td> <td>52</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8～10人槽</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11～20人槽</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>21～30人槽</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31～50人槽</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>99</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>市単独補助</td> <td>39</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	種類	本土	離島	5人槽	29		6～7人槽	52	1	8～10人槽	5		11～20人槽	4		21～30人槽	5		31～50人槽	4		計	99	1	市単独補助	39	1
種類	本土	離島																													
5人槽	29																														
6～7人槽	52	1																													
8～10人槽	5																														
11～20人槽	4																														
21～30人槽	5																														
31～50人槽	4																														
計	99	1																													
市単独補助	39	1																													
			6,901	生月町し尿処理施設の汚泥焼却設備については、ダイオキシン類の曝露防止対策による解体工事を要することから、周辺環境への影響を防止する安全な解体工事の実施に向けて事業進捗が図られた。																											

【 5 款 労働費 】

シルバー人材センターは、高齢社会において、地域に密着した就労の場の確保と、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を目的に設置されており、当センターに対し助成を行った。

◇平戸市シルバー人材センター事業実績の推移

	会員数 (人)	男性 (人)	女性 (人)	受注件数 (件)	就業延べ 人員 (人)	契約金額 (千円)	公共民間割合 (%)	
							公 共	民 間
平成 18 年度	321	163	158	2,394	22,321	112,572	37.4	62.6
平成 19 年度	311	169	142	2,457	22,890	114,893	45.8	54.2
平成 20 年度	305	165	140	2,341	22,642	114,560	46.3	53.7
平成 21 年度	293	155	138	2,244	23,285	120,487	55.1	44.9
平成 22 年度	276	150	126	2,266	23,041	118,006	53.2	46.8
平成 23 年度	260	148	112	2,096	20,838	107,022	52.7	47.3
平成 24 年度	259	155	104	2,297	20,094	105,848	44.6	55.4

事業名	事業内容	事業費
シルバー人材センター支援事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 194 頁】	高齢者に生きがいのある就業活動の場を提供するため、社団法人平戸市シルバー人材センターに対し、運営補助を行った。	8,850

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			8,850	社団法人平戸市シルバー人材センターの円滑な運営が図られ、シルバーワークプラザを拠点とした地域に根ざした高齢者の就業活動の展開が図られ、高齢者の健康維持及び生きがいに寄与した。

【 6 款 農林水産業費 】

1 農業費

農家の経営安定と農村の活性化を目標に、農林業の担い手確保、後継者の育成、経営規模拡大、農業生産基盤の整備等を図りつつ、農業所得の向上のため生産性の高い施設野菜や露地野菜の推進、畜産業振興と集落営農組織の推進及び経営の合理化などを積極的に推進した。

(1) 農業委員会

農業・農村を取り巻く情勢は、輸入産物の増大による国際化の進展、担い手・後継者不足と高齢化、農地の荒廃・遊休化など多くの課題を山積みしている。農業委員会としては、新しい「食料・農業・農村基本計画」において、農地の有効利用を促進するため、農地の利用状況調査を実施し、農業経営基盤強化促進法に基づき、認定農業者や担い手への農地の利用集積をはじめ、耕作放棄地の発生防止・解消のための指導強化等、積極的な土地利用の推進と農業後継者結婚対策に取り組んだ。

(2) 農業の振興対策

農業・農村の活性化を図るため、園芸及び肉用牛の振興を中心として、規模拡大に対する支援、営農基盤の整備や農地の有効利用、認定農業者を対象とした農援隊の設置など、各種事業を積極的に推進した。

園芸振興対策として、種苗費の補助など振興品目の作付面積の拡大を支援するとともに、施設整備に対する補助を行い、園芸農家の規模拡大を推進した。

農産物を加工処理し、商品化することで、収益の向上を図るなど、6次産業化に取り組もうとしている農業者等が抱える課題を解決するため、農産物の加工新商品の開発支援を行った。

農業者戸別所得補償制度において、平戸市地域農業再生協議会を中心として、食料自給率向上や水田農業経営の改善を目的に、米の計画的生産と飼料作物や振興品目の増産を推進した。

(3) 農業生産基盤の整備

園芸作物の産地力を高めるため、アスパラガスの生産ハウスの整備や昇温抑制資材の導入など機能向上に対する支援を行い、規模拡大と品質向上に取り組んだ。

優良農地の確保と意欲ある農家の規模拡大を支援するため、国県の補助事業を活用し、耕作放棄地の解消を図った。

中山間地域等直接支払交付金制度及び農地・水保全管理支払交付金制度では、活発な集落の共同活動に対する支援を行い、農地・道路・水路などの保全是もとより、水源のかん養機能や良好な景観の形成機能が増進され、あわせて耕作放棄地の防止を図ることができた。

農業生産の近代化及び農業生産力の増強と経営基盤の強化整備拡充を図るため、未舗装農道や老朽化した用排水路、頭首工、ため池などの整備に対して、市単独農業農村整備事業による補助を行い、農業環境の整備に努めた。

(4) 農業施設の防災対策

農地や農業用施設に対する災害を未然に防止し、農業生産の維持と農業経営の安定を図るとともに、国土保全や農村の安全性を確保するため、県営及び団体営事業により、計画的にため池や用排水路等の整備を行った。

(5) 畜産業の振興対策及び生産基盤の整備

本市の基幹作目である肉用牛の振興においては、市全体の飼養戸数及び飼養頭数は減少しているものの1戸あたりの飼養頭数は微増傾向にある。

このような現状を踏まえ、産地確立の中核となる繁殖農家の経営を支援するため、優良繁殖雌牛の導入、牛舎等の整備及び放牧地整備による低コスト化の支援を行った。

平成24年度に開催された全国和牛能力共進会長崎県大会においては、出品者、和牛部会、農協等、地域が一体となった取り組みを進め、本市から県代表牛として出品された6頭全てが優等賞を受賞するとともに、本市で生産された子牛が内閣総理大臣賞を受賞するなど、優秀な成績を収めることができた。

(6) 担い手育成・確保対策

平戸市担い手育成総合支援協議会を中心として、認定農業者の確保や育成などを図るため、各種研修会の開催や県が主催する研修会等への参加など、関係機関と連携を図りながら積極的な取り組みを行った。

また、平戸市役所農林課内に、平戸市農業総合支援センター「平戸市もうかる農業支援隊」を設置し、就農希望者や規模拡大に取り組む農業者等に対して、県や農協など関係機関と連携したワンストップサービス体制を整備した。

新規就農者の確保対策として、各地域における新規就農者を中心とした人・農地プランを策定し、当該地域における担い手育成や農地集積などの支援を行った。

(7) 有害鳥獣対策・強化

農作物等をイノシシ等から守る「防護対策」と、イノシシ等の被害を減らすための「捕獲対策」及びイノシシ等が嫌がる環境をつくる「棲み分け対策」の3つの観点に基づき、地元猟友会と連携しながら事業を展開した。特に、防護対策として、昨年度に引き続き、国庫補助事業を活用し、防護柵（ワイヤーメッシュ柵・電気柵）の整備を行った。

2 林業費

(1) 林業振興及び基盤の整備

植栽から保育事業まで一貫した造林事業を実施したことにより、優良材の生産及び健全な森林の育成が図られたと同時に、森林の持つ公益的及び多面的な機能が発揮され、CO₂（二酸化炭素）の吸収による低炭素社会の実現、水源かん養機能や国土保全等、美しい自然環境の保全に貢献することができた。

更に、健全な森林を育成するため、市有林においては、国庫補助事業を活用し、下刈り等の適切な整備を実施した。また、松くい虫被害防止のため、「予防」と「駆除」の両面を適期に実施し、健全な松林の保全に努めた。

森林所有者の林業経営に対する意欲向上及び森林施業の推進のため、森林整備地域活動支援交付金事業や市単独森林作業路開設事業による補助を行った。

昨年度に引き続き、特用林産物の振興と雇用の確保を図るため、平戸市森林組合が整備する菌床しいたけ生産ハウス等に対し、補助を行った。

3 水産業費

魚価の低迷や漁場環境の変化、担い手の減少と高齢化、燃油や漁業資材の高騰などにより厳しさを増す水産業界だが、「漁場環境及び生産管理（資源管理）の強化」による漁業生産の効率化と安定化を目指し、「流通・販売体制の改善と水産加工業の育成（高付加価値化）による収益力の強化」「漁協経営の基盤強化」「都市住民との交流と地域連携による開かれた漁村の創造」によって、経営の安定化を図り先進的な水産業の中核地域づくりの推進を行っている。

また、漁業の担い手をはじめとする漁村の住民にとって安全で快適な生活環境や効率的な生産環境づくりを図るため、生産拠点漁港の充実、防災及び老朽化対策、漁業集落の環境整備に向けた取り組みを行った。

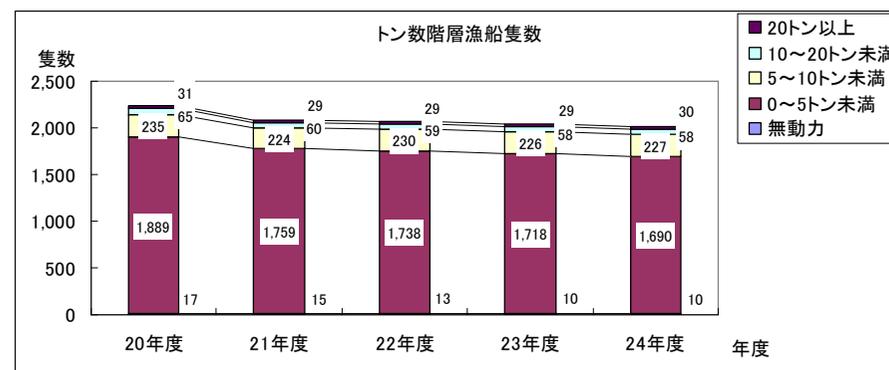
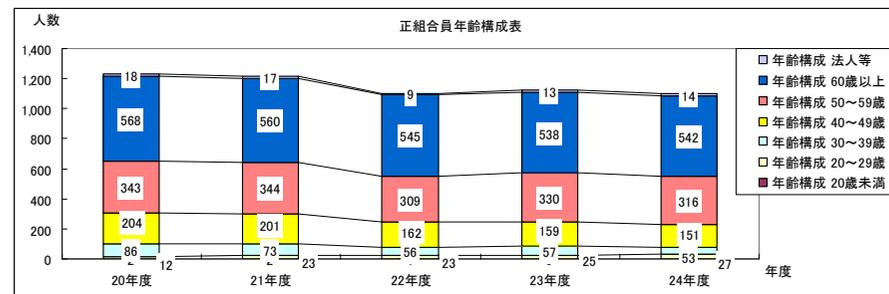
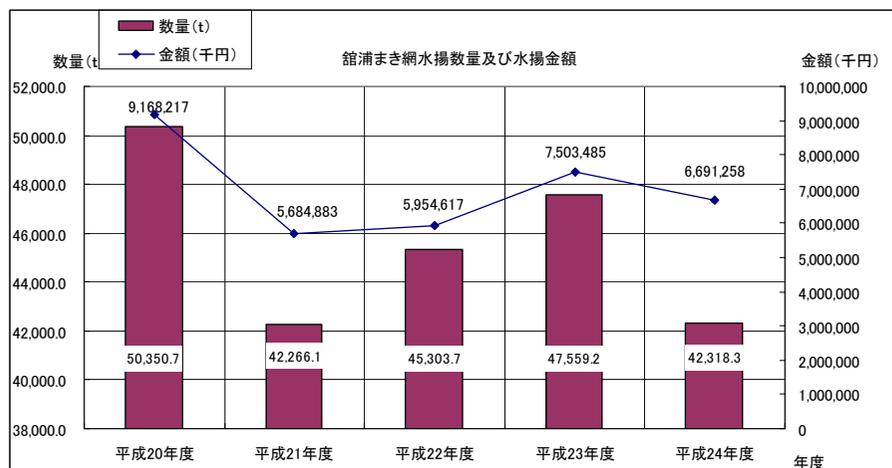
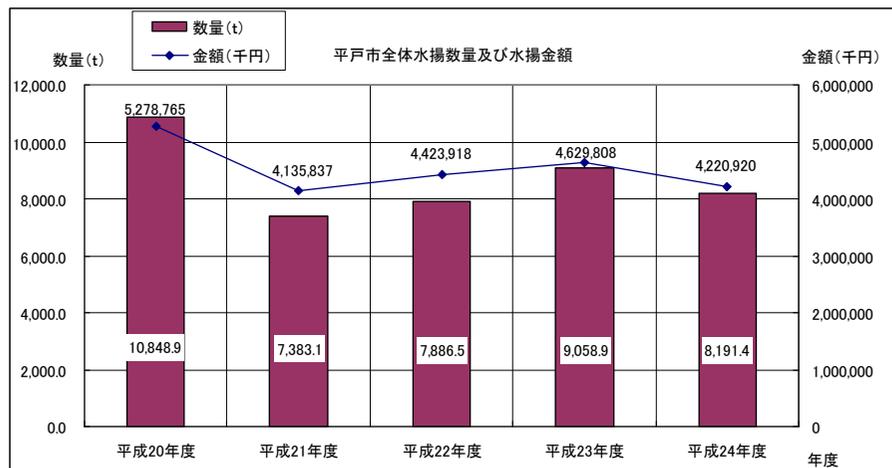
【 6款 農林水産業費 】

(1) 水産業振興対策

水産資源の再生産にとって極めて重要な位置を占める藻場の回復を図るため「環境・生態系保全活動支援交付金事業」を実施すると同時に、藻場礁や人工魚礁漁場を整備し、生産基盤の維持安定を推進するとともに、離島地区における漁業生産力の向上を図るため、「離島漁業再生支援交付金事業」を実施し、地域の実情に応じた沿岸漁業の振興を図った。

また、「放流用アワビの中間育成試験」に取り組むなど、資源管理型漁業の積極的な推進により、水産資源の維持・安定を図っている。

さらに、地域資源を活かした水産加工の普及及び販売促進に取り組み、収益安定を図るとともに漁業後継者の育成に努めている。



(2) 漁港整備

水産活動の拠点として重要な役割を果たしている漁港については、これまで長期計画に基づき整備を行った結果、一定の機能は整ってきたと認識している。しかしながら、荒天時の波浪により漁船の安全な出入港や係留が確保できていない箇所については、計画的に機能強化を行っている。併せて、既存施設の長寿命化を図るため、「水産物供給基盤機能保全事業」に取り組み、工事を行うための前提となる調査と併せて機能保全工事を実施し、漁港施設の改修を行っている。

事業名	事業内容	事業費
農地制度実施円滑化事業 (農業委員会) 【事項別明細所 194 頁】	農地の利用関係調整(権利移動の許可取得等による農地の斡旋等)や農地の利用状況調査、農地基本台帳の整備等を行った。	6,485
中山間地域等直接支払交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 198 頁】	中山間地域における耕作放棄地の防止と多面的機能を確保する観点から、活動を行う協定締結集落等へ交付金を交付した。 推進事務費等 1,418 千円 交付金 187,872 千円 協定締結数 103 協定(集落 102 個人 1) 交付面積 1,021.63ha 負担割合 国:50%、県:25%、市:25%	189,290
耕作放棄地解消総合対策事業 (農林課) 【事項別明細書 198 頁】	平戸市担い手育成総合支援協議会が実施する耕作放棄地解消総合対策事業に対し、補助を行った。 事業内容 区画整理、農道・水路の改修、暗渠排水路等の整備 事業量 97a 4か所(平戸2、田平1、大島1) 事業費 9,324 千円(補助対象事業費) 負担割合 国(※):50%、県:30%、市:15%、受益者:5% ※国費は、直接交付。	4,196
農援隊設置事業 (農林課) 【事項別明細書 198 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 労働力不足のため規模拡大や新規品目導入に踏み切れない認定農業者に対して、農援隊を派遣し、労力の支援を行った。 委託先 ながさき西海農業協同組合 事業量 農援隊(14名)の派遣 事業費 26,995 千円	26,995
構造改善加速化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	【就農定着促進支援】 事業内容 松浦田平アスパラガス生産組合(2名※)が導入する施設(アスパラガスハウス)への補助を行った。 ※うち田平地区1名 事業量 アスパラガスハウス 4棟 2,436 m ² 事業費 16,643 千円(補助対象事業費) 負担割合 県50%、市16%、受益者34% 【経営革新支援】 事業内容 先導的な農業者(2名)が導入する農業散布用機械への補助を行った。 事業量 スピードスプレーヤ1台(かんきつ類) ブームスプレーヤ1台(露地野菜) 事業費 5,652 千円(補助対象事業費) 負担割合 県:33.3%、市:18.7%、受益者:48%	12,785

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,415		19	51	農地の利用状況調査の実施により、農地基本台帳の整備が図られ、農地利用集積等の基礎資料として活用が可能になった。
142,307		9	46,974	集落の活発な営農活動が生まれ、農地・道路・水路などの保全本はもとより、水源のかん養機能や良好な景観の形成機能が増進され、また耕作放棄地の防止ができた。 協定締結数 23年度 102 協定(集落 101、個人 1) 24年度 103 協定(集落 102、個人 1) 交付面積 23年度 1,006.25ha 24年度 1,021.63ha
2,796			1,400	当該箇所における農地の区画整理、農道・水路の改修、暗渠排水路等が整備され、97aの耕作放棄地を解消することができた。 また、解消後の農地においては、地域振興品目を中心に作付けを行い、園芸産地の拡大に向け推進がなされた。
26,995				認定農業者の労働力不足が一定解消し、農業環境の改善と規模拡大につながった。また、14名の雇用創出ができた。 新規雇用失業者数 14名
10,204			2,581	アスパラガスハウスの導入補助を行ったことで、新規就農者1名(田平地区)の就農定着促進と経営面での支援ができ、将来的な後継者育成と産地拡大につながった。 また、先導的な農業者(2名)に対し、農業散布用機械導入の補助を行ったことで、農作業の効率・迅速化及び品質の向上につながった。

事業名	事業内容	事業費
ながさき農山村活性化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	津吉地域活性化協議会(各種 15 団体の代表者など 19 名で構成)が実施する地域活性化活動に対する補助を行った。 事業内容 活性化計画の策定(各種会議の開催等)、環境保全活動(耕作放棄地の情報把握)、産業振興活動(新規就農者の営農定着支援、先進地視察、加工新商品開発の試作準備など) 事業費 500 千円(補助対象事業費) 負担割合 県:100%	500
輝くながさき園芸産地振興計画推進事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	ながさき西海農協平戸地区アスパラガス部会等が導入する昇温抑制資材(遮光ネット)等に対し、補助を行った。 事業内容及び事業費等 ①アスパラガス昇温抑制資材(遮光ネット) A=259.6a 補助対象事業費 2,906 千円 受益戸数 27 戸 ②アスパラガス黄色蛍光灯 30 台 A=268.1a 補助対象事業費 3,360 千円 受益戸数 18 戸 ③アスパラガス新改植 A=66.6a 補助対象事業費 1,890 千円 受益戸数 9 戸 ④アスパラガスUVカットフィルム A=138.7a 補助対象事業費 1,890 千円 受益戸数 12 戸 ⑤いちご炭酸ガス発生装置 A=33.0a 補助対象事業費 1,806 千円 受益戸数 12 戸 ⑥菊UVカットフィルム A=58.121a 補助対象事業費 1,097 千円 受益戸数 4 戸 ※事業量は全体数量、補助対象事業費は全体事業費、受益戸数は全体戸数。 負担割合 県:33.3%(50%)、市:県補助残の 28%	4,883
園芸産地育成対策事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	園芸品目の栽培に取り組んでいる中核的農業者や、新たに園芸品目の栽培に取り組む新規栽培者の産地拡大及び販売体制の強化等の取り組みに対する支援を行った。 新規栽培者支援 500 千円(1 件) 園芸産地育成支援 2,306 千円(6 件) 園芸用施設流動化・改造支援 444 千円(1 件) 気象変動対策支援 497 千円(1 件) その他園芸産地振興支援 1,160 千円(7 件) 合計 4,907 千円(16 件)	4,907
農業者戸別所得補償制度推進事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	農業者戸別所得補償制度の普及・推進活動経費として、平戸市地域農業再生協議会へ補助を行った。 事業内容 加入申請書等の配布及び回収並びに制度への申請手続支援、対象作物の作付状況の確認、平成 25 年度実施に向けた説明会等の開催及び指導・助言など。 事業費 7,310 千円 負担割合 国 100%(定額)	7,310

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
500				多くの活性化団体の代表者が一同に会し、意見交換や活性化計画を策定する中で、環境保全活動(耕作放棄地の情報把握)、産業振興活動(新規就農者の営農定着支援、先進地視察、加工新商品開発の試作準備など)が推進され、津吉地域の活性化に寄与することができた。
3,205			1,678	アスパラガス昇温抑制資材を導入したことにより、夏場の高温による葉焼けや株の消耗等を抑制し、アスパラガスの収量確保が可能となった。 アスパラガス黄色蛍光灯を導入したことにより、夜蛾類の被害を軽減し、薬剤散布回数の削減と良品アスパラガスの生産が可能となった。 アスパラガスの新改植を行ったことにより、老株や病害により枯死した欠株のある圃場で株の若返りが図られ、アスパラガスの収量向上が可能となった。 アスパラガスUVカットフィルム等を導入したことにより、スリップス類の効果的な防除体制が確立し、薬剤散布回数の削減と良品のアスパラガス等の生産が可能となった。 いちご炭酸ガス発生装置を導入したことにより、日照不足や低温時の光合成不足を改善し、厳寒期の生育維持によるいちごの収量向上が可能となった。
			4,907	多くの中核的農家が経営の柱とする園芸品目の生産基盤の強化、生産性の向上、後継者の育成・確保が図られた。 また、新規栽培者への支援を行ったことにより、多様な担い手が育成され、地域農業の活性化が期待できる。
7,310				食料自給率の向上、水田農業経営の改善ができた。また、地域農業再生協議会を活用し、行政と農業者団体等が連携した取組みを推進したことにより、地域の実情に即した農業振興につながった。

事業名	事業内容	事業費
農業振興地域整備計画更新事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 事業内容 農地法の改正等に伴い、農業振興地域整備計画の平成25年度中の変更に向け、業務を委託し、事前調査などを実施した。 事業量 平戸市農業振興地域整備計画更新業務一式 事業費 21,553 千円	21,553
農地・水保全管理支払交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	本市と協定を締結した活動組織が、地域で共同して行う農地、水路等の日常の管理や農村環境の向上に資する活動を支援した。 事業費内訳 交付金 6,909 千円、推進事務費 480 千円 【共同活動】 事業費 交付金 3,151 千円 (市負担分) 交付団体 12 団体 (平戸 8、生月 1、田平 3) 交付面積 田 358.15ha、畑 34.34ha、草地 21.77ha 計 414.26ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25% 【向上活動】 事業費 交付金 3,758 千円 (県・市負担分) 交付団体 7 団体 (平戸 7) 交付面積 田 203.68ha、畑 10.01ha 計 213.69ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	7,389
有害鳥獣被害防止対策事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	有害鳥獣 (イノシシ等) による被害防止のため、有害鳥獣駆除員に対する捕獲報償金及び平戸・田平猟友会への駆除業務委託並びに捕獲罠の整備を行った。 捕獲報償金 (4,981頭) 24,905千円 捕獲罠 (箱罠145基) 7,917千円 駆除業務委託 (平戸・田平猟友会) 6,000千円 事務費等 1,092 千円	39,914
鳥獣被害防止総合対策事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	有害鳥獣 (イノシシ等) による農作物の被害防止のため、ワイヤーメッシュ柵及び電気柵の整備に対して補助を行った。 また、鳥獣被害対策実施隊を結成し、捕獲・防護柵の設置といった実践的活動を展開した。 防護柵整備 (ワイヤーメッシュ柵) 108,100千円 防護柵整備 (電気柵) 13,705千円 鳥獣被害対策実施隊報酬 660千円 県北地域有害鳥獣被害防止対策協議会負担金 45 千円	122,510

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
21,553				現状に即した平戸市農業振興地域整備計画の更新を行うための基礎・根拠資料が作成された。また、13 人の雇用創出ができた。 新規雇用失業者数 13 名												
2,359		2	5,028	農用地・農道等の草刈、水路の土砂上げ活動が円滑に実施され、また、農業施設の維持管理とあわせ機能向上活動が行われたことにより、地域環境の保全向上及び農業施設の長寿命化につながった。 また、地域住民が参加し活動することによって、さらなる集落環境の向上と住民間の交流が生まれ、農業の持続的な発展に寄与した。												
15,618			24,296	地元猟友会等による有害鳥獣 (イノシシ等) の捕獲体制の強化が図られ、農作物の被害を抑えることができた。 ○捕獲頭数 (イノシシ) (単位：頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>捕獲頭数</td> <td>4,799</td> <td>4,086</td> <td>4,981</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>207%</td> <td>85%</td> <td>122%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H22	H23	H24	捕獲頭数	4,799	4,086	4,981	前年度比	207%	85%	122%
年度	H22	H23	H24													
捕獲頭数	4,799	4,086	4,981													
前年度比	207%	85%	122%													
121,805			705	有害鳥獣 (イノシシ等) の農地侵入を防止し、農作物の被害を抑えることができた。 ○防護柵整備状況 (単位：m) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WM柵</td> <td>46,080</td> <td>148,880</td> <td>202,220</td> </tr> <tr> <td>電気柵</td> <td>19,140</td> <td>48,241</td> <td>69,580</td> </tr> </tbody> </table> ※WM柵＝ワイヤーメッシュ柵	年度	H22	H23	H24	WM柵	46,080	148,880	202,220	電気柵	19,140	48,241	69,580
年度	H22	H23	H24													
WM柵	46,080	148,880	202,220													
電気柵	19,140	48,241	69,580													

事業名	事業内容	事業費
新規就農者実践農場推進事業 (農林課) 【事業別明細書 202 頁】	県北各地域の優良農業者をインストラクターとして認定し、地域の振興品目であるいちご・アスパラガス・繁殖牛などによる農業経営を目指す新規就農希望者を対象に、1 年目(前期)の实地研修と2 年目(後期)の就農以降のフォローアップを実施する事業であり、平成 24 年度においては、2 年目の研修者に対し補助を行った。 補助金 1,800 千円(3 人×50 千円×12 月) 研修品目 いちご、アスパラガス	1,800
豊かな農山村づくり事業 (農林課) 【事業別明細書 202 頁】	水と土に恵まれた豊かな農山村地域活性化に向けた取り組みを実施する団体等に対し補助を行った。 担い手対策支援事業 農業大学校就学者 6 名への補助 720 千円 高付加価値型農林業の振興対策事業 活性化団体への冷凍平型ショーケース導入補助 500 千円	1,220
担い手コーディネーター設置事業 (農林課) 【事業別明細書 202 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 平戸市担い手育成総合支援協議会が、担い手コーディネーターを雇用して、「担い手農家の巡回による農家の各種意向掘り起こし活動」、「多様な担い手育成のための意向調査」及び「有害鳥獣被害防止にかかる事業啓蒙、指導」などを行った。 委託先 平戸市担い手育成総合支援協議会 事業量 担い手コーディネーター 2 名雇用 (延べ人数)	1,940
新規就農総合支援事業 (農林課) 【事業別明細書 202 頁】	持続可能な力強い農業を実現するには、これまでの新規学卒者対策に加え、U・I ターン者等の就農促進を強化する必要がある、その際、技術の習得や所得の確保等が課題となっていることから、就農意欲の喚起と就農後の定着を支援するため、給付金を交付した。 事業量 青年新規就農者 4 名に対する給付 事業費 3,000 千円 (1,500 千円×6/12 月×4 名)	3,000

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
900			900	研修者が、インストラクターや J A 生産組織より営農に対する基礎的な技術の習得をすることができ、意欲ある新規就農者の確保・育成に寄与することができた。
			1,220	農業大学校の学生に対し、研修費を補助したことにより、農業に対する意欲の向上と担い手の確保ができた。 また、冷凍平型ショーケース導入への補助を行ったことにより、活性化団体(農業者)の負担軽減が図られ、同時に産地の規模拡大と地域農業の活性化につながった。
1,940				平戸市担い手育成総合支援協議会において、担い手コーディネーターを雇用したことにより、認定農業者などとの連絡及び調整が円滑になされ、幅広く活動支援をすることができた。 また、緊急雇用により雇用の創出につながった。 新規雇用失業者数 2 名
3,000				新規就農者の課題の一つである所得の確保等が一定解消され、就農意欲の喚起と就農後の定着を支援することができた。 また、受給者 4 名については、園芸作物と肉用牛の振興に積極的に取り組んでおり、各地域の活性化につながる担い手及び地域リーダーとして期待できる。

事業名	事業内容	事業費
農産物加工新商品 開発支援事業 (農林課) 【事項別明細書 204 頁】	農産物を加工処理し、商品化することで、収益の向上を図るなど、6次産業化に取り組もうとしている農業者等が抱える課題を解決するため、農産物の加工新商品の開発支援を行った。 事業量 研修会の開催（5回） ①食と農のビジネス経営の基本について ②加工品開発にかかる事例研修について ③加工品開発にかかる基礎研修について ④加工品開発に向けた素材研究について ⑤おいしくて安全で安心な商品開発の手法について 委託先 株式会社 キースタッフ 事業期間 平成 24～25 年度	1,032
家畜導入事業 (農林課) 【事項別明細書 204 頁】	長崎県家畜導入事業を活用して、ながさき西海農業協同組合が実施する繁殖雌牛の貸付に対して1頭当たり138千円の補助を行った。 ひらどモー！モー！増頭支援事業補助金 県：92千円×70頭＝6,440千円 市：46千円×70頭＝3,220千円	9,660
和牛オリンピック 対策奨励事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	平成 24 年度に開催された第 10 回全国和牛能力共進会長崎県大会の出品牛対策及び大会開催に対し支援などを行った。 ・代表牛賞賜金 2,510千円 〈市代表牛 53頭 530千円〉 〈県北地区選考牛 34頭 1,020千円〉 〈県北地区代表牛 18頭 900千円〉 〈県代表牛 6頭 60千円〉 ・大会会場へのバス借上料 589千円 ・全国和牛能力共進会長崎県大会負担金 6,064千円 ・県北地域和牛改良推進協議会負担金 1,060千円 ・和牛オリンピック対策奨励事業補助金 200千円 ・事務経費 863千円	11,286
21 世紀平戸牛産地 強化対策事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	肉用牛経営の規模拡大に意欲を持つ畜産農家に対し、国県補助事業の採択要件に合わない施設整備の補助を行った。 低コスト牛舎及び堆肥舎モデル事業補助金 別飼施設 2棟 284.0 m ² 1,000 千円 堆肥舎 3棟 60.2 m ² 661 千円	1,661

財 源 内 訳				事業の成果																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
			1,032	6次産業化に取り組もうとしている農業者等が抱える問題点・課題（市内農産物の有効活用、新規事業の創出、ブランド化、販売促進及び地域活性化など）が一定解決し、付加価値の高い農産物の加工品による新商品の開発が可能となり、農業所得の向上が期待できる。																
6,440			3,220	ながさき西海農協を通じて優良繁殖雌牛の導入支援を行ったことで、高齢化による飼養戸数及び飼養頭数の減少はあるものの中核畜産農家の規模拡大につながった。 (戸、頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飼養戸数</td> <td>518</td> <td>489</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>飼養頭数</td> <td>3,280</td> <td>3,202</td> <td>3,125</td> </tr> <tr> <td>1戸あたり</td> <td>6.3</td> <td>6.5</td> <td>6.9</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H22	H23	H24	飼養戸数	518	489	455	飼養頭数	3,280	3,202	3,125	1戸あたり	6.3	6.5	6.9
年度	H22	H23	H24																	
飼養戸数	518	489	455																	
飼養頭数	3,280	3,202	3,125																	
1戸あたり	6.3	6.5	6.9																	
			11,286	全国和牛能力共進会長崎県大会に向け、出品者、和牛部会、農協等、地域が一体となった取り組みを進めることができた。本市から県代表牛として出品された6頭全てが優等賞を受賞するとともに、本市で生産された子牛が内閣総理大臣賞を受賞するなど、優秀な成績を収めることができ、産地力が向上した。																
			1,661	低コストの牛舎・堆肥舎の整備による経営規模の拡大及び低コスト経営が図られた。 また、堆肥舎の整備により、家畜ふん尿の適正管理につながった。																

事業名	事業内容	事業費
肉用牛経営活力アップ事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	繁殖牛の多頭飼育経営に取り組む組織に対して、繁殖牛舎及び堆肥設備などの整備に支援を行った。 事業量 牛舎 1 棟 135 m ² 、堆肥舎 1 棟 42 m ² など 事業主体 平戸地域肉用牛生産組合(平戸市生月町) 受益戸数 2 戸 負担割合 県：50%、市：16%、受益者：34%	4,889
農村災害対策整備事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池等の改修のための調査・計画書作成、測量・設計及び対策工事にかかる県工事負担金 生月地区(ため池：測量・設計及び対策工事) 負担金 89,984,180 円×16%≒14,397 千円 負担割合 国：55%、県：29%、市：14%、受益者：2% 大島地区(ため池：調査・計画書作成) 負担金 1,890,000 円×25%≒ 473 千円 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	14,870
海岸堤防等老朽化対策事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	県が実施する老朽化した海岸保全施設の改修のための対策工事にかかる県工事負担金 神上地区(消波工) 負担金 15,991,500 円×7%≒1,119 千円 負担割合 国：50%、県：43%、市：7%	1,119
農村災害対策整備事業 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	老朽化した農業用施設(用水路・排水路など)の改修のための測量・設計及び対策工事を実施した。 生月第2地区(用水路・排水路など：測量・設計及び対策工事) 事業費 測量・設計費 24,819 千円 工事請負費 2,182 千円 計 27,001 千円 負担割合 国：55%、県：15・10%、市：35・31・30・26%、受益者：4%	27,001

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,831				耕作放棄地等の有効利用により放牧利用面積を拡大し、共同放牧による労働時間や生産コストの削減、また牛舎の空スペースを活用した増頭が可能となり、肉用牛経営の安定につながった。
3,704			1,185	近代的かつ低コストの繁殖牛施設(12 頭規模)が整備され、経営規模の拡大及び集団化による生産コストの低減などで、経営の安定と肉用牛の生産振興が可能となった。
	12,000	1,800	1,070	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来している状況である。事業完成後は、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給が図られる。 〔事業予定期間 平成21～32年度〕
			1,119	当該海岸保全施設は、経年劣化や波力等の影響により損傷や機能低下が著しい状況である。事業完成後は、消波機能が十分に発揮され、背後農地や家屋への被害防止が図られる。 〔事業予定期間 平成23～25年度〕
18,277	8,100	157	467	当該農業用施設は、老朽化等に伴い、施設本来の機能を発揮できておらず、降雨時に近隣農地等へ雨水が氾濫している状況である。事業完成後は、当該地域で発生する災害から、市民の生命・財産及び生活を守ることができるとともに、農業用施設等の機能の充実により、安定した営農が図られる。 〔事業予定期間 平成 21～27 年度〕

事業名	事業内容	事業費
自然災害防止事業 県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池の改修のための対策工事にかかる県工事負担金 生月地区 (ため池：対策工事) 負担金 5,985,000 円×25%≒1,496 千円 負担割合 県：75%、市：12.5%、受益者：12.5%	1,496
地域ため池総合整備事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池の改修のための対策工事及び排水路整備のための測量設計にかかる県工事負担金 大島地区 (ため池・排水路：測量・設計及び対策工事) 負担金 24,533,800 円×9%≒2,208 千円 負担割合 国：60%、県：31%、市：8%、受益者：1%	2,208
農業農村整備事業 (農林課) 【事項別明細書 210 頁】	市単独農道整備事業 4,718 千円 老朽化等により支障を来している農道の補修を行うため、農業者団体が実施する路面舗装等の施設整備に対して補助を行った。 農道舗装 23 路線、L=1,997m 平戸地区 2,719 千円 15 路線 生月地区 424 千円 5 路線 田平地区 806 千円 2 路線 大島地区 769 千円 1 路線	4,718
	市単独小規模かんがい恒久対策事業 5,198 千円 老朽化等により支障を来している農業施設 (農道は除く。)の補修を行うため、農業者団体が実施する農業用かんがい施設や未整備地域の施設整備に対して補助を行った。 水路 14 か所、ため池 5 か所 平戸地区 2,675 千円 13 か所 生月地区 1,000 千円 1 か所 田平地区 794 千円 3 か所 大島地区 729 千円 2 か所	5,198
林道環境整備事業 (農林課) 【事項別明細書 216 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 市が管理する林道のうち車両通行の妨げとなっていた沿線の草木等について、機械使用による除草、陰切り作業及び側溝の土砂除去などを行った。 委託先 平戸市森林組合 事業量 林道田代線 L=4,047m、林道安満線 L=2,027m 事業費 1,916 千円	1,916

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		748	748	当該ため池は、堤体の老朽化に伴い、崩壊の危険性があったが、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給ができるようになった。
	2,000	74	134	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来している状況である。事業完成後は、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給が図られる。 〔事業予定期間 平成 21～27 年度〕
			4,718	農道への落石や路面の損傷など、農道の維持管理に相当の経費と労力を要していたが、本事業で整備されたことにより、農産物や機械搬入の省力化、荷傷みの防止、更には雨天時の通行が容易になるなど農業環境の整備と車両通行の安全性が確保された。
			5,198	近年、特にイノシシによる水路の被害が多く発生し、水路の管理に多大な影響が出ていたが、本事業で整備されたことにより、水路等の施設が充実し、農産物の生産向上と労働力が軽減された。
1,916				林道を利用する森林所有者及び森林整備車両等の安全運行と利用促進が図られた。 また、2 名の新規雇用と刈払機講習会受講等により技術の向上が図られた。 新規雇用失業者数 2 名

事業名	事業内容	事業費
海岸防災林造成事業 県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 216 頁】	県が実施する老朽化した海岸保全施設の改修のための測量・設計及び対策工事にかかる県工事負担金 根獅子地区（防潮工など） 負担金 19,999,350 円×7%≒1,400 千円 負担割合 国：50%、県：43%、市：7%	1,400
流域育成林整備事業 (農林課) 【事項別明細書 216 頁】	植栽から保育まで一貫した造林事業を集团的、計画的、組織的に実施し、森林の総合的整備を行った。 事業量 下刈 4.84ha（平戸地区3.2ha、田平地区1.64ha） 事業費 693 千円	693
環境林整備事業 (農林課) 【事項別明細書 216 頁】	防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害（松くい虫）から守るため、松くい虫による被害木の伐倒駆除を行った。 事業量（伐倒駆除） 185.13 m ³ 平戸地区 14.72 m ³ 生月地区 36.00 m ³ 大島地区 134.41 m ³	3,657
自然災害防止事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	豪雨により、崩壊した民家裏林地について、県の補助事業を活用し、復旧工事を実施した。 事業量 L=10.0m 地区名 岡地区（志々伎町）	1,793
森林病虫害対策事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害（松くい虫）から守るため、防除を実施した。 ・地上散布 7.60ha（平戸地区3.00ha、大島地区4.60ha） ・空中散布 82.0ha（大島82.0ha） ・樹幹注入 274本（平戸151本、生月123本）	6,929
森林整備地域活動支援交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	施業集約化に不可欠な作業路網の改良箇所の洗い出しのための点検及び崩壊箇所・崩壊の原因となっている箇所について、丈夫で簡易な作業路網へ転換を図る改良活動に対して支援を行った。 事業内容 作業路網の改良活動 1,190ha 事業主体 県林業公社910ha、平戸市森林組合250ha 北松森林組合30ha	5,260

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,300		100	当該海岸保全施設は、経年劣化や波力等の影響により損傷や機能低下が著しい状況である。事業完成後は、消波機能が十分に発揮され、保全対象区域の民家、農地及び防災林などへの被害防止が図られる。 〔事業予定期間 平成24～26年度〕
459			234	植栽から保育事業まで一貫した造林事業が実施され、優良材の生産及び健全な森林が育成できた。 また、森林の持つ公益的及び多面的機能が発揮され、水源かん養機能やCO ₂ （二酸化炭素）削減に寄与できた。
1,835			1,822	防風、防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害（松くい虫）から守ることができ、当該地域住民の生活、環境、景観保全を図ることができた。
896		449	448	林地の現況復旧と再崩壊を防止し、市民生活の安全を確保することができた。
5,135			1,794	防風、防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害（松くい虫）から守ることができ、当該地域住民の生活、環境、景観保全を図ることができた。
4,070			1,190	森林整備が計画的に進み、森林が持つ公益的機能が発揮され、森林所有者の林業経営意欲等の向上に寄与した。

事業名	事業内容	事業費
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	平戸市森林組合が整備する菌床しいたけの生産施設に対し、補助を行った。 事業量 菌床しいたけ生産施設 6棟 A=1,490.4㎡ 事業費 171,450千円(補助対象事業費) 負担割合 国：50%、市：16%、受益者34%	113,157
特用林産物活用施設整備事業 (農林課) 【事項別明細書 220 頁】	【平成23年度繰越明許費】 平戸市森林組合が整備する菌床しいたけの集出荷貯蔵施設及び生産施設に対し、補助を行った。 事業量 菌床しいたけ集出荷貯蔵施設 1棟 A=250.0㎡ 菌床しいたけ生産施設 1棟 A=248.4㎡ 事業費 81,413千円(補助対象事業費) 負担割合 県：50%、市：16%、受益者34%	13,027
F R P 漁船廃船処理対策事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】	今後予想される FRP 漁船等の大量排出に対処するため、本市の現状や課題等に応じた廃船処理手法の比較検証を行った平戸市水産振興協議会に対し、費用の一部を運営補助金として助成した。 事業実施主体：平戸市水産振興協議会 比較検証隻数：6隻 運営補助金：6隻×50,000円=300千円	300
離島漁業再生支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】	漁業生産や販売の面で本土地区に比べ不利な条件が強られる離島地区の中で、漁業者自ら策定した活動計画(集落協定)に基づき、沿岸漁業の振興に取り組む漁業集落に対して一定額の交付金を交付した。 対象地区 度島 46世帯 6,256千円 高島 4世帯 544千円 的山 28世帯 3,808千円 大根坂 21世帯 2,856千円 推進事務費 300千円 単独事務費 2千円	13,766
水産環境保全創造事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】	藻場礁整備 設置場所 平戸市野子地先 ・総事業費 89,765千円 うち年度内支出 31,148千円 着定基質 自然石 V=9,600㎡ K-hat リーフ 30基 ・事務費 530千円	31,678

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
85,725	27,400		32	菌床しいたけの生産体制が充実・強化され、生産量の拡大による市場等への安定供給が可能となり、特用林産物の振興と雇用の確保が図られる。
	13,000		27	菌床しいたけの生産体制が充実・強化され、生産量の拡大による市場等への安定供給が可能となり、特用林産物の振興と雇用の確保が図られる。
			300	平戸市水産振興協議会では、FRP 漁船の廃船処理をリサイクルと産廃処理での比較検証を行い、環境(衛生)・費用・法令順守面等でそれぞれ課題を分析した。 比較検証の結果、環境面では、本市内での処理業者(油脂類処分業者)の不在、費用面では、ほぼ同額であること、法令面では、相談窓口や法令順守の周知不足などが指摘された。また、費用を安価に抑えるには、自走能力を備えている段階で、1か所に集積できるような場所を確保するなど新たな対策を講じる必要性なども指摘された。
10,352			3,414	各漁業集落の地域特性を活かした「漁場生産力の向上に関する取り組み」及び「集落の創意工夫を活かした新たな取り組み」を展開し、産卵場の整備、磯焼け対策、食害生物を利用した加工品の開発、直売所の運営等を行うことができた。
25,956	5,400		322	磯焼けの進行に伴う藻場の減少に対応するため、核藻場を造成したことにより、今後の漁場生産力の回復が期待できる。

事業名	事業内容	事業費
漁村再生交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 228 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 魚礁整備 設置場所 生月地先 ・総事業費 32,278 千円 ハニカム魚礁 10 基 FP 魚礁 3.25 型 38 基 ・事務費 81 千円	32,359
環境・生態系保全活動支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】	漁業者が取り組むモデル的な磯焼け対策（計画モニタリング・保全活動）に対して交付金を支給した。 度島磯焼け対策チーム 1,976,852 円×1/4≒494 千円 志々伎地区磯焼け対策活動組織 2,589,000 円×1/4≒647 千円 負担区分 国 (1/2) 県 (1/4) 市 (1/4) 市支出内訳 負担金 4,565,852 円×1/4≒1,141 千円 補助事務費 300 千円 単独事務費 5 千円	1,446
豊かな海づくり事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	市内の漁業者、漁協及び団体が取り組む水産業振興策を支援するため、市単独の補助金を交付した。 ①充填機の導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 256 千円 中野漁協川内青年部 ②底質改良剤散布〔環境保全対策支援事業〕 220 千円 中野漁業協同組合 ③エビ・カキ祭り〔高付加価値型漁業の振興対策〕 497 千円 平戸市水産振興協議会 ④磯焼け対策〔資源管理型漁業推進事業：食害生物駆除〕 210 千円 中野漁業協同組合 ⑤磯焼け対策〔資源管理型漁業推進事業：フルボ酸鉄〕 500 千円 生月漁業協同組合	1,683
密漁取締連携推進事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	密漁対策のため、平戸市管内の漁協で組織された北松海域漁場監視連絡協議会が実施する漁業者による密漁監視のための自警活動に対し、監視活動に使用する船舶の運航経費の一部を補助した。 総事業費 3,390 千円 密漁監視活動実績 226 回 県費 1,130 千円 (1/3；直接補助) 市費 565 千円 (1/6) 負担金 1,695 千円 (1/2；協議会自己負担金)	565

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
26,898	5,100		361	漁港から比較的近い海域（共同漁業権内）に人工的に漁場を造成し、天然礁や既存の人工魚礁と併せて、回遊魚の滞留時間の延長を図ることにより、漁獲の増大と漁業経費の軽減を促した。
300			1,146	対象地区において漁業者をメンバーの中心とする活動組織を設立し、地先の磯焼け対策について協議しながら、定期的なモニタリングと併せてウニ駆除やウニハードルの設置、母藻の設置など藻場の保全活動を行い、食害生物による食害の低減、種子（遊走子）供給力の強化につながった。
			1,683	①練り製品加工用関係機器の導入を行うことにより、ストローと保存料を使わない新商品づくりに取り組むことができた。 ②養殖漁場の環境改善を図り、底質改良剤の散布を実施したことにより、持続可能な養殖事業に寄与した。 ③冬のイベントとして定着している「エビ・カキ祭り」の宣伝告知を効果的にを行い、平戸の旬の食材を積極的にPRすることができた。 ④海藻に対する食害生物であるガンガゼ・小型巻貝を駆除することで漁場環境と資源保護に関する意識付けができた。 ⑤磯焼けが進行している地先に、フルボ酸鉄ユニットを設置したことにより、その有効性について継続した検証（経年変化）を行うことができるようになった。
			565	自警活動に取り組む平戸市内の全漁協により組織された北松海域漁場監視連絡協議会に対し、域内に発生する密漁の効率的な排除と密漁情報の共有システムを確立し、漁場監視体制の整備強化を図ることができた。

事業名	事業内容	事業費																								
農林漁業振興資金 利子補給事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	<p>漁業者の資本装備の高度化を図り、漁業経営の近代化等に資するため、制度資金（漁業近代化資金等）を融資した金融機関（漁協）に対し、利子補給金を交付した。</p> <p>農林漁業振興資金利子補給（利子補給率 1.5%以内）</p> <table border="0"> <tr> <td>期首融資残高</td> <td>147 件</td> <td>461,426 千円</td> </tr> <tr> <td>平成 24 年度新規貸付実行状況</td> <td>10 件</td> <td>70,500 千円</td> </tr> <tr> <td>利子補給額</td> <td>平戸市漁協</td> <td>1,200 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中野漁協</td> <td>84 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>志々伎漁協</td> <td>2,498 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>九十九島漁協</td> <td>26 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生月漁協</td> <td>215 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大島村漁協</td> <td>100 千円</td> </tr> </table>	期首融資残高	147 件	461,426 千円	平成 24 年度新規貸付実行状況	10 件	70,500 千円	利子補給額	平戸市漁協	1,200 千円		中野漁協	84 千円		志々伎漁協	2,498 千円		九十九島漁協	26 千円		生月漁協	215 千円		大島村漁協	100 千円	4,123
期首融資残高	147 件	461,426 千円																								
平成 24 年度新規貸付実行状況	10 件	70,500 千円																								
利子補給額	平戸市漁協	1,200 千円																								
	中野漁協	84 千円																								
	志々伎漁協	2,498 千円																								
	九十九島漁協	26 千円																								
	生月漁協	215 千円																								
	大島村漁協	100 千円																								
養殖魚赤潮被害緊急対策事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	<p>薄香湾で発生した赤潮による養殖魚の大量斃死被害に対し、漁協が中間魚を一括購入し被害地区の養殖業者に供給する事業に補助を行った。</p> <p>事業主体：平戸市漁業協同組合 補助対象事業費 県：7,425 千円×1/3≒2,500 千円 市：7,425 千円×1/3≒2,500 千円</p>	5,000																								
新生水産県ながさき総合支援事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	<p>①浜の生産・流通・経営基盤整備対策 定置漁業体験交流施設整備事業（木造平屋建） 事業主体：生月漁業協同組合 事業費：23,520 千円（うち補助対象事業費：20,000 千円） 県費：10,000 千円（補助率：1/2） 市費：3,334 千円（補助率：1/6） 自己負担：10,186 千円</p> <p>②漁場環境保全対策 薄香湾で発生した赤潮による養殖魚の斃死魚の処分費用に補助を行った。 事業主体：平戸市漁業協同組合 事業費：921 千円（うち補助対象事業費：877 千円） 県費：292 千円（補助率：1/3） 市費：293 千円（補助率：1/3） 自己負担：336 千円</p>	13,919																								

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			4,123	借り手である漁業者の金利負担を軽減し、生産性の向上と所得の安定に寄与した。
2,500			2,500	出荷段階にあった養殖魚が赤潮の影響により大量に斃死し、経営の存続が危ぶまれる状況となった養殖業者の経営維持を図ることができた。
10,292			3,627	<p>①生月漁協にとって重要な定置網漁業に関する“納屋”の老朽化が著しく、漁具の保管にも支障をきたす状態だったが、この事業を行ったことで、資材保管・作業・休憩のみならず、漁業（定置網）体験のための施設としての利用が可能となった。</p> <p>②早急に斃死魚を処分したことにより、養殖業者の経営再建、漁場及び周辺漁場環境の保全に資することができた。</p>

事業名	事業内容	事業費
離島輸送コスト支援事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	<p>本市離島地域の農水産業の競争力を低下させる要因となっている海上輸送コストに係る経済的負担の軽減を図ることを目的に海上輸送費の一部を助成した。</p> <p>事業期間：平成25年3月13日～平成25年3月31日</p> <p>大島村漁業協同組合 輸送費61,979円×(国1/3+県1/6+市1/6) ≒40千円</p> <p>平戸市漁業協同組合 (度島事業所) 輸送費27,270円×(国1/3+県1/6+市1/6) ≒18千円</p>	58
漁業担い手確保推進事業 (水産課) 【事項別明細書 226 頁】	<p>漁業担い手確保推進事業補助金</p> <p>技術習得支援事業</p> <p>(志々伎・大島) 100,000円×2人×12月=2,400千円</p> <p>(生月) 150,000円×1人×12月=1,800千円</p> <p>保険料 等 50,000円×3人=150千円</p>	4,350

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	5,000		408	<p>①減少傾向にある水産資源を維持安定(持続的利用)させるためには、種苗放流と同時に、“漁獲規制”を導入する資源管理型漁業が不可欠となる。資源管理型漁業への取り組みを推進するため操業規制の導入及び県水産試験場等の推奨する最適放流手法の管内への普及を図った。</p> <p>②アワビ種苗の放流については魚価の低迷や沿岸域の磯焼けの深刻化により水揚げが減少していく中で、地元漁協でも十分な資金が確保できず放流数量を調整するなどして対応している現状である。市では地元の協力を得ながらアワビの放流用種苗よりも安価な中間育成種苗の育成試験を実施し、高生残率を維持しながら放流適性サイズまで成長させるためのデータを収集することができた。</p> <p>③管内のマガキについて、ノロウイルス及び麻痺性貝毒のモニタリング検査を実施したことで、風評被害及び食中毒の防止ができた。</p>
44			14	<p>離島という地理的条件の不利を軽減し、地場産業の活性化と離島の自立的発展を促す切っ掛けづくりを支援することができた。</p>
2,175			2,175	<p>漁家子弟の後継者に、技術習得期間中の生活費の支援を行い、後継者の確保につなげることができた。</p>

事業名	事業内容	事業費
産地水産業強化支援事業 (水産課) 【事項別明細書 226 頁】	<p>事業主体 ハード事業：志々伎漁業協同組合 ソフト事業：宮ノ浦地区産地協議会</p> <p>事業内容 ハード事業：志々伎漁協宮ノ浦支所荷捌施設改修 A=327.6 m² 屋根・外壁改修 ソフト事業：ウチワエビ販売促進事業</p> <p>事業費 ハード事業：32,550 千円（補助対象事業費 29,700 千円） 国費 14,850 千円（1/2） 県費 2,970 千円（10%） 市費 2,376 千円（8%） ソフト事業：217 千円（補助対象事業費 872 千円） 市費 217 千円（1/4） 附帯事務費：300 千円（うち国庫補助 150 千円） 単独事務費：3 千円</p>	20,716
漁港海岸施設老朽化調査及びシステム化事業 (水産課) 【事項別明細書 228 頁】	<p><緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 東日本大震災の教訓を活かし、漁港海岸施設の適切な維持管理を図ることを目的として、海岸施設の老朽化調査を行うとともに調査結果について電子データ化を行った。</p> <p>市営 22 漁港の漁港海岸施設の老朽化調査委託業務</p>	6,825
漁村再生交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	<p>志々伎地区における水揚げの拠点である志々伎浦漁港において、陸揚時の衛生環境の向上を図るため、物揚場へ防暑施設（屋根）の整備を行った。また、白石漁港においては、季節風による風浪により、出入港時及び漁船係留時に危険な状況であるため、漁業者及び漁業体験者等の安全確保の観点から、北防波堤及び南防波堤の新設整備に向けて、調査及び設計を実施した。</p> <p>・志々伎地区 総事業費 68,120 千円 防暑施設(屋根)整備 L=33.2m 福良東防波堤改良（防風フェンス）L=80m 測量設計 一式 うち年度内支出 17,704 千円</p> <p>・白石漁港 総事業費 16,730 千円 北防波堤（新設）L=70m・南防波堤（新設）L=40m 地質調査・測量設計 一式</p> <p>・事務費 851 千円</p>	35,285

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
17,970			2,746	<p>・ハード事業 塩害による老朽化が目立っていた荷捌施設を改修することにより、利用者が安全に作業できる環境が整った。</p> <p>・ソフト事業 ヒラメに次ぐ重要な地域資源であるウチワエビについて、福岡地区を中心とする販促活動を行ったことにより、今後の販売戦略に関する資料を得ることができた。</p>
6,825				<p>漁港海岸施設の老朽化調査を行ったことにより、施設の状況が把握でき、国の事業を活用して、年次計画で施設の補修を行なう環境が整った。また、システム化を行うことで漁港海岸施設の管理が比較的容易となり、施設の適切な維持管理が可能となった。また、緊急雇用により雇用の創出にもつながった。</p> <p>新規雇用失業者数 7 名</p>
23,243	10,900	558	584	<p>志々伎浦漁港においては、水揚げ時における衛生環境が改善され、漁獲物の鮮度保持が可能となるなど付加価値の向上が期待される。また、白石漁港においては、必要とする施設の適正な整備にかかる資料（基本設計）が整った。</p>

事業名	事業内容	事業費
地域水産物供給基盤整備事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	獅子地区における水揚げの拠点港である獅子漁港において、荒天時の波浪による越波により、漁船の係留及び漁獲物の水揚げ時に支障をきたしているため、西防波堤の改良を行った。 また、早福漁港地区において、新たな地域の集会施設までの取り付け道路の整備を行うため、地質調査及び測量設計を行った。 ・獅子漁港 総事業費 128,470千円 西防波堤(改良)L=10m うち年度内支出 48,191千円 ・早福漁港 総事業費 8,000千円 道路L=161m 調査測量設計一式 うち年度内支出 7,322千円 ・事務費 2,405千円	57,918
【事項別明細書 234 頁】	【平成23年度繰越明許費】 ・獅子漁港：西防波堤(改良)L=15m 51,652千円 ・事務費 60千円	51,712
漁港関連道路整備事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	獅子漁港から主要地方道までの道路が狭隘であり、大型車両(保冷車・活魚車)等の通行の際に危険な状況となっているため道路の整備を行うもの。平成24年度は工事実施に向けて測量設計を行った。 ・獅子漁港 総事業費 20,000千円 関連道路整備 L=600m 測量設計一式 うち年度内支出 3,200千円 ・事務費 197千円	3,397
水産物供給基盤機能保全事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	漁港施設の老朽化対策として、機能保全工事を行うための前提となる調査を実施するとともに、施設整備後、数十年が経過し老朽化が進んでいる施設について対策工事を実施した。 ・機能保全調査及び対策工事 総事業費 96,000千円 うち年度内支出 25,027千円 機能保全調査：獅子、釜田、一六、生向、須草、泊ヶ浜、主師白石、春日、高越、飯良、西浜 機能保全工事：古田漁港(古田橋橋脚1基・古田防波堤L=96m) 宝亀漁港(京崎防波堤L=22m・測量設計一式) ・事務費 426千円	25,453
【事項別明細書 234 頁】	【平成23年度繰越明許費】 ・機能保全工事：飯盛漁港 (西防波堤補修L=30m・浮棧橋補修1基 取付護岸補修L=4.75m) 23,968千円 ・事務費 149千円	24,117

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
37,471	18,700	783	964	獅子漁港においては、西防波堤の改良を行ったことにより、港内の静穏度が向上し、係留時及び水揚げ時における漁業者の安全が確保されるとともに、出荷調整のための蓄養水面の有効活用が可能となった。また、早福漁港においては、地質調査及び測量設計を実施したことで、道路整備を行うための資料(基本設計)が整った。
34,828	15,200	838	846	
2,160	1,200		37	獅子漁港で水揚げされる水産物の流通環境の改善や地域住民が安心して生活できる環境を整えるための道路整備に向けた資料(基本設計)が整った。
12,505	10,500		2,448	機能保全調査を行った結果、国の事業を活用して老朽化している施設の保全工事を実施できる環境が整った。また、老朽化している既存施設の保全工事を行ったことにより、施設の長寿命化が図られ、更新コストの縮減及び漁業者が継続して就業できる環境を構築できた。
16,896	6,900		321	

事業名	事業内容	事業費
漁業集落環境整備事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	早福漁港地域において、漁業集落における生活環境の改善を行うことにより、快適な漁港環境を形成し、併せて漁業者が安心して就業できる環境を構築することを目的に集落道路の整備を行った。 ・早福漁港：集落道 L=145.1m 総事業費 50,000千円 うち年度内支出 7,516千円 建物事前調査 19棟 建物調査 2棟 物件調査 6件 土地購入278.59㎡ 建物補償 5棟 立木・電柱移転補償費一式 ・事務費 139千円	7,655
【事項別明細書 234 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ・早福漁港：集落道 L=69.0m 33,810 千円 土地購入 554.38 ㎡ 移転補償 工作物補償 2 件 建物補償 4 棟 ・事務費 172 千円	33,982
漁港単独整備事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	補助事業及び災害復旧事業での採択要件に該当しないものの、整備が必要な箇所の工事及びそれに伴う調査測量作業を実施した。 総事業費 13,438 千円 うち年度内支出 9,092 千円 事業内容 ・宝亀漁港機能保全計画書作成業務委託 ・根獅子漁港深浅測量業務委託 ・船越漁港（向月地区）沖防波堤標識灯取替工事 ・大根坂漁港背後法面崩壊対策工事 ・獅子漁港臨港道路維持工事 ・生向漁港外 2 漁港単独災害復旧工事 ・船越漁港飯田海岸施設単独災害復旧事業 ・主師漁港主師防波堤根固工事 ・田助漁港幸の浦地区埋立地用地測量業務委託 ・事務費 13 千円	9,105

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,885	2,600		170	道路拡幅工事を行ったことで、緊急時における車両の進入が可能となり、安心して生活できる環境が整った。また、汲み取り車両が集落内に進入できるようになったことで劣悪な衛生環境も改善された。
21,977	11,400		605	
		5	9,100	被害の拡防止大及び事故の防止につながっており、安全な漁港環境が整った。

事業名	事業内容	事業費
漁港整備事業県工事負担金 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	<p>基幹的な漁港である県営漁港の施設を充実させるため、漁港整備計画に基づき県が実施している建設事業費の一部を負担した。</p> <p>漁港整備事業県工事負担金 18,516 千円</p> <p>《水産生産基盤整備事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生月漁港 <ul style="list-style-type: none"> <事業費 124,999 千円> 市負担額 15,625 千円 【うち年度内 事業費 14,244 千円 市負担額 1,781 千円】 - 2m 物揚場 (改良) L=80m 内防波堤 (A) L=30m ・薄香湾漁港 <ul style="list-style-type: none"> <事業費 9,999 千円> 市負担額 1,250 千円 【うち年度内 事業費 6,021 千円 市負担額 753 千円】 潮の浦護岸 (改良) 一式 潮の浦東防波堤 (改良) 一式 ・宮ノ浦漁港 <ul style="list-style-type: none"> <事業費 169,999 千円> 市負担額 21,250 千円 【うち年度内 事業費 73,013 千円 市負担額 9,127 千円】 浮棧橋 (A) 1 基 用地 (B) A=6,100 m² <p>《地域自主戦略》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前津吉漁港 <ul style="list-style-type: none"> <事業費 34,269 千円> 市負担額 4,283 千円 【うち年度内 事業費 17,468 千円 市負担額 2,183 千円】 護岸 (改良) 一式 内防波堤 (改良) 一式 道路一式 - 3m 岸壁 (改良) L=70m - 2m 物揚場 (改良) L=142m ・館浦漁港 <ul style="list-style-type: none"> <事業費 26,231 千円> 市負担額 3,279 千円 【うち年度内 事業費 19,388 千円 市負担額 2,423 千円】 浮棧橋一式 <p>《農山漁村地域整備交付金》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館浦漁港 <ul style="list-style-type: none"> <事業費 24,000 千円> 市負担額 3,000 千円 【うち年度内 事業費 0 千円 市負担額 0 千円】 浮棧橋一式 <p>《水産業強化対策施設整備交付金》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・度島漁港 <ul style="list-style-type: none"> <事業費 8,000 千円> 市負担額 1,000 千円 【うち年度内 事業費 3,000 千円 市負担額 375 千円】 船揚場 (滑り材) L=15m <p>《県単修築事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田助漁港 <ul style="list-style-type: none"> <事業費 7,447 千円> 市負担額 1,712 千円 用地舗装一式 ・薄香湾漁港 <ul style="list-style-type: none"> <事業費 700 千円> 市負担額 162 千円 用地舗装一式 	18,516
【事項別明細書 234 頁】	<p>【平成 23 年度繰越明許費】</p> <p>《水産生産基盤整備事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮ノ浦漁港 事業費 26,359 千円 市負担額 3,295 千円 浮棧橋 1 基 <p>《水産業強化対策施設整備事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前津吉漁港 事業費 44,177 千円 市負担額 5,522 千円 北防波堤 (改良) L=50m - 2m 物揚場 (改良) 一式 	8,817

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	14,700	923	2,893	<p>県営漁港の整備ができたことで、漁港用地の有効活用が可能となり、漁船が安全に係留できるなど漁港機能が向上した。また、単独事業を実施したことにより施設の機能が充実し、漁業就労環境の改善につながった。</p>
	2,900	441	5,476	

事業名	事業内容	事業費
漁港施設機能強化事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	防波堤からの越波により、漁港施設及び漁船への被災を繰り返している状況にあるため、当事業を活用し防災対策工事を実施した。 ・下中野漁港 総事業費 70,000千円 北防波堤(改良) L=20.1m うち年度内支出 14,100千円 ・志々伎浦漁港 総事業費 14,000千円 西防波堤(新設) L=60m 調査測量設計 一式 うち年度内支出 0千円 ・事務費 261千円	14,361
【事項別明細書 234 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ・下中野漁港 15,478 千円 北防波堤(改良) L=0 (45.28) m ・事務費 111 千円	15,589
強い水産業づくり 交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 荒天時の強風により係留時の漁船が支障をきたしている状況にあるため、防波堤上に防風フェンスの整備を行った。 ・根獅子漁港 25,795千円 西防波堤改良(防風フェンス) L=117.4m ・事務費 206千円	26,001

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,517	4,400	229	215	漁港施設への被災や、防波堤からの越波による漁船への被災が回避されるなど、漁港機能が充実し、当漁港を安心して利用できる環境が整えられた。
10,448	4,600	251	290	
17,550		423	8,028	漁船が安心して係留できる環境が整えられるとともに、漁港用地内での作業時における漁業者の安全を確保することができた

【 7 款 商工費 】

本市の商工関連産業に関しては、人口減少や購買力の流出、事業主の高齢化と後継者不足などにより依然として厳しい経営状況が続いている。

企業誘致対策は、地域経済の活性化や人口流出に歯止めをかけるための重要な施策であるが、本市の地理的要因などにより厳しい状況にある。市としては、これまでの地道な企業訪問実績を基に、長崎県産業振興財団や県とも連携を図りながら、誘致活動を継続している。

物産振興においては、農林水産業と観光及び物産関連分野との連携による地場産品の地域ブランド化に取り組み、主に福岡都市圏をターゲットとした情報発信及び販路開拓などの事業を展開した。

イベントでは、「平戸くんち城下秋まつり」を実施し、食とイベントの融合と商店街の活性化を図る取り組みとして、2日間で県内外から2万人を誘客した。また、平戸を代表する特産品である「あご」のブランドを確立するため、「平戸“新あご”祭り」を開催し、1万2千人を誘客するとともに、“平戸のあご”をPRすることができた。

これらは、各種イベントや地域資源のブランド化、歴史を活かしたまちづくりなど市民が主役となり、様々な取り組みを行っていることが評価されたものと考えられる。

観光面では、平成24年の平戸市全体の観光客数は170万1千人で、前年より約4万9千人(3.0%)増加した。内訳として、日帰り観光客は132万5千人で、前年より約1万5千人(1.2%)増加となり、宿泊客数も25万1千人で、約2万3千人(9.9%)増加となった。観光消費額は、99億7千万円で約5億7千万円(6.0%)増加した。

大きな特徴としては、平成23年9月に開館した平戸オランダ商館の開館効果と東日本大震災による観光客減少が回復に転じたことで、観光客数は増加傾向となっている。

そうした中で、平戸藩の四季めぐりシリーズも、これまでの「夏めぐり」「秋めぐり」に「春めぐり」「冬めぐり」が加わり、年間を通じた四季シリーズが完成。テーマパーク化とメディア活用によるプロモーションが行われ、観光誘客へとつながった。

さらに、8月に全国公開された俳優高倉健主演の映画「あなたへ」は、平戸の薄香地区がロケ地として大きく全国へ露出されたことや全国和牛能力共進会の開催等で、平戸の魅力が発信されたことにより、平戸のイメージアップが図られ、日帰り観光客も増加したと考えられる。

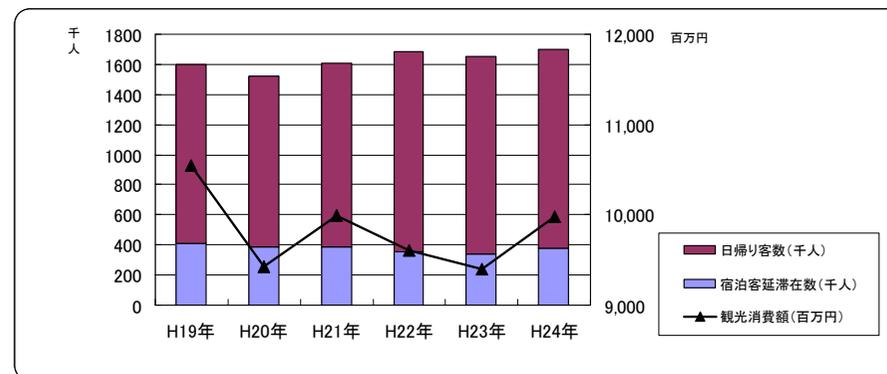
一方、外国人観光客は、東日本大震災の風評被害から回復傾向にあることや平成22年に発足した平戸市・嬉野市・武雄市・雲仙市・福岡市の5市による「東アジア誘客3県都市連携会議」の台湾でのPR効果もあり、今後、中国や台湾からの旅行者が増加していくものと考えられる。

その他、平戸検定による観光ガイドの育成や市長のトップセールス、各種メディアによる情報発信を行い、観光客の誘客に努めた。

観光客数の推移

	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
観光客数(千人)	1,602	1,522	1,608	1,681	1,651	1,701
宿泊客延滞滞在数(千人)	408	383	384	355	342	376
宿泊客数(千人)	272	255	256	237	228	251
日帰り客数(千人)	1,194	1,139	1,224	1,326	1,309	1,325
観光消費額(百万円)	10,543	9,429	9,993	9,604	9,402	9,975

観光客と観光消費額の推移



(1) 中小企業振興対策

商工会議所及び商工会が実施する事業への支援を通じて、中小企業の育成に取り組むとともに、平戸市中小企業振興資金融資制度を活用し、市内中小企業の経営に必要な資金調達への支援をした。

また、緊急経済対策の一環として、市民が住宅又は店舗のリフォームを市内の業者に発注する場合に、工事費に対する一部補助を行った。

(2) 商工業の振興と活性化

長崎県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により「ひらどキャラクターまちなか賑わい事業」を実施し、観光協会、商工会議所及び商工会をはじめ地域の商店とも連携し、観光客の商店街誘客を図るなど商店街の賑わいの創出に取り組んだ。

また、“まちなか”における商業の振興、にぎわいあふれるまちづくりに向けて、津吉地区、田平地区及び生月地区の商店街関係者による「まちなか活性化基本計画」を策定した。また、前年度に策定した平戸市中心市街地地区においては、まちなか活性化推進会議を開催した。

商店街活性化やまちづくりのリーダー育成を目的として、県と共催し、「商店街まちづくりリーダー等育成研修会」を開催した。

中小企業者支援策としては、長崎県産業振興財団、商工会議所及び商工会と共催し、「経営戦略セミナー」を開催した。

(3) 企業誘致対策

本市の企業誘致対策は、交通アクセス、通信インフラなどの問題で企業が立地するために必要な条件が十分に整っているとは言えず、非常に厳しい状況にあるものの、継続的な営業訪問を行った。

また、これまでの製造業に限った誘致活動ばかりでなく、大規模太陽光発電事業の誘致にも取り組んだ。

(4) 物産の振興

平戸ブランドの確立による地場産業の活性化を目的として、平戸市地域資源ブランド化推進協議会を中心に進めている「平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業」において、「福岡都市圏の35歳以上の女性」をメインターゲットとし、平戸産品の情報発信や販路拡大を図るため、ホテルや飲食店などでのフェアや物産展を開催するとともに、新商品の開発やギフトカタログの製作・販売を行った。また、関東における平戸ブランドの確立に向けて、百貨店での平戸単独フェアや年間を通じた産品取引に向けた物産展を開催した。

【 7 款 商工費 】

(5) 外国人観光誘客の推進

東アジアをターゲットとした外国人観光客の誘客を目的に、平成22年に発足した平戸市、雲仙市、嬉野市、武雄市、福岡市の5市による「東アジア誘客3県都市連携会議」で、台湾からの誘客を図るため、ITF台北国際旅行博や訪日台湾教育旅行現地説明会への参加、台湾現地での観光説明会の開催、国のVJ地方連携事業を活用した訪日台湾教育旅行招請事業に取り組み、観光情報の発信を行うとともに、海外からの誘客に努めた。

また、ハウステンボスクルーズが所有するオーシャンローズ号の長崎～上海間の定期航路運行に伴い、県と連携し船内での観光PRを行うと共に上海での観光説明会を開催しPRを行った。

(6) 観光施設の整備

東アジアをはじめ国内外からの誘客を図り、交流人口の拡大並びに地域の活性化につなげることを目的に、本市で生まれたアジアの英雄「鄭成功」が生まれ過ぎた生家の再現に着手した。

また、大島温泉施設の改修、平戸城の耐震診断を行い、利用者の利便性向上並びに安全確保を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
にぎわいづくり支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 236頁】	<p>商工業の振興を図るため、商店街の活性化・新商品の開発・特産品の販路開拓、創業支援などに取り組む団体及び事業者に対して支援を行った。</p> <p>①新商品・新技術開発事業 2件 700千円 ・平戸あごだし鯨しゅうまいの開発 ・平戸南蛮カステラの開発</p> <p>②需要開拓事業 1件 300千円 ・平戸よかもん商談会</p>	1,000
中小企業振興対策事業 (商工物産課) 【事項別明細書 236頁】	<p>○商工金融対策 中小企業者の経営安定による地域経済の活性化を図るため、中小企業者に対する融資制度の利用促進及び負担軽減のための支援を実施した。また、緊急経済対策の一環として、市民が住宅又は店舗のリフォームを市内の業者に発注する場合に、工事費に対する一部補助を行った。</p> <p>①中小企業振興資金預託金 107,063千円 ②中小企業振興資金保証料差率補填補助金 87千円 ③中小企業緊急対策融資資金助成金 67千円 ④平戸商工会議所運営補助金 2,860千円 ⑤平戸市商工会運営補助金 8,595千円 ⑥街路灯組合補助金(生月地区) 961千円 ⑦緊急経済対策住宅店舗リフォーム資金補助金 4,755千円 ⑧その他の事業経費 492千円</p>	124,880

財源内訳				事業の成果																																						
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																							
		1,000		新商品・新技術の開発、需要開拓費用などを補助し、商工業の振興、物産振興につなげることができた。																																						
		107,063	17,817	<p>県信用保証協会に対して信用保証料の一部を助成することにより、市内中小企業者が経営に必要な資金の融資を円滑に行うことができ、中小企業者の経営の安定化につながった。</p> <p>①中小企業振興資金預託金融資実績 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">金融機関名</th> <th colspan="2">融資</th> <th colspan="2">償還</th> <th colspan="2">残高</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親和銀行平戸支店</td> <td>1</td> <td>5,000</td> <td>14,777</td> <td>16</td> <td>15,724</td> </tr> <tr> <td>十八銀行平戸支店</td> <td>2</td> <td>6,000</td> <td>15,663</td> <td>11</td> <td>8,299</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>11,000</td> <td>30,440</td> <td>27</td> <td>24,023</td> </tr> </tbody> </table> <p>②緊急経済対策住宅店舗リフォーム資金補助金実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請</th> <th>工事費</th> <th>補助対象工事費</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54件</td> <td>85,171千円</td> <td>81,129千円</td> <td>4,755千円</td> </tr> </tbody> </table>	金融機関名	融資		償還		残高		件数	金額	金額	件数	金額	親和銀行平戸支店	1	5,000	14,777	16	15,724	十八銀行平戸支店	2	6,000	15,663	11	8,299	計	3	11,000	30,440	27	24,023	申請	工事費	補助対象工事費	補助額	54件	85,171千円	81,129千円	4,755千円
金融機関名	融資		償還			残高																																				
	件数	金額	金額	件数	金額																																					
親和銀行平戸支店	1	5,000	14,777	16	15,724																																					
十八銀行平戸支店	2	6,000	15,663	11	8,299																																					
計	3	11,000	30,440	27	24,023																																					
申請	工事費	補助対象工事費	補助額																																							
54件	85,171千円	81,129千円	4,755千円																																							

事業名	事業内容	事業費
平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	<p>本市の優れた“食”を中心とした地場産品の流通ネットワーク構築、供給機能強化による販路拡大を推進するため、「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」が実施する福岡都市圏を中心とした平戸ブランドのプロモーション及び販路開拓事業を行った。</p> <p>○事業費 25,000 千円 (市補助金 12,500 千円、県補助金 12,500 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発・パッケージ製作 ・百貨店における物産展開催 (10 回) ・九州のムラ市場へのアンテナブース出展 ・福岡市内のホテルでの料理フェア開催、平戸メニュー開発 (平戸御膳)、スペシャルディナー開催 ・ホームページ、マスメディアを活用した情報発信 ・夏ギフト、冬ギフト及び酒の肴セットの商品開発・販売 ・服部栄養専門学校、日本相撲協会と連携しての新名物料理「平戸ちゃんこ鍋」の開発、イベント開催 ・消費者ニーズ調査の実施 ・レガレット天神による平戸ブースを設置した試験販売 ・伊勢丹浦和店での平戸単独フェアの開催 ・東京・板橋区大山商店街における通年取引に向けた物産展の開催 	12,500
「平戸あご」ブランド確立支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	<p>平戸の重要な特産品である「あご」を市民に再認識してもらうとともに、市内外の消費者に向けて関係者が一体となってPR・販売を行うため、「平戸あご」のブランド定着・促進に向けた「平戸“新あご”祭り」を開催した。</p> <p>○期日：平成 24 年 9 月 29 日 (土)・30 日 (日) ○場所：平戸港交流広場</p>	3,482
平戸くunch城下秋まつり開催支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	<p>平戸城下旧町地区商店街を舞台に「食」、「物産」をメインとした“平戸ならではの”の“くunchスタイル”で、趣向を凝らしたおもてなしをコンセプトに、町歩き (散策) 型のイベントを開催した。</p> <p>○期日：平成 24 年 10 月 20 日 (土)・21 日 (日) ○場所：平戸城下旧町地区商店街</p>	12,000

財源内訳				事業の成果																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
			12,500	<p>平戸産品を活用したフェアや物産展を開催することにより、顧客獲得や販売チャネルの拡大が図られた。これらのイベントが年間を通じて実施されたことにより、様々な物産現場や店舗において「平戸」の地名を前面に露出し、平戸の食に対するイメージアップと平戸産品のブランド力を高めた。</p> <p>併せて、市内の直売所と連携した事業実施により、平戸産品の取扱い窓口が一本化され、供給量の拡大とスリム化が図られた。これにより取引商談の機会がスムーズな商談成立がされ、年間を通じた取引 (平戸産品の販路開拓) が確立されつつある。</p> <p>また、平戸の食に対する情報が恒常的に発信されたことにより、食を通じた観光客の誘客にもつながっている。</p> <p>○主な売上げ実績 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ギフトセット販売</td> <td>3,740</td> <td>6,564</td> <td>6,052</td> </tr> <tr> <td>百貨店催事</td> <td>4,235</td> <td>6,761</td> <td>9,060</td> </tr> <tr> <td>ホテルフェア</td> <td>1,995</td> <td>1,512</td> <td>2,232</td> </tr> </tbody> </table>	内容	H22	H23	H24	ギフトセット販売	3,740	6,564	6,052	百貨店催事	4,235	6,761	9,060	ホテルフェア	1,995	1,512	2,232
内容	H22	H23	H24																	
ギフトセット販売	3,740	6,564	6,052																	
百貨店催事	4,235	6,761	9,060																	
ホテルフェア	1,995	1,512	2,232																	
			3,482	<p>「あご」にちなんだ“食”と“加工品”を一堂に集め、「あご」に特化したイベントとすることにより、平戸のブランドとしての定着・促進につながった。</p> <p>また、「平戸ツーデーウォーク」の日程と合わせたこともあり、集客アップができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>来場者数 (人)</th> <th>売上額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平戸“新あご”祭り</td> <td>12,000</td> <td>3,646</td> </tr> </tbody> </table>	名称	来場者数 (人)	売上額 (千円)	平戸“新あご”祭り	12,000	3,646										
名称	来場者数 (人)	売上額 (千円)																		
平戸“新あご”祭り	12,000	3,646																		
	12,000			<p>市民や本市を訪れる観光客に対して、平戸の「食」、「物産」をPRすることができ、交流人口の拡大につながった。</p> <p>平戸くunch城下秋まつり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>来場者数 (人)</th> <th>売上額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>18,000</td> <td>7,568</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>20,000</td> <td>8,402</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>20,000</td> <td>7,666</td> </tr> </tbody> </table> <p>※売上額については、チケット売上額</p>		来場者数 (人)	売上額 (千円)	H22	18,000	7,568	H23	20,000	8,402	H24	20,000	7,666				
	来場者数 (人)	売上額 (千円)																		
H22	18,000	7,568																		
H23	20,000	8,402																		
H24	20,000	7,666																		

事業名	事業内容	事業費
物産振興イベント 開催支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	地域の物産振興や特産品の販路拡大につなげるため、生産者や関係団体が主体となり「平戸市産業まつり」として、「平戸海道渡海人祭」を実施した。 ・平戸市春の産業まつり「平戸海道渡海人祭」 2,000 千円 ○期日：平成 24 年 4 月 22 日、5 月 1 日～31 日 ○場所：平戸大橋公園、市内各漁協ほか ○主なイベント 平戸海道渡海人祭(平戸大橋公園)、おさかな祭り(志々伎漁協)アサリ！どっさり！潮干狩り大会(千里ヶ浜)	2,000
地域資源ブランド 化推進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 緊急雇用創出事業を活用して「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」のスタッフを雇用し、誘客、販売等を行える人材育成に努めた。これにより、平戸市の地域資源を活かした産品を「平戸ブランド」として位置づけ、福岡都市圏をターゲットとした情報発信や販路開拓などのマーケティングを展開することができた。	10,292
ひらどキャラクター まちなか賑わい 事業 (商工物産課) 【事項別明細書 240 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 市内の事業者に事業を委託し、本市の歴史にゆかりのあるキャラクターに扮したスタッフを、商店街や観光スポットで接客させることにより、観光客や市民を誘客し、賑わいの創出に取り組んだ。	29,258
まちなか活性化基 本計画策定事業 (商工物産課) 【事項別明細書 240 頁】	まちなか活性化基本計画とは、「長崎県まちなか活性化推進事業実施要綱」に基づき、「まちなか」における商業の振興、居住の推進、公共施設の整備等を総合的に実施し、暮らしやすく活力ある地域づくりを推進するために定める基本計画である。各地区のにぎわいあふれるまちづくりに向けて、2か年計画で、活性化の目標を設定し、これに向けた各種事業を実施していく。 まちなか活性化基本計画策定状況 平成 23 年度 平戸市中心市街地地区 平成 24 年度 平戸市津吉地区、平戸市田平地区 平戸市生月館浦地区、平戸市生月老部地区	197
企業誘致対策事業 (商工物産課) 【事項別明細書 240 頁】	企業誘致対策として、県(長崎県産業振興財団)と連携した企業への営業訪問や、地場企業支援のため市内企業への訪問を実施した。また、大規模太陽光発電事業の誘致にも積極的に取り組んだ。 ・市外営業訪問 35 社	1,144

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
			2,000	<p>農林・水産・商工業が連携してイベントを実施し、市民や観光客など消費者に直接販売することで、地場産品のPRにつなげることができた。しかしながら来場者及び売上額ともに減少傾向にあり、イベントの内容を精査する必要がある。</p> <p>平戸市春の産業まつり「平戸海道渡海人祭」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>来場者数(人)</th> <th>売上額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>53,697</td> <td>13,761</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>44,128</td> <td>11,590</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>40,010</td> <td>9,851</td> </tr> </tbody> </table>		来場者数(人)	売上額(千円)	H22	53,697	13,761	H23	44,128	11,590	H24	40,010	9,851
	来場者数(人)	売上額(千円)														
H22	53,697	13,761														
H23	44,128	11,590														
H24	40,010	9,851														
10,292				<p>本事業の実施に当たり、協議会のスタッフを雇用することによって、事務局の機能が強化され、市内事業者に対する支援や福岡都市圏への情報発信や販路開拓ができた。</p> <p>新規雇用失業者 4 名</p>												
29,258				<p>緊急雇用対策事業による雇用の創出と、観光や商店街の魅力をPRすることで、商店街への誘導を図り、まちなかの賑わいが創出された。</p> <p>・平戸大航海物語(夏休み企画)参加者：15,473 人 ・平戸英国物語(冬休み企画)参加者：10,059 人 ・新規雇用失業者 13 人</p>												
			197	<p>基本計画を策定するため、中小企業診断士を座長として招き、平戸商工会議所、平戸市商工会及び各地区商店街代表者と各地区において協議を重ねた。個別事業の実施段階において事業主体となる商店街等の関係者が、まちなか活性化に向けての協議を行うための有効な“場”となった。</p>												
			1,144	<p>雇用の場の確保や地元経済の活性化を図るため、本市への立地に関心を示す企業を中心に営業訪問を実施した。立地には企業による多額の設備投資が必要となるため、企業の投資計画の時期等を見据えた粘り強い交渉を続けている。</p>												

事業名	事業内容	事業費
市内周遊型定期観光バス運行事業 (観光課) 【事項別明細書 240 頁】	来平する観光客に本市の魅力を感じさせることを目的に、市内の名所、観光施設等を巡る市内周遊型定期観光バスツアーを運行。観光客の満足度アップを図った。 ※平成 24 年 4 月 28 日～平成 25 年 3 月 31 日土日祝運行。ただし、GW 期間は毎日運行(平日 2 日間含む)。また、10 月については全国和牛能力共進会開催期間中(平日 8 日間含む)毎日運行。 なお、12 月 29 日～1 月 3 日は運休。 委託先：(社) 平戸観光協会	3,089
新平戸島八十八箇所観光ルート整備事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	松浦家第 35 代藩主熙公が設置した「病氣平癒霊場巡り」をベースとして開発。「新平戸島八十八ヶ所霊場」改訂版パンフレットの増刷及び由来説明板の作成・設置を行った。 パンフレット(改訂版)増刷 1,500 部 由来説明板作成・設置 31 か所	1,097
観光セールス事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	観光地平戸のセールスを行うため、観光施設の無料入場券及び宿泊施設の温泉入浴割引券・宿泊割引券の入った名刺を管理職等に配布し、市外者を対象に名刺交換を通して平戸の魅力を PR した。 対 象 市職員(市長他管理職等) 35 名 市議会(議長、副議長) 2 名 5,300 枚作成	167
鄭成功生家再現整備事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	川内町の鄭成功居宅跡に、生家再現を行うため基本計画の策定を行い、その後、整備する建造物の実施設計を行うとともに、生家の展示基本設計及び展示グラフィック基本デザインコンセプト制作を行った。また、居宅跡が県指定の史跡に指定され、整備面積が制限されていることから、休憩所・便所整備のため、別途、用地を取得した。 基本計画策定 展示基本設計 展示グラフィックデザイン基本コンセプト作成 実施設計(生家、休憩所・便所) 用地取得(2筆：428.08㎡)	16,650
平戸城耐震診断事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	昭和 37 年に建設された平戸城天守閣と本丸門について、国の基準に基づく耐震診断を行った。 平戸城 天守閣 昭和 36 年建築 RC 造(5 階)延べ面積 479.4㎡ 本丸門 昭和 54 年建築 RC 造(2 階)延べ面積 116.8㎡	2,205

財 源 内 訳				事業の成果																								
国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
			3,089	観光 PR とあわせて、ボランティアガイドによる案内は好評で、平戸オランダ館開館効果も相まって、多くの利用者があった。 利用者実績 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>平均乗車数</th> <th>利用者数</th> <th>平均乗車数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生月コース</td> <td>1,614</td> <td>5.9</td> <td>640</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>平戸コース</td> <td>2,036</td> <td>7.0</td> <td>995</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,650</td> <td>6.5</td> <td>1,635</td> <td>6.9</td> </tr> </tbody> </table>		H23		H24		利用者数	平均乗車数	利用者数	平均乗車数	生月コース	1,614	5.9	640	5.4	平戸コース	2,036	7.0	995	8.4	計	3,650	6.5	1,635	6.9
	H23		H24																									
	利用者数	平均乗車数	利用者数	平均乗車数																								
生月コース	1,614	5.9	640	5.4																								
平戸コース	2,036	7.0	995	8.4																								
計	3,650	6.5	1,635	6.9																								
			1097	平戸島八十八ヶ所霊場改訂版パンフレット作成及び由来説明板の設置により受入環境が整備され、団体及び個人による巡礼者の利便性向上につながった。																								
			167	市長をはじめとする管理職等及び議長、副議長が市外での名刺交換を行うことで、平戸市の今の情報を伝え誘客に努めた。 実 績 配布枚数 4,500 枚 宿泊施設利用枚数 47 枚 観光施設利用枚数 164 枚																								
	14,300		2,350	鄭成功生家再現及び周辺地域の環境整備にあたり、地元中野地区の関係機関及び行政で構成する「鄭成功を活かした中野まちづくり委員会」を 6 月 21 日に立ち上げ、ハード・ソフト両面で協議を行い施設整備にかかる基本計画を策定し、工事に着手することができた。 また、ソフト面においては、観光地づくり実施計画を同委員会にて策定し、県の認定を受けた。これにより今後 3 年間、県の 21 世紀まちづくり推進総合補助金を活用し地域の活性化に向けた事業展開が可能となった。																								
397			1,808	耐震診断の結果、本丸門については耐震判定指標値を満足する結果となったものの、天守閣については、耐震判定指標値を満足する強度が無く、平成 25 年度以降において耐震補強工事を行うこととなった。																								

事業名	事業内容	事業費
平戸富春園誘客促進事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	千光寺(旧富春庵)は、臨済宗開祖の栄西禪師が中国から茶の種子を持ち帰り、富春園に播いたとされ、毎年、長崎県茶業協会では、献茶式を開催。 本年は、「平戸藩の春めぐり」のイベントとして位置づけ、富春園を観光素材として再認識し、「平戸とお茶とお菓子」の歴史について、広く周知し誘客を図った。 主な内容：坐禅体験、献茶式、呈茶、平戸菓子販売 PR方法：チラシ 30,000 枚 新聞広告 2 社、新聞折込 29,000 世帯(佐世保)	574
大島温泉設備改修事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	大島温泉動力ポンプの取替え工事を行い、利用者の利便性向上を図った。 動力ポンプ取替、泉源制御盤修繕、ガスセパレーター修繕ほか	5,657
観光ガイド育成事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	平戸学を活用しボランティアガイドの育成並びにガイドのレベルアップ、観光客の受入体制を図るため、NPO法人平戸観光ウェルカムガイドに委託し平戸検定を行うとともに、検定試験後にガイド志望者を募りガイド現地研修会を開催した。 検定講習会 南部会場 25 年 1 月 7 日～1 月 22 日 5 回 延べ受講者 133 人 生月会場 25 年 1 月 25 日～2 月 8 日 5 回 延べ受講者 55 人 検定試験 平成 25 年 2 月 10 日	700
わがまち観光地づくり事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	平成 23 年から、市内外におけるコンビニエンスストア等の店内に無償による観光案内所を設置。本年度も新たな観光案内所を設置した。 H23 市内 23 か所 市外 6 か所 H24 市内 3 か所 市外 1 か所	227
“おもてなし”モデル施設創出事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 平戸市全域における“おもてなし”の向上を図るため、市内全域の観光関連事業所を対象とした“おもてなし”力の調査を実施するとともに、おもてなし宣言店の募集を行い、その中から直接的な指導を行い、他のお手本となる「モデル施設」の創出を行った。 顧客対象アンケート調査(事前：368 通、事後：72 通) 覆面調査事業所数 127 事業所 おもてなし宣言店募集 16 施設 モデル施設創出 1 施設	5,335
体験型観光推進事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	市内の体験型観光の推進を図るため、5 地区の協議会が加盟している一般社団法人まつうら党に対して、人的支援を行った。 派遣職員 1 名 派遣期間 平成 24 年 4 月 19 日～平成 25 年 3 月 31 日	1,714

財源内訳				事業の成果																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																					
			574	当日は、雨天にも関わらず、関係者のほか、佐世保を中心に予想を超える 400 人の来場者を得た。坐禅体験や平戸菓子販売等、来場者には大変好評であった。																				
			5,657	大島温泉施設の改修工事の実施により、いさりび館への安定供給ができ、観光客や地元住民の利便性向上につながった。																				
			700	平成 25 年 1 月 7 日から 2 月 8 日の間、計 10 回(5 回×2 会場)からなる検定講習会を実施し、2 月 10 日に平戸検定試験(初級、中級、上級)を実施。その後、ガイド現地研修会を開催し 2 名のガイドを育成した。 平戸検定結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>うち市外</th> <th>合格率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初級</td> <td>46 人</td> <td>36 人</td> <td>15 人</td> <td>78.3%</td> </tr> <tr> <td>中級</td> <td>28 人</td> <td>20 人</td> <td>2 人</td> <td>71.4%</td> </tr> <tr> <td>上級</td> <td>20 人</td> <td>12 人</td> <td>1 人</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	受験者数	合格者数	うち市外	合格率	初級	46 人	36 人	15 人	78.3%	中級	28 人	20 人	2 人	71.4%	上級	20 人	12 人	1 人	60.0%
区分	受験者数	合格者数	うち市外	合格率																				
初級	46 人	36 人	15 人	78.3%																				
中級	28 人	20 人	2 人	71.4%																				
上級	20 人	12 人	1 人	60.0%																				
			227	観光客が個人や小グループ化し、いかにして個別にきめ細やかな対応ができるかが課題となる中で、市民の自発的なボランティアによる観光案内や観光地としての「おもてなし」の向上が図られ観光客の利便性向上につながった。																				
5,335				顧客対象のアンケート調査を実施したが、調査事業所の中には、おもてなしの意識が低く、観光客は顧客として必要ないという事業所もあり、おもてなしに対する意識啓発を更に行う必要がある。このような中で、おもてなし宣言店を募集し、その中からモデル施設を 1 施設選定。清掃方法から集中的に指導した結果、積極的な改善がなされ、従業員独自にマニュアル作りに取り組むなど意識が向上した。 新規雇用失業者 2 名																				
		7	1,707	一般社団法人まつうら党において、県外の学校関係者、エージェント等に対し、企画造成及び営業等を行い、まつうら党全体で約 7,500 人の増加につながった。 市内受入(延べ数) H24 年度 9,157 人 H23 年度 7,891 人																				

事業名	事業内容	事業費																																													
コンベンション開催事業 (観光課) 【事項別明細書 244 頁】	観光客の誘致と地域の経済効果を創出するため、コンベンションなどを開催する各種団体に対して支援を実施した。 また、本年から新たに勉強合宿に対する補助も行った。 ○にぎわいづくり実績 (単位：千円, 延べ人数)	2,900																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>補助金額</th> <th>宿泊実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鄭成功生誕記念平戸サッカーフェスタU-10 大会</td> <td>50</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>英進館夏期特訓合宿中3 公立</td> <td>1,000</td> <td>6,954</td> </tr> <tr> <td>佐世保北中学校学習合宿</td> <td>150</td> <td>365</td> </tr> <tr> <td>佐世保西高等学校3年夏合宿</td> <td>500</td> <td>1,353</td> </tr> <tr> <td>佐世保西高等学校1年夏合宿</td> <td>250</td> <td>921</td> </tr> <tr> <td>青山学院初等部夏合宿5年生</td> <td>250</td> <td>810</td> </tr> <tr> <td>香雲堂吟詠会・来吟知会創立10周年</td> <td>200</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>とびうお杯小学生バレーボール親善大会</td> <td>100</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>商工会女性部主張発表長崎県大会</td> <td>50</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>VVSB Cup in Hirado 2012 サッカー大会</td> <td>150</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>脇川はたかクラブ フレッシュサッカー U10 大会</td> <td>25</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>ソフトバンク杯FM長崎U10キッズサッカーフェスティバル</td> <td>150</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>久留米大学陸上部・九州大学陸上部合同合宿</td> <td>25</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,900</td> <td>12,028</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	補助金額	宿泊実績	鄭成功生誕記念平戸サッカーフェスタU-10 大会	50	149	英進館夏期特訓合宿中3 公立	1,000	6,954	佐世保北中学校学習合宿	150	365	佐世保西高等学校3年夏合宿	500	1,353	佐世保西高等学校1年夏合宿	250	921	青山学院初等部夏合宿5年生	250	810	香雲堂吟詠会・来吟知会創立10周年	200	252	とびうお杯小学生バレーボール親善大会	100	209	商工会女性部主張発表長崎県大会	50	186	VVSB Cup in Hirado 2012 サッカー大会	150	360	脇川はたかクラブ フレッシュサッカー U10 大会	25	63	ソフトバンク杯FM長崎U10キッズサッカーフェスティバル	150	320	久留米大学陸上部・九州大学陸上部合同合宿	25	86	計	2,900	12,028	
事業名	補助金額	宿泊実績																																													
鄭成功生誕記念平戸サッカーフェスタU-10 大会	50	149																																													
英進館夏期特訓合宿中3 公立	1,000	6,954																																													
佐世保北中学校学習合宿	150	365																																													
佐世保西高等学校3年夏合宿	500	1,353																																													
佐世保西高等学校1年夏合宿	250	921																																													
青山学院初等部夏合宿5年生	250	810																																													
香雲堂吟詠会・来吟知会創立10周年	200	252																																													
とびうお杯小学生バレーボール親善大会	100	209																																													
商工会女性部主張発表長崎県大会	50	186																																													
VVSB Cup in Hirado 2012 サッカー大会	150	360																																													
脇川はたかクラブ フレッシュサッカー U10 大会	25	63																																													
ソフトバンク杯FM長崎U10キッズサッカーフェスティバル	150	320																																													
久留米大学陸上部・九州大学陸上部合同合宿	25	86																																													
計	2,900	12,028																																													
観光案内・誘導標識整備事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	生月島の入口にある「道の駅」及び「ふれあい広場」を観光拠点として位置づけているにも関わらず、観光客から場所がわかりづらい等と指摘を受けていたことから歓迎板や誘導案内板を設置した。 歓迎板 1基 誘導案内板 2基	5,439																																													
マスメディアPR事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	KTNとながさきプレスが共同で製作した県内21市町の「とっておきながさき」へ掲載依頼を行い、観光客へPRを図った。 広告先：(株)KTNソサエティ	315																																													
観光宣伝ツール作成事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	大島を紹介する観光案内マップや観光パンフレットを増刷した。 ・平戸観光ガイドマップ 50,000部 ・大島地区観光パンフレット・ロードマップ 各10,000部	649																																													

財源内訳				事業の成果																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																					
100		2,800		<p>地域の賑わいにつながるコンベンションの開催に対して支援することにより、地域の活力と魅力を向上させ、観光客の誘致につなげることができた。</p> <p>宿泊者数の推移 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議・催事</td> <td>0</td> <td>681</td> <td>438</td> </tr> <tr> <td>スポーツ競技会・合宿</td> <td>733</td> <td>704</td> <td>1,187</td> </tr> <tr> <td>勉強合宿</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10,403</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>733</td> <td>1,385</td> <td>12,028</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	会議・催事	0	681	438	スポーツ競技会・合宿	733	704	1,187	勉強合宿	—	—	10,403	計	733	1,385	12,028
	H22	H23	H24																					
会議・催事	0	681	438																					
スポーツ競技会・合宿	733	704	1,187																					
勉強合宿	—	—	10,403																					
計	733	1,385	12,028																					
			5,439	道の駅「生月大橋」への歓迎板や誘導案内板を設置し、生月地区の観光情報発信の拠点への誘導を図ることで、観光客の利便性が向上したとともに、おもてなしの醸成を図ることができた。																				
			315	県内21市町の完全ガイド本、さらには、地域のとっておき情報誌として、クオリティの高い本が作成されたことにより、広く観光客に平戸をアピールするきっかけができた。																				
			649	大島を訪れる観光客に対するパンフレットを増刷し、観光情報の発信、観光客誘致に努めた。																				

事業名	事業内容	事業費
平戸観光振興強化事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	<p>観光協会の実施事業について強化を図ることで、観光客のさらなる増加に努めた。平戸観光協会が主体的に実施する「観光情報発信強化」・「観光地形成・組織形成」・「国内・海外旅行誘致強化」事業における経費への補助を行った。</p> <p>①観光情報発信強化事業 (マスメディアを活用した情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑誌・新聞等紙媒体を活用した情報発信 雑誌掲載 28 件 (JTBるるぶ、レタスクラブほか) 新聞掲載 9 件 (西日本新聞、長崎新聞ほか) <p>②観光地形成・組織強化事業</p> <p>③国内・海外旅行誘致強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平戸キリシタン紀行事業 サイレントクリスマス実施 (12/1～12/25) ・長崎県人会セールス 名古屋長崎県人会、京都長崎県人会 ・東京セールス (6/6～6/9、1/24～1/27) ・福岡セールス (2/12～2/13、3/7～3/9) 	15,000

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			15,000	<p>①観光情報発信強化事業 テレビ、ラジオ、旅行誌等のマスメディアを活用し、年間を通じて平戸の旬の素材が食べられるようなグルメイベントの定着化を図り、誘客につなげた。</p> <p>(食のイベント開催) 参加人数 (前年対比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平戸活イカまつり (6/1～7/31) 1,212 人 (387.2%) ・平戸和牛フェア (7/1～10/31) 15,859 人 (139.0%) ・平戸あら鍋まつり (11/1～12/30) 1,367 人 (143.7%) ・平戸ひらめまつり (1/12～4/7) 13,393 人 (76.8%) <p>②観光地形成・組織強化事業 公益法人制度改革に伴う (社) 平戸観光協会の一般社団法人移行にかかる人件費の補助を行うことにより、平成 25 年 4 月 1 日の法人化移行認可に向けた事務作業に着手することができた。</p> <p>③国内・海外旅行誘致強化事業 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の影響も回復傾向にあり、日帰り客も宿泊客も増加傾向にある。そのような中、旅行会社等に対し誘致セールスを行い、本市への誘客を図った。</p>

事業名	事業内容	事業費
テーマパーク観光 プロモーション事業 (観光課) 【事項別明細書 246頁】	<p>平戸藩の四季シリーズとして、年間を通じパッケージ化、季節感あるイベントを開催しながら、観光誘客を図った。</p> <p>また、住みます芸人を平戸城に配置し、東京で記者発表を行うとともに、各種イベント等においてPRを行った。</p> <p>さらに、俳優高倉健主演の映画「あなたへ」の上映にあわせロケ地を再現し、観光PRを行った。</p> <p>「平戸藩の夏めぐり」 14 イベント 期 間：6月1日～8月31日 PR内容：ポスター350枚、チラシ20,000枚 テレビ69本（福岡34本、県内35本） 特別テレビ番組（長崎・熊本・大分） ラジオ25本（福岡） 長崎フェスタ</p> <p>「平戸藩の秋めぐり」 13 イベント 期 間：9月1日～11月31日 PR内容：ポスター350枚、パンフレット20,000枚 テレビ69本（福岡34本、県内35本） NBCテレビ「あっぷる」 ラジオ135本（福岡25本、県内110本） NBCラジオ体験会バス2台（長崎・佐世保） 情報誌「ララコープ」（無料掲載） 長崎フェスタ</p> <p>「平戸藩の冬めぐり」 11 イベント 期 間：12月1日～2月28日 PR内容：ポスター350枚、パンフレット20,000枚 テレビ45本（福岡20本、県内25本） ラジオ25本（福岡）</p> <p>「平戸藩の春めぐり」 16 イベント 期 間：3月1日～5月31日 PR内容：ポスター350枚、チラシ20,000枚 テレビ45本（福岡20本、県内25本） ラジオ25本（福岡）</p> <p>平戸藩の四季めぐりフェイスブック開設</p> <p>住みます芸人 委託期間：平成25年4月5日～8月31日 委託先：株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー 芸人：長崎亭キヨちゃんぼん</p> <p>映画「あなたへ」 マップ28,000部、のぼり50本、映画セット再現2か所</p>	11,998

財 源 内 訳				事業の成果																																																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
	10,800		1,198	<p>各めぐりシリーズ毎に、メディアミックスによる平戸のイメージ戦略を行い、各イベントの集客を図った。</p> <p>また、住みます芸人や映画「あなたへ」等の話題性もあって各種メディアに露出する回数も増え、観光客の誘客につながった。</p> <p>「平戸藩の夏めぐり」 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集客実績</td> <td>40,479</td> <td>38,635</td> </tr> <tr> <td>宿泊関係</td> <td>52,226</td> <td>59,152</td> </tr> <tr> <td>施設入場数</td> <td>38,608</td> <td>46,933</td> </tr> </tbody> </table> <p>「平戸藩の秋めぐり」 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集客実績</td> <td>53,224</td> <td>75,117</td> </tr> <tr> <td>宿泊関係</td> <td>58,667</td> <td>57,754</td> </tr> <tr> <td>施設入場数</td> <td>76,026</td> <td>54,920</td> </tr> </tbody> </table> <p>「平戸藩の冬めぐり」 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集客実績</td> <td>—</td> <td>25,976</td> </tr> <tr> <td>宿泊関係</td> <td>37,305</td> <td>36,426</td> </tr> <tr> <td>施設入場数</td> <td>47,047</td> <td>30,881</td> </tr> </tbody> </table> <p>「平戸藩の春めぐり」 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集客実績</td> <td>88,179</td> <td>106,748</td> </tr> <tr> <td>宿泊関係</td> <td>59,033</td> <td>50,278</td> </tr> <tr> <td>施設入場数</td> <td>72,747</td> <td>56,104</td> </tr> </tbody> </table> <p>ロケ地めぐり 集客実績：16,500人（薄香棧橋統計数による）</p>		H23	H24	集客実績	40,479	38,635	宿泊関係	52,226	59,152	施設入場数	38,608	46,933		H23	H24	集客実績	53,224	75,117	宿泊関係	58,667	57,754	施設入場数	76,026	54,920		H23	H24	集客実績	—	25,976	宿泊関係	37,305	36,426	施設入場数	47,047	30,881		H23	H24	集客実績	88,179	106,748	宿泊関係	59,033	50,278	施設入場数	72,747	56,104
	H23	H24																																																		
集客実績	40,479	38,635																																																		
宿泊関係	52,226	59,152																																																		
施設入場数	38,608	46,933																																																		
	H23	H24																																																		
集客実績	53,224	75,117																																																		
宿泊関係	58,667	57,754																																																		
施設入場数	76,026	54,920																																																		
	H23	H24																																																		
集客実績	—	25,976																																																		
宿泊関係	37,305	36,426																																																		
施設入場数	47,047	30,881																																																		
	H23	H24																																																		
集客実績	88,179	106,748																																																		
宿泊関係	59,033	50,278																																																		
施設入場数	72,747	56,104																																																		

事業名	事業内容	事業費
観光トップセールス事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	市長自ら、国内において、観光宣伝をはじめとしたトップセールスを実施し、観光客の誘致活動を行った。 ・KBCラジオ「平戸市福岡情報局」発信！平戸んどん放送 委託期間：平成24年4月5日～平成25年3月31日 放送回数：50回 ・セールス 東京2回、福岡3回、佐世保2回	3,215
平戸・佐世保・西海ロングステイ観光圏推進事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	3市で構成する「平戸・佐世保・西海ロングステイ観光圏協議会」において、観光客の自治体間周遊や滞在時間の延長を図るための取り組みを行い、顧客満足度の向上に努めた。なお、観光圏協議会については、国の制度改正に伴いH24年度を以って事業終了し、H25.6.3付けで解散となった。 ①アプリ機能改善及びキャンペーン 平成23年度に構築したスマートフォンアプリ「ウエルカモメ」の機能改善・追加を行った。 ダウンロードキャンペーンを実施し、期間中デジタルクーポンのプレゼント企画により、利用者拡大を図った。 対象期間：平成25年1月19日～3月17日 参画施設：平戸23店舗、佐世保12店舗、西海6店舗 ②ICTを活用した観光情報発信システム運用保守 ③観光動向モニタリング調査の実施	2,643
ハウステンボス周遊観光事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	ハウステンボスへ訪れる観光客を対象に、ハウステンボスだけに留まるだけでなく、周辺地域にも赴いてもらい、魅力を体感してもらうことにより、ハウステンボスと周辺地域における相乗効果をあげるため、ハウステンボスから本市におけるハウステンボス周遊観光バスツアーを運行した。 ※平成24年4月1日～平成24年12月31日までの間、土、日、月、祝日運行(112日間)。ただし、10月25～29日は毎日運行 ※平成25年1月12日～平成25年3月31日までの間、土、日、月、火、祝日運行(47日間) ※委託先：ハウステンボス観光	4,377
第10回全国和牛能力共進会誘客促進事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	全国和牛能力共進会に併せて、平戸和牛のイベント「平戸牛肉ざんまい食べ祭り in 平戸」を開催し、観光誘客を図るとともに来場者に対し「平戸和牛」の知名度アップに努めた。 開催日：10月28日(土)・29日(日) 開催場所：平戸港交流広場 PR方法：有料広告(情報誌2社) テレビCM58本 取材番組2回	1,895

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			3,215	メディア等において、PRを行うとともに、直接、事業者等とトップ会談を行い、観光誘客を図った。
			2,643	①アプリに多言語表示・着地型旅行商品予約機能の新規追加等を行ったことで、利便性向上につながった。 キャンペーン期間中のダウンロード数：874件 運用開始(平成24年1月)からの累計ダウンロード数：1973件 クーポン使用件数：平戸90件、佐世保71件、西海5件 ②「ウエルカモメ」、「デジタルサイネージ」、「PC版ホームページ」一元管理システムの運用保守を行った。 ③モニタリング調査(顧客満足度調査)を実施し、事業進捗管理及び事業改善に活用した。 期待充実度：85.5%(前年83.1%) 総合満足度：91.6%(前年90.1%) 再来訪意向：62.6%(前年65.5%)
			4,377	ハウステンボス会員等への周知を図るとともに、映画「あなたへ」のロケ地めぐりもコースへ組み込む等、利用者確保に努めたが、思うような利用者数を延ばすことができなかった。 運行日数 93日(運行予定日数：159日) 乗車人数 337人 平均乗車人数 3.6人(乗車人数/運行回数)
			1,895	全国和牛能力共進会開催期間中に、平戸ちゃんこ鍋フェスタと共同開催することができ、相乗効果をあげることができたとともに、多くの来場者を集めることができた。 さらに、上質な平戸牛を来場者にアピールすることができた。 集客数：10,000人

事業名	事業内容	事業費
東アジア観光誘客 推進事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	台湾を中心とした東アジアからの外国人観光誘客を図るため、平戸市・雲仙市・嬉野市・武雄市・福岡市の5市で構成する「東アジア誘客3県都市連携会議」にて観光説明会の開催や海外誘致セールス等、観光プロモーションを実施のほか、平戸観光協会に業務委託を行い、東アジアからの外国人観光客誘客を行うための、職員を雇用した。 【東アジア誘客3県都市連携会議】 ・観光説明会開催（6月13日：台北） ・JNTO主催 訪日台湾教育旅行現地説明会出席 （6月13日～15日、台北、台中、高雄） ・第20回台北国際旅行博（ITF2012）でのプロモーション開催 （10月26日～29日、台北） ・訪日台湾教育旅行招請視察団受入（3月9日～13日、5市） 【外国人観光客誘致事業】（職員雇用：1名）	7,510
長崎上海航路誘客 対策事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	ハウステンボスクルーズが所有するオーシャンローズ号が、長崎～上海間における定期航路を開設し運行することと、航路開設にあたり県全体の取組みとして行った「動くパビリオン」へ平戸神楽振興会を出演させ、本市のPRを行ったほか、中国上海市内にて県の協力により本市の観光説明会を開催し、現地マスコミ関係者に情報発信を行った。 【動くパビリオン出演】 8月8日、8月11日、オーシャンローズ号船内にて平戸神楽披露 【長崎県・平戸市観光セミナー開催】 開催日：8月10日 場 所：中国上海市 中福大酒店 参加マスコミ数：20社、記事掲載社数：11社	425
夏のイベント開催 支援事業 (観光課) 【事項別明細書 250 頁】	夏の風物詩として長年市民に親しまれている花火大会及び関係イベントの開催を行い、市民が楽しめるイベントの実施と観光客の誘致を図った。 平戸港夏まつり開催補助金 2,300千円 平戸海響ナイトクルーズ委託料 1,000千円 (委託先：社団法人平戸観光協会)	3,648

財 源 内 訳				事業の成果									
国県支出金	地方債	その他	一般財源										
			7,510	<p>【東アジア誘客3県都市連携会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光説明会開催（現地旅行会社マスコミ等21社、42名参加） ・JNTO主催 訪日台湾教育旅行現地説明会 6月13日（台北） 参加校67校中、4校と商談 6月14日（台中） 参加校62校中、10校と商談 6月15日（高雄） 参加校53校中、10校と商談 ・第20回台北国際旅行博（ITF2012） 4日間イベント来場者数：262,590人 ブースでのパンフなど2,000枚配布及びミニステージイベントに出演し、観光情報発信。 ・訪日台湾教育旅行招請視察団受入 台湾学校関係者12名からなる視察団一行の受入 <p>【外国人観光客誘致事業】</p> <p>現地民間団体等との調整、通訳・翻訳業務、事務補助、現地プロモーションなど多岐にわたり事業実施。特に現地民間団体等との調整においては、中国語が話せるため信頼を得ることができ、調整等がうまくいきスムーズな事業実施に貢献した。</p>									
			425	<p>【動くパビリオン出演】</p> <p>オーシャンローズ号乗船客を対象に、船内にて平戸神楽披露及び本市パンフの配布を行いPRを行うことができた。また、PRに伴いHIS上海にて旅行商品造成が図られたが、オーシャンローズ号の航行断念により、残念ながら誘客を図ることはできなかった。</p> <p>【長崎県・平戸市観光セミナー開催】</p> <p>動くパビリオン出演に乗り、県の協力を得て、上海市内にて中国メディア向けに本市観光説明会を行い、本市観光情報を中国に発信することができた。</p>									
			3,648	<p>地域が主体的になって開催することにより、地域の振興が図れた。また、イベントを通じ地域の魅力を発信することができ、観光誘客につなげることができた。</p> <p>参加者実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平戸港夏まつり</td> <td>17,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>平戸海響ナイトクルーズ</td> <td>386</td> <td>310</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	H23	H24	平戸港夏まつり	17,000	15,000	平戸海響ナイトクルーズ	386	310
事業名	H23	H24											
平戸港夏まつり	17,000	15,000											
平戸海響ナイトクルーズ	386	310											

【 8 款 土木費 】

地域の産業、経済、文化ならびに観光産業の発展、市民の日常生活の向上を図るうえでも道路交通網の整備は不可欠なものであり、建設行政の役割は多大なものがある。近年の厳しい社会情勢の中で、限られた財源を有効に活かしながら、平戸市総合計画に基づき、「安全・安心なまちづくりの推進」「まちを支えるネットワークの充実」の2本を柱に建設事業を推進した。

また、河川改良、急傾斜地崩壊対策事業などの緊急的な事業の実施により、市民の生命と財産を災害から守る防災施設の整備も行った。

都市計画事業では、自然と調和した機能的で美しく、快適に暮らせる環境を目指し、街なみ環境整備事業、まちづくり総合整備事業や都市公園の整備を行い、安心・安全なまちづくり、個性的で魅力ある街なみづくりの整備に努めた。また、本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランの策定に向けた取り組みに着手した。

住宅事業では、大久保団地の建替事業を行ったことにより、入居者及び地域の居住環境の整備を図るとともに、老朽化した既存住宅の改修を行い、安全で快適な住環境づくりに努めた。

（1）道路新設改良

実施計画に基づき、交付金事業として山中・紐差線外2路線、過疎対策事業として南川原循環線外6路線、辺地対策事業として深月線外5路線の計16路線の改良舗装工事を実施するとともに、県関連事業、単独改良工事等を実施し、豊かで住みよい生活環境づくりに努めた。

（2）橋りょう整備

今後、老朽化する橋りょうの維持・修繕費用の増大に対応するため、平成23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することに努めた。

（3）河川改良

河川改良工事においては、木ヶ津川外21河川の工事実施により、河川の氾濫及び護岸の崩壊を防止し、住民の安全確保に努めた。

（4）急傾斜地崩壊対策

災害危険箇所指定された地域において、市営事業（県補助）として小川地区（度島町）外1地区の工事を実施し、安全・安心なまちづくりに努めた。

（5）建設海岸自然災害防止対策

建設海岸の災害防止のため、県営事業において船越地区と主師地区の海岸護岸の整備を行い、安全・安心なまちづくりに努めた。

（6）港湾整備

船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため港湾整備を行った。

（7）都市公園整備

市内に設置している都市公園の利便性向上と安全性の確保のため、老朽化した施設を改修し、利用者の憩いの場として整備を行った。

（8）美しいまちづくり推進事業

平成15年度に「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」を基本理念とした平戸港周辺地区景観形成事業基本計画を策定し、街なみ環境整備事業整備方針とした。平成17年度からは平戸城下旧町地区街なみ環境整備事業計画に基づき、修景施設、道路美装化、電線類地中化等の整備を進めている。

平成24年度は、住宅等修景として崎方地区、4町地区（浦の町・宮の町・木引田町・新町）、2町地区（魚の棚町・職人町）、地区施設整備として、電線類地中化実施に伴う連係設備、道路美装化等の整備を行った。

また、まちづくり景観資産登録・保全制度により、景観資産として登録されている建造物の現状を保存するため改修事業を行うとともに、亀岡神社（本殿・拝殿・神楽殿・幣殿）の登録を行った。加えて、平戸城下旧町地区広告景観モデル地区支援制度に基づき、屋外広告物の除却・改修の助成を行った。

また、平成21年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、市街地中心部の活性化を図るため、まちづくり交付金を活用した「まちづくり総合整備事業」を行っている。

平成24年度は、都市計画道路亀岡循環線の改築事業を行い、また、平戸観光交流センター（仮称）建設事業については、設計業務を実施した。

（9）住宅整備

入居者の生活の安全及び住みよい住環境の向上を図るため、清水川住宅・上川団地・小田之平団地3棟48戸の外壁改修・屋上防水工事を行うとともに、老朽化した既存住宅の居住環境改善を行った。

また、大久保団地については、公営住宅1棟6戸の建設を行い、事業全体として建替9棟50戸及び集会所1棟を建設し、良質な住宅を供給するとともに、入居者及び地域の居住環境の整備に努めた。

事業名	事業内容	事業費
活力創出基盤整備 総合交付金事業 (建設課) 【事項別明細書 260 頁】	①堤線 事業費 325,500 千円 うち年度内支出 86,600 千円 (改良) L=623m W=5.5 (7.0) m	86,600
地域活力基盤創造 交付金事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ①山中・紐差線 事業費 245,000 千円 うち年度内支出 134,900 千円 (改良) L=745m W=5.5 (9.25) m (舗装) L=869m W=5.5 (9.25) m ②山中・紐差線(橋りょう) 事業費 21,400 千円 うち年度内支出 15,400 千円 (測量) L=420m W=5.5 (7.0) m ③神宮坂口線 事業費 22,400 千円 うち年度内支出 1,400 千円 (測量) L=1,073m W=5.5 (9.25) m 事務費 18 千円	151,718
過疎対策道路整備 事業 (建設課) 【事項別明細書 260 頁】	①南川原循環線 22,000 千円 (改良) L=146m W=4.0 (5.0~6.5) m (舗装) L=336m W=4.0 (5.0~6.5) m ②田崎神鳥線 事業費 75,000 千円 うち年度内支出 42,300 千円 (改良) L=260m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=287m W=4.0 (5.0) m ③後平梅崎線 事業費 40,000 千円 うち年度内支出 34,800 千円 (改良) L=143m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=143m W=4.0 (5.0) m ④紙漣線 事業費 30,000 千円 うち年度内支出 14,400 千円 (改良) L=200m W=4.0 (5.0) m ⑤山中・紐差線 事業費 53,000 千円 うち年度内支出 38,200 千円 (舗装) L=561m W=5.5 (7.0) m ⑥川内清水線 事業費 10,000 千円 うち年度内支出 1,600 千円 (測量) L=520m W=4.0 (5.0) m	153,300

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
53,495	33,105			<p>市民生活に密着した主要市道の整備を重点的に実施するとともに、その他の生活道路についても単独改良及び安全施設の設置等を実施し、流末排水路の整備、急カーブの改良、老朽箇所等の整備により、交通の安全が確保できた。そのなかで、本年度は、南川原循環線、主師海岸線、長崎鼻 1 号支線、岳平支線が完了した。</p> <p>また、県営事業として、県道及び国道の改良、舗装工事が実施され、交通の緩和及び安全性が保たれた。</p>
98,328	50,600		2,790	
	153,300			

事業名	事業内容	事業費
過疎対策道路整備 事業 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ①南川原循環線 事業費 40,000 千円 うち年度内支出 31,600 千円 (改良) L=270m W=4.0 (5.0) m ②後平梅崎線 事業費 20,000 千円 うち年度内支出 10,300 千円 (改良) L=41.8m W=4.0 (5.0) m ③飯良中通線 事業費 5,300 千円 うち年度内支出 4,800 千円 (測量) L=590m W=4.0 (5.0) m	46,700
辺地対策道路整備 事業 (建設課) 【事項別明細書 260 頁】	①深月線 事業費 40,000 千円 うち年度内支出 38,900 千円 (改良) L= 50m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=213m W=4.0 (5.0) m ②山の手線 事業費 23,000 千円 うち年度内支出 2,500 千円 (改良) L=120m W=4.0 (5.0) m (測量) L=804m W=4.0 (5.0) m ③岳平支線 28,000 千円 (改良) L=283m W=3.0 (4.0) m (舗装) L=360m W=3.0 (4.0) m ④神山線 事業費 30,000 千円 うち年度内支出 12,100 千円 (改良) L=124m W=3.0 (4.0) m	81,500
【事項別明細書 262 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ①主師海岸線 事業費 34,000 千円 うち年度内支出 20,800 千円 (改良) L=262m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=412m W=4.0 (5.0) m ②深月線 事業費 50,000 千円 うち年度内支出 37,300 千円 (改良) L=163m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=110m W=4.0 (5.0) m ③長崎鼻 1 号支線 事業費 43,000 千円 うち年度内支出 26,000 千円 (改良) L=201m W=3.0 (4.0) m (舗装) L=230m W=3.0 (4.0) m	110,902

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	46,200		500	
	81,500			
	110,900		2	

事業名	事業内容	事業費
	④岳平支線 事業費 27,000 千円 うち年度内支出 15,000 千円 (改良) L= 77(176)m W=3.0 (4.0) m ⑤神山線 事業費 20,000 千円 うち年度内支出 11,800 千円 (改良) L=44m W=3.0 (4.0) m 事務費 2 千円	
道路単独改良事業 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】	①館浦 11 号線 事業費 10,000 千円 うち年度内支出 900 千円 (測量) L=250m W=4.0 (5.0) m ②単独改良事業 49,852 千円 市道猪渡谷線外 104 路線 ③安全施設事業 10,210 千円 市道鮎川・早福線外 30 路線 ④原材料支給 6,765 千円 その他(事務費) 907 千円	68,634
道路整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】	主要幹線である国・県道に係る地域の産業、経済、文化及び観光産業の発展、市民の日常生活の向上のため、次の整備事業に対する負担を行った。 ①国道 383 号 ・川内工区 <事業費 50,000 千円> 市負担金 7,312 千円 (改良) L= 80m W=6.0 (9.75) m ・上中津良工区 <事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円 うち年度内支出 6,018 千円 (改良) L=240m W=6.0 (9.75) m ②国道 204 号 ・田平荻田工区 <事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円 うち年度内支出 3,308 千円 (測量) L=206m W=6.0 (9.75) m	40,914

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	900	34	67,700	
			40,914	

事業名	事業内容	事業費
道路整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】	③平戸田平線 ・野子工区 <事業費 60,000 千円> 市負担金 5,850 千円 (改良) L=190m W=6.0 (9.45) m (舗装) L=190m W=6.0 (9.45) m ・飯良工区 <事業費 45,000 千円> 市負担金 6,581 千円 うち年度内支出 4,768 千円 (測量) L=160m W=6.0 (9.75) m ・高越工区 <事業費 45,000 千円> 市負担金 6,581 千円 うち年度内支出 5,090 千円 (改良) L=420m W=5.5 (7.0) m (舗装) L=420m W=5.5 (7.0) m ④以善田平港線 ・下寺工区 <事業費 50,000 千円> 市負担金 7,313 千円 うち年度内支出 5,761 千円 (改良) L=290m W=5.5 (9.25) m ・瀬戸工区 <事業費 30,000 千円> 市負担金 4,388 千円 うち年度内支出 1,645 千円 (改良) L=200m W=5.5 (8.95) m ⑤田の浦平戸港線 ・崎方工区 <事業費 20,000 千円> 市負担金 1,950 千円 うち年度内支出 1,162 千円 (改良) L=900m W=4.5 (7.0) m (舗装) L=900m W=4.5 (7.0) m	
【事項別明細書 264 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ①国道 383 号 ・川内工区 <事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円 うち年度内支出 3,514 千円 (改良) L=200m W=6.0 (9.75) m ・上中津良工区 <事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円 うち年度内支出 3,603 千円 (改良) L=420m W=6.0 (9.75) m	24,704

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			24,704	

事業名	事業内容	事業費
	②国道204号 ・田平荻田工区 <事業費 25,000千円> 市負担金 3,450千円 うち年度内支出 2,058千円 (改良) L=210m W=6.0 (7.5) m ③平戸田平線 ・野子工区 <事業費 20,000千円> 市負担金 19,500千円 うち年度内支出 10,733千円 (改良) L=170m W=6.0 (9.45) m ・飯良工区 <事業費 20,000千円> 市負担金 2,925千円 うち年度内支出 183千円 (舗装) L=3,400m W=4.0 (5.0) m ・高越工区 <事業費 45,000千円> 市負担金 6,581千円 うち年度内支出 3,779千円 (舗装) L=140m W=5.5 (7.0) m ④以善田平港線 ・下寺工区 <事業費 20,000千円> 市負担金 2,925千円 うち年度内支出 834千円 (改良) L=250m W=5.5 (7.0) m	
橋りょう整備事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	橋りょうの腐食が進行しているため、次の補修事業を行った。 ①早福橋橋りょう補修 (早福町) 630千円 取付補修 ②町山橋橋りょう補修 (志々伎町) 1,070千円 床板補修 A=9.0 m ² ③尾の上橋橋りょう補修 (獅子町) 190千円 床板補修 A=1.6 m ²	1,890
橋りょう長寿命化 事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	年次補修・点検計画に基づき、計画的に橋りょうの修繕を行った。 ①橋りょう長寿命化補修設計 11,760千円 4橋 (若宮橋、勝尾岳線第1号橋、遠見陸橋、平戸口跨線橋) ②若宮橋長寿命化補修 事業費 8,240千円 うち年度内支出 2,900千円	14,660

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,890	橋りょう改修工事の施工により、住民の交通の安全が確保された。
9,529			5,131	道路交通の安全確保のため、これまでの事後保全的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換することで、橋りょうの長寿命化によるコストが縮減できた。

事業名	事業内容	事業費
河川改良事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	河川の氾濫及び護岸の崩壊防止のため、改修事業を行った。 護岸改修他 13,992 千円 木ヶ津川外 21 河川	13,992
急傾斜地崩壊対策 事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	災害危険箇所指定された地域の安全で安心できる生活基盤づくりのため、次の地区の防止事業を行った。 ①潮の浦(2)地区 事業費 16,645 千円 L= 23.0m うち年度内支出 6,800 千円 ②小川地区 事業費 23,955 千円 L= 38.0m うち年度内支出 8,200 千円	15,000
【事項別明細書 266 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ①潮の浦(2)地区 事業費 20,500 千円 L= 27.0m うち年度内支出 12,401 千円 ②小川地区 事業費 10,200 千円 L= 16.0m うち年度内支出 6,100 千円	18,501
急傾斜地崩壊対策 事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	県営事業で実施する次の地区の整備事業に対し負担を行った。 津吉地区 <事業費 20,000 千円> 市負担金 5,000 千円 L=41.0m うち年度内支出 2,029 千円	2,029
建設海岸自然災害 防止事業県工事負 担金 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	県営事業で実施する次の地区の整備事業に対し負担を行った。 ①船越前目地区 <事業費 3,000 千円> 市負担金 205 千円 水叩工 L= 46.0m ②主師地区 <事業費 2,000 千円> 市負担金 137 千円 護岸工 L= 10.0m	342

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			13,992	河川改修工事の施工により、河川の氾濫及び護岸の崩壊が防止され、住民生活の安全が確保された。
7,261	7,300		439	市の災害危険箇所指定された地域の崩壊防止工事の施工により、周辺住民の生命・財産を守ることができた。
9,250	7,500		1,751	
			2,029	
			342	護岸工事の施工により、高潮等からの災害を防止するとともに、海岸の浸食を防止し、国土の保全が確保された。

事業名	事業内容	事業費
港湾整備事業県工事負担金 (都市計画課) 【事項別明細書 266 頁】	船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため港湾整備を行った。平戸港においては、歩行者のオランダ商館までの動線確保のために栈橋タイプ遊歩道の整備に着手した。 ①平戸港地域自立活性化事業 ＜事業費 29,600 千円＞ 市負担金 2,753 千円 浮栈橋改良 1 基補修 1 基調査設計 ②平戸港地域住宅効果促進事業 ＜事業費 4,010 千円＞ 市負担金 501 千円 ボードウォーク L=91m 家屋事後調査 ③大島港改修事業(港湾統合補助) (神浦地区) ＜事業費 7,800 千円＞ 市負担金 975 千円 道路改良 調査設計 ④古江港県単海岸自然災害防止事業 ＜事業費 15,170 千円＞ 市負担金 667 千円 護岸改良 200m 測量設計・埋立申請 ⑤川内港県単海岸自然災害防止事業 ＜事業費 5,910 千円＞ 市負担金 257 千円 護岸改良 200m 測量設計・埋立申請 ⑥平戸港県単港湾改修事業 ＜事業費 5,049 千円＞ 市負担金 1,136 千円 浮栈橋フェリー用鉄板嵩上げ	6,289
【事項別明細書 268 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ①平戸港地域住宅効果促進事業 ＜事業費 175,000 千円＞ 市負担金 21,875 千円 ボードウォーク 測量設計等 L=91m	21,875
都市計画マスタープラン策定事業 (都市計画課) 【事項別明細書 268 頁】	本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランの策定を 3 か年かけて行う。 ・平戸市都市計画マスタープラン策定業務 一式 5,000 千円 ・都市計画の見直しに関する基礎調査委託 一式 1,354 千円 (江迎都市計画区域) ・その他事務費 184 千円 ・期 間 平成 23 年度～平成 25 年度	6,538

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			6,289	港湾整備を行ったことにより、船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性が確保された。
	20,700		1,175	
1,354			5,184	平成 24 年度においては、都市計画マスタープランの全体構想及び地域別構想並びに実現化方策を検討した。また、江迎都市計画区域見直しの為の基礎調査を行ない、現況の把握ができた。

事業名	事業内容	事業費
街なみ環境整備事業 (都市計画課) 【事項別明細書 272 頁】	平戸城下旧町地区街なみ環境整備事業計画の整備方針の、「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」実現のため、町屋7棟の修景補助を行うとともに、公共施設整備として電線地中化、及び道路美装化、公共施設修景を実施した。 ①修景施設整備（崎方地区） 整備棟数 3棟 10,457千円 ②修景施設整備（四町地区） 整備棟数 3棟 11,419千円 ③修景施設整備（2町地区） 整備棟数 1棟 3,998千円 ④電線類地中化共同溝整備工事 L=158m 16,800千円 ⑤地区施設整備 29,507千円 道路美装化工事(崎方) 一式 手すり整備 一式 道路美装化工事(四町) 一式 電柱移転補償費 ⑥その他事務費 531千円	72,712
	【平成23年度繰越明許費】 ①平戸港交通船待合所修景工事 5,639千円 平戸港交通船待合所修景工事 一式 ②松浦史料館下（崎方地区） 25,670千円 松浦史料館下道路美装化工事 一式 ③その他事務費 54千円	31,363
美しいまちづくり 支援事業 (都市計画課) 【事項別明細書 272 頁】	特徴的で魅力ある景観資産を後世に残していくことを目的に、長崎県の景観資産に登録されている松浦家樓霞園について、経年による老朽化対策のため屋根の葺き替えを行った。また、広告景観モデル地区内において屋外広告物の除去、改修に対し助成を行い、街なみ景観と調和し魅力あるものとした。 ①景観資産助成事業 整備棟数 1件 3,990千円 ②屋外広告物助成事業 整備件数 3件 264千円	4,254
大島村神浦地区街 なみ環境整備事業 (都市計画課) 【事項別明細書 274 頁】	【平成23年度繰越明許費】 ①地区施設整備 14,325千円 設計業務委託 一式 用地買収 一式 家屋補償 一式 施工管理業務委託 一式 小公園整備(公衆便所他) 一式 ②その他事務費 55千円	14,380

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
34,652	22,500		15,560	城下旧町地区において、平成17年度から24年度までに、電線類地中化や地区施設を整備するとともに修景施設を整備したことにより、歴史的な趣のある街なみが形成され、住民の街づくりに対する意識が向上し、城下旧町地区内全体にまちづくりの気運が高まった。
16,485	14,100		778	
2,127			2,127	歴史的価値がある平戸の重要な景観資産を後世に残すことができた。また、城下旧町の通りの看板について、歴史的景観と調和した魅力あるものとすることができた。
7,162	6,800		418	大島村神浦地区の伝統的な街なみを活かしながら小公園を整備することで、地域住民や来訪者の利便性が向上した。

事業名	事業内容	事業費
まちづくり総合整備事業 (都市計画課) 【事項別明細書 272 頁】	平戸市北部地区の「美しいまちづくり支援地区」及びその周辺地域におけるまちづくりとして、平成 21 年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、都市計画道路亀岡循環線、平戸観光交流センターの整備に着手した。 ①亀岡循環線整備 53,882 千円 改築工事 (3 工区) 照明灯 6 基 ②平戸観光交流センター(仮称) 61,335 千円 解体工事 一式 事前調査等 一式 移転補償費 建物 2 件 ③その他事務費 2,587 千円	117,804
【事項別明細書 274 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ①亀岡循環線整備 255,593 千円 改修工事 (1 工区) L=179.5m 改修工事 (2 工区) L=310m 移転補償費 建物 2 件 土地購入費 1 件 A=208.58 m ² ②平戸観光交流センター(仮称) 7,831 千円 設計業務 一式 地質調査業務 一式 ③その他事務費 154 千円	263,578
公営住宅整備事業 (都市計画課) 【事項別明細書 274 頁】	入居者の生活の安全及び居住環境の向上を図るため、老朽化した既存住宅の外壁改修及び屋上防水等の改善を行った。 【社会資本整備総合交付金事業】 ・清水川 C 棟外壁・屋上防水工事 15,285 千円 ・上川団地外壁・屋上防水工事 21,605 千円 ・小田之平団地屋上防水工事 7,048 千円 【単独事業】 ・大膳原 A 棟量水器取替工事 1,280 千円 ・大膳原 B 棟受水槽取替工事 4,095 千円 ・赤坂住宅敷地整備工事 283 千円 ・山内団地敷地整備・舗装工事 2,454 千円 ・下亀団地共聴施設設置工事 1,032 千円 ・里団地敷地整備工事 847 千円 ・大久保団地目隠フェンス設置工事 819 千円 ・小田之平団地住宅排水主管取替工事 540 千円 ・代作住宅フェンス外周整備工事 420 千円 ・土地分筆登記委託 (馬の元・西中山) 1,463 千円	57,171

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
37,382	59,400		21,022	亀岡循環線の改築工事を行い、都市計画道路の補償契約を取り交わし、護岸の一部が完成した。 また、平戸観光交流センター(仮称)の建物補償を行い、解体工事に着手した。
105,570	149,100		8,908	
18,181			38,990	老朽化した既存住宅の利便性や安全性が改善され、入居者の生活の安全及び居住環境を向上させることができた。

事業名	事業内容	事業費
高齢者向け優良賃貸住宅等家賃低廉化事業 (都市計画課) 【事項別明細書 274 頁】	居住用住宅を必要とする60歳以上の高齢者向け優良賃貸住宅(希望の里ひかり)へ入居する収入基準以下の高齢者の家賃減額分を助成した。 ・家賃減額補助 1,054 千円 対象戸数：10 戸(管理数 20 中、10 戸ずつを市・県が助成) 延べ 118 月	1,054
住宅・建築物耐震改修事業 (都市計画課) 【事項別明細書 274 頁】	昭和 56 年以前に建築された民間特定建築物の所有者に対し、耐震診断を行うための費用の一部を助成し、地震による人的・経済的被害の軽減を図った。 ・建築物耐震化事業補助金 978 千円 生月町山田免 山田幼稚園	978
耐震・安心住まいづくり支援事業 (都市計画課) 【事項別明細書 274 頁】	昭和 56 年以前に建築された戸建木造住宅の所有者が行う耐震診断・耐震改修計画及び改修工事に係る費用の一部を助成し、地震による人的・経済的被害の軽減を図った。 ・耐震化診断業務委託料(2 件) 60 千円 ・木造住宅耐震改修補助金(1 件) 600 千円 ・耐震改修計画作成支援事業補助金(1 件) 70 千円	730
老朽危険空き家除却事業 (都市計画課) 【事項別明細書 276 頁】	不良住宅や空き家が住環境の妨げとなっていることから、安全・安心な住環境づくりを促進するため、老朽化した危険な空き家の除却を行う者に対し費用の一部を助成した。 ・老朽空き家除却事業補助金(2 件) 689 千円	689
大久保団地公営住宅建設事業 (都市計画課) 【事項別明細書 276 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 良質な住宅を供給するとともに、入居者及び地域の生活環境を整備するため、次の住宅建設事業を行った。 《地域住宅交付金事業》 ①建築工事 45,925 千円 木造 2 階建 1 棟 建築面積 A=233.43 m ² 2DKタイプ 6 戸 延べ床面積 A=351.22 m ² ②屋外付帯工事 一式 5,105 千円 ③機械設備工事 一式 4,828 千円 ④電気設備工事 一式 5,197 千円 ⑤建築設計監理委託 一式 3,208 千円 ⑥その他事務費 441 千円	64,704

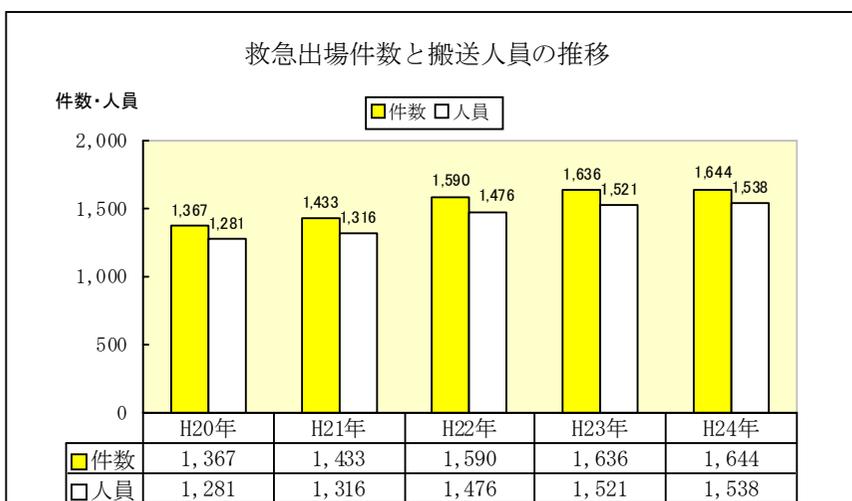
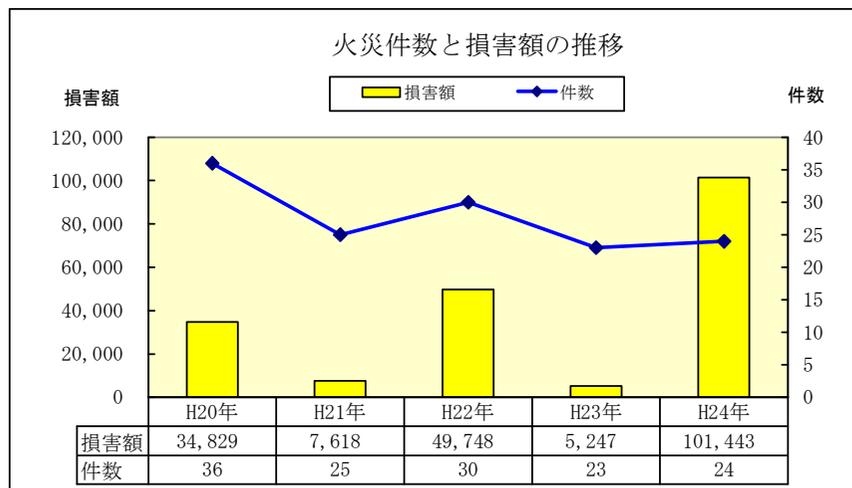
財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
469			585	高齢者が安心して居住できる住宅を提供することができるとともに、入居高齢世帯の負担を軽減できた。
733			245	民間特定建築物の地震による人的・経済的被害の軽減を図り、居住環境を向上させることができた。
498			232	民間木造住宅の地震による人的・経済的被害の軽減を図り、居住環境を向上させることができた。
344			345	住環境の妨げとなっている空き家の除却により、安全・安心な住環境づくりを促進するため、居住環境を向上させることができた。
27,145			37,559	良質な住宅が供給され、入居者が安全で快適な生活ができる居住環境を提供することができた。

【 9 款 消防費 】

平成 24 年中における本市の火災発生状況は、発生件数 24 件、損害額 101,443 千円で、これを前年と比較すると発生件数は 1 件の増加であるが、損害額は 96,199 千円でホテル火災により大幅に増加している。また、救急活動状況は、出場件数 1,644 件、搬送人員 1,538 人で前年と比較すると、出場件数で 8 件、搬送人員で 17 人とわずかな増加となっている。

このような状況の中、消防業務に対する市民のニーズに対応するために、職員及び団員の研修などのソフト面における資質の向上や、消防水利施設、消防車両等ハード面における施設・設備の整備を計画的に図った。

(火災・救急統計は、暦年統計のため平成 24 年中のデータとした。)



(1) 火災予防推進事業

幼少年婦人防火クラブ、消防団員、消防職員と一般市民が集い、火災・地震等の体験コーナーを通じて災害の恐さを再認識し、市民の防火意識の高揚を図るとともに、消防資器材等を一般公開して本市の消防力を紹介するなど、消防とのふれあいの場を設け、信頼関係を深めるため、第 1 回消防フェスタ 2012 を開催した。

(2) 消防団サポート事業

少子高齢化に伴う、消防団員の確保対策として、県消防団員加入促進事業費補助金を活用し、団員の募集、消防団員協力事業所の P R を行い、消防団員確保とサポート体制の構築を図った。

(3) 消防庁舎整備事業

現在の庁舎は築 40 年が経過し老朽化が著しく改修費用が年々増加している。また、市町村合併に伴う出張所の開設等、事務量が增大し事務室・書庫等が狭隘となっている。このため、老朽化した設備の更新、事務スペースの確保及び大規模・多様化する災害に対応するための訓練施設の充実を図り、防災拠点としての消防庁舎を移転新築する。これに係る用地の購入を行い、敷地造成及び庁舎建設の設計を実施した。

(4) 消防防災施設整備事業

消防施設の整備は、市民の生命・財産の保護及び被害の軽減を図るためにも整備が必要であり、小学校跡地利用による消防格納庫の新設、消防水利の設置・補修等、消防施設の充実強化を図った。

(5) 消防防災設備整備事業

消防車両の整備は、災害現場における消防活動の円滑化を図るうえで最も重要であり、一定年数を経過した車両の更新により機動力を強化した。

(6) 防災行政無線施設整備事業

平成 22 年度から整備を行った防災行政無線は、平成 24 年度をもって整備事業が完了した。しかし、戸別受信機の設置進捗率は 70% となっているので、平成 25 年度からも戸別受信機の設置を推進していく。

(7) 自主防災組織育成事業

平成 24 年 4 月 1 日現在の平戸市の自主防災組織率は 24.9% と低く、長崎県の自主防災組織率の半分にも満たない状況であった。このような状況の中、平成 24 年度から平成 26 年度までの 3 年間で、自主防災組織率を 100% に上げるべく、自主防災組織への資器材購入の補助金を予算化し、自主防災組織の結成推進を行った。平成 25 年 4 月 1 日現在での自主防災組織率は 42.7% となり、1 年前に比べて 17.8% も上げることができた。

(8) 総合防災訓練開催事業

平成 24 年度の総合防災訓練は、大規模な災害や玄海原子力発電所で事故が発生した場合を想定して、大島での訓練を行った。また、原子力災害避難行動計画にある避難についての検証も行った。

(9) 衛星携帯電話等整備事業

災害が発生した場合、孤立する可能性がある離島に対して、離島体験滞在交流促進事業補助金で衛星携帯電話を購入し、離島との通信手段を確保した。(設置箇所：本庁、大島、度島、高島)

事業名	事業内容	事業費
火災予防推進事業 (消防本部) 【事項別明細書 280 頁】	市民とのふれあいを通じて防火意識の高揚と消防への理解を深めるため消防フェスタ 2012 を開催した。 ・第 1 回消防フェスタ 2012 を開催(約 450 名) 417 千円 ・防火ポスター募集(小学校：5 校 32 作品) 92 千円	509
消防団サポート事業 (消防本部) 【事項別明細書 286 頁】	<長崎県消防団員加入促進事業> 消防団員の確保、協力事業所を P R するために横断幕、ポケットティッシュ等を作成し啓発活動を行った。 ・横断幕(18 枚) ・懸垂幕(6 枚) ・ポケットティッシュ(4,400 個)	733
消防庁舎整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 288 頁】	消防庁舎の移転新築を計画し、用地購入、敷地造成設計及び庁舎設計業務を行った。 ・消防庁舎設計業務 20,222 千円 ・測量業務委託 2,205 千円 ・地質調査業務 6,443 千円 ・造成設計業務(有効活用面積：3,637 m ²) 1,827 千円 ・用地分筆登記業務 210 千円 ・用地購入(4,549 m ²) 45,603 千円	76,510
消防防災施設整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 288 頁】	消防水利の充実を図るため防火水槽の新設、消火栓の新設・改修を行った。また、小学校跡地利用により改修を行い消防格納庫を整備し、施設の充実を図り、消防団活動の円滑化を図った。 ・耐震性貯水槽新設 40 t 級 3 基(辻・下中野・生月) 16,030 千円 ・消防格納庫整備(獅子・大島 2 ・野子) 12,633 千円 ・消火栓整備(新設 2 基・改修 20 基) 8,442 千円 ・生月出張所外壁補修 977 千円 消防救急デジタル無線整備のための調査を実施した。 ・消防救急デジタル無線見通し調査 352 千円	38,434
	【平成 23 年度繰越明許費】 消防団格納庫を新設し、消防施設の整備を行い団員の士気の高揚を図った。 ・消防格納庫新設(野子) 10,408 千円	10,408
消防防災設備整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 288 頁】	車両、消防資機材について、計画的更新を行うことにより災害時における機動力の強化と消防活動の円滑化に努めた。 ・小型動力ポンプ付積載車 3 台(中野・釜田・神浦 1) 12,976 千円 ・空気呼吸器 2 基(本署) 924 千円	13,900

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			509	今回のイベント開催により、防火防災への意識の高揚が図られ、消防活動への理解と信頼を深めることができた。
732			1	各地への横断幕・懸垂幕による募集活動、各地区分団の努力により、前年度比 4 名の増員が図られた。また、消防団協力事業所を市民へ P R することができた。
	72,700		3,810	老朽化による庁舎、指令台の更新を図るため、用地購入及び敷地整備にかかる設計、庁舎設計を実施し庁舎建設に向けた準備が整った。
6,913	17,700		13,821	消防水利が乏しく有事の際、消火活動が危惧されていた地区において、耐震性貯水槽の新設、消火栓の改修を行ったことで、消防施設、水利の充実が図られ消火活動の円滑な運用が可能となった。また、格納庫の整備により、施設の充実強化が図られ団員の士気の高揚にもつながった。 消防救急デジタル無線整備における基地局選定のための、多重無線回線設計調査を実施し、システム構成の計画の準備を整えた。
	9,300		1,108	老朽化した消防団格納庫の建替えを行い、消防団施設の充実強化が図られ、災害時における円滑な消防活動、団員の士気の高揚につながった。
	12,700		1,200	老朽化により性能が低下した消防車両、資機材を更新したことで、災害時における機動力の強化と消防活動時の隊員の安全確保が図られ、また、市民の生命・財産の保護及び被害の軽減に寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
防災行政無線施設整備事業 (総務課) 【事項別明細書 290 頁】	デジタル同報系防災行政無線施設整備の平成 24 年度工事を行った。 平成 24 年度工事の内容 ・ 田平地区屋外拡声子局の設置 (38 か所) ・ 平戸地区及び田平地区の戸別受信機の設置 ・ 公共施設への戸別受信機の設置 ・ 既設局の撤去	588, 554
自主防災組織育成事業 (総務課) 【事項別明細書 290 頁】	地域住民が自主的に防災活動を行う組織の育成のため、研修会の開催や資機材整備補助の交付により自主防災組織の結成を推進した。 ・ 研修会 参加者 81 人 (32 地区) ・ 組織率 37.8% (平成 25 年 3 月 31 日現在)	8, 893
総合防災訓練開催事業 (総務課) 【事項別明細書 292 頁】	防災意識の高揚と普及を図るため、関係機関の協力を得て、大規模災害を想定した総合防災訓練を実施した。 ・ 訓練日 平成 24 年 6 月 27 日 ・ 場所 大島村的山港 ・ 参加機関 33 機関 (1,003 人)	1, 093
衛星携帯電話等整備事業 (総務課) 【事項別明細書 292 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 <離島体験滞在交流促進事業> 災害発生時の離島との通信手段確保のため、衛星携帯電話整備を行った。 ・ 整備地区 大島地区、度島地区、高島地区、市役所本庁	1, 302

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	559, 100		29, 454	整備事業が完了し、屋外拡声子局及び戸別受信機の完全運用開始により、防災情報及び行政情報の市民への周知が可能となり、平戸市の防災力の向上や情報の共有化ができるようになった。
492	7, 600		801	説明会と合わせ防災資機材等の整備のため補助を行い災害時の応急対応を可能とした。結果、24.9%であった結成率が平成 25 年 3 月 31 日には 37.8%と増加した。また、地域防災力の向上のため自主防災組織研修会を開催し、地域の危険箇所等を再認識することができた。
			1, 093	所期の目的である参加機関との緊密な連携の強化、市民の防災への関心を高めることができた。併せて、原子力災害に対する避難行動計画の策定に向けたフェリーによる全島避難を想定した訓練を行い、計画の検証を行った。
651			651	離島における通信手段の複線化が図られ、防災時の連絡が取れるようになった。

【 10 款 教育費 】

1 学校教育

本市の教育分野においては、平戸市総合計画に定める基本目標や平戸市教育方針及び平戸市教育努力目標に基づき、「豊かな心」「確かな学力」「たくましい体」の充実を掲げ、「生きる力」の育成を目指してきたところであり、平成 22 年 6 月には、現在の様々な教育的課題に対応すべく今後 5 年間のアクションプランとして、平戸市教育振興基本計画を策定した。学校教育課においては、『高い志を持つ人づくり』を重点目標に各種施策に取り組んだ。この中で、「学校教育の充実」として「学力の向上」を一つの柱とした。

第 1 に、教師の指導法の改善と指導力の向上を目指し、全ての小・中学校を訪問して指導にあたった。

第 2 に、研究指定による指導を行った。平成 23 年度から 2 か年、平戸小学校及び津吉小学校を県教育委員会指定及び市教育委員会の研究指定校として、言語活動の充実を図る実践研究を行った。また、平成 24 年度から 2 か年、中部中学校を県及び市教育委員会の研究指定校として、言語活動の充実を図る実践研究を進めている。

第 3 に、学力向上のための計画の作成と実践を行った。全ての小・中学校で「観点別学力到達度診断テスト」を実施するとともに、平成 19 年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、全校がそれぞれに学力向上プランを作成し、指導法の改善を図り、学力の確実な定着を目指している。

第 4 に、外国語の向上を図る取組を行った。児童生徒が生きた英語に慣れ親しみながら、英語力の向上並びに国際感覚の充実を図るため、5 人の外国語指導助手を招致し、全ての小・中学校で指導を行った。

もう一つの柱は、「心の教育」の充実である。

第 1 に、道徳の指導に力を入れ、校長をはじめ、全職員による道徳教育の充実に努めた。道徳の指導方法の工夫・改善に取り組む一方、保護者や地域に対して道徳の授業を公開した。また、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を活用し、全ての小・中学校の道徳の授業を参観し、指導につなげた。

第 2 に、全ての小・中学校において、日課表の中に読書の時間（「朝の読書」など）を設定し、全校一斉の読書活動に取り組ませた。このことは子どもの情操教育に効果的であり、落ち着いた学習態度の定着など良い結果をもたらしている。

第 3 に、県派遣「スクールカウンセラー」を平戸小学校、平戸中学校、生月中学校、南部中学校及び田平中学校の 5 校に配置を行うとともに、平成 24 年度から「スクールソーシャルワーカー」を 1 人配置し、問題を抱える児童生徒がおかれた環境への働きかけを行うほか、関係機関のネットワークの構築、連携・調整を行った。

また、適応指導教室「のぞみ」の活用を図り、不登校児童 2 人・生徒 3 人の学校復帰に向けての指導を行った。

第 4 に、「特別支援教育」体制の更なる充実に向け、特別支援教育支援員を増員配置するとともに、研修会、講演会を開催し、個に応じた指導体制の基盤づくりを進めた。

また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災を受け、本市においても平成 27 年度までに学校施設の耐震化完了に向けて平戸市総合計画実施計画の中に学校施設整備計画を盛り込み、情報教育等と併せて、安全で安心な教育環境の整備を図るとともに、各地区と検討協議を行いながら、学校統廃合に伴う廃校後施設の跡地利活用等を行っている。

(1) 奨学費

平戸市奨学金制度は、品行方正、学業成績が良好でありながら、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与し、教育の機会均等を図り、将来、社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、高校または大学等に修学する生徒・学生を対象に、高校 5 人、高専 3 人、大学 2 人の全体で 10 人（平成 24 年度新規貸付者：高校 3 人、高専 2 人、大学 1 人）について、平戸市奨学資金貸付基金運営委員会の審査により決定し、奨学金の貸与を行った。

(2) 小学校・中学校費

○学校管理

学校教育の充実を目的として、児童生徒の健康対策及び保護者の負担軽減を図るなど、児童生徒が安心して学習できる教育環境の整備を行った。

施設の営繕等については、プールの濾過装置補修、校舎や体育館の屋根・外壁補修、校舎の防水工事、照明器具や高圧機器の改修、更には、教室のカーテン・暗幕の取替、黒板張替など施設の維持及びより安全な教育環境の整備を行った。

○教育振興

心の教育の充実及び児童生徒の読書活動を推進するため、学校図書館支援員を全ての小・中学校に配置し、読書環境の整備を図っており、小中学生の年間読書量は、これまで同様に引き続き多い状況にある。

就学援助対策として、要保護及び準要保護並びに特別支援学級の児童生徒に対し、援助費及び奨励費の支給や、遠距離通学等をしている児童生徒に対し、補助金の支給を行った。また、適応指導教室「のぞみ」では、不登校児童生徒 5 人に対し、学校復帰を目指した指導を行い、学校行事や卒業式への参加や高校への進学など改善できた児童生徒がいた。更には、指導員が不登校児童生徒の家庭を訪問し、児童生徒及び保護者等がかかえる悩みを聞いたり登校等を促しながら、学校復帰への指導を行った。

○学校建設

学校施設環境の整備については、校舎の増改築や大規模改修、耐震補強、屋内運動場を含む各施設の整備等、年次計画を立て実施しているところであり、本年度は、志々伎小学校校舎大規模改修事業を実施し、安全で安心な教育環境の整備を図った。

併せて、平戸中学校校舎増改築事業において、平成 23 年度から校舎建設工事に着手し、平成 24 年 12 月に完成、他に既存校舎の解体工事及び太陽光発電設備を設置した。なお、グラウンド造成工事については、平成 25 年 2 月から着工し、8 月末に完成予定である。

また、平戸小学校校舎大規模改修事業において、実施設計を行い、平成 25 年度工事着工の準備が完了した。

○学校施設の耐震化率の推移 (各年度末)

施設名	平成 23 年度	平成 24 年度
小学校	73.1%	75.0%
中学校	96.7%	100.0%
計	81.7%	84.0%

2 幼稚園費

幼児教育の充実と円滑な幼稚園運営を図るため、職員研修の実施、施設の維持補修及び備品の購入を行うなど幼児がのびのびと学べる環境の整備に努めた。

また、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、私立幼稚園の保護者に対し、保育料等を減免する私立幼稚園就園奨励費補助を行った。

【 10 款 教育費 】

3 社会教育費

(1) 社会教育

平成 19 年 3 月に策定した平戸市生涯学習推進計画に基づき、市民自らの学習意欲を喚起し、学習した成果を生かした協働のまちづくりを推進した。具体的な取り組みとして、市民自らが様々な分野から講師を招聘しての生涯学習講演会の開催をはじめ、生涯学習パスポートの表彰・生涯学習月間の啓発、ながさき県民大学主催講座の実施、市民編を前面に出した出前講座の実施等、生涯学習の推進に取り組んだ。

長崎県の県民運動である「ココロねっこ運動」を推進する事業や学社融合事業等を実施し、学校と地域、家庭が一体となって青少年の健全育成に取り組む気運を高め、地域や家庭の教育力の向上を図った。また、少年センターでは、専門員や少年センター補導委員による補導活動や環境浄化活動を実施し、青少年の非行防止、保護育成に取り組んだ。

公民館事業については、市内 6 公民館を生涯学習の拠点施設として各種学級・講座等を実施し、市民のニーズや時代に即応した学習の場の提供を行った。また、地域の生涯学習の推進や住民相互の交流を図るうえで必要な地区公民館の修繕補修についても助成を行った。図書館事業については、利用者ニーズにあった資料の購入、読書感想発表大会や読み聞かせ等の読書推進事業、各種講座開催など読書に親しむ機会の提供を行った。また、公民館図書室の整備に伴い、今まで生月町中央公民館にあった生月図書室を生月支所に移設、改修し平成 24 年 4 月にリニューアルオープンしたことにより、貸出冊数が大幅に増加した。また、図書館フェスティバルや絵本作家講演会を開催し、読書環境の改善を図った。

(仮称)平戸市総合情報センターの平成 27 年度開館に向け、業者選定プロポーザルを実施し、設計者を選定し設計業務に取り組んだ。

(2) 文化財保護

文化財保護について、平成 24 年 8 月 13 日に「亀岡神社本殿・拝殿・幣殿及び登廊・神楽殿」が国の登録文化財となった。また、平成 25 年 3 月 29 日付で「里田原遺跡出土の木製品」(弥生時代の農具・工具・生活用品等 72 点)が県の有形文化財(考古資料)に指定された。

指定・選定文化財について、①大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区の町家 4 件の修理補助、②交流拠点施設の消防設備工事と案内・避難誘導看板の設置、③国指定重要文化財「田平天主堂」の鐘楼ガラリ及び鐘台座金具の補修、④県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」座敷の改修、⑤県指定有形文化財「雄香寺開山堂」の自動火災報知設備修繕、⑥県指定天然記念物「海寺跡のハクモクレン」の保存整備事業を行い、貴重な文化財の保存・保護に努めた。

平戸オランダ商館については、史跡地内公有地にて文化財に相応しい整備を実施し、来館者が平戸港周辺を周遊できるよう動線を設定した。特に発掘調査によって確認された商館長居宅跡と推定される遺構については、遺構表示を行い、往時の様相をあらわすものとして広く内外にアピールすることができた。

重要文化的景観保護について、適切な保存活用を図っていくため、整備活用計画の策定検討を行った。また、選定区域内の便益施設整備として休憩施設 2 棟を設置した。

世界遺産登録推進について、県版アクションプラン、包括的保存管理計画の一部となる市アクションプランの策定や、関係地域における継続した調査研究を行い、登録作業の推進を図った。

(3) 文化振興・文化施設

文化振興について、市美術展、文化協会加盟団体による文化まつりを実施し、文化活動団体への活動補助、全国大会出場者への補助を行うなど、市民の文化に対する意識の高揚と、芸術文化の振興に努めた。

また、ながさき音楽祭 2012 コンサート 5 か所、ひらんコンサート 2 か所、次代を担う子どもの文化芸術体験事業を生月小学校、長崎県美術館名品展 移動美術館 i n 平戸市・県展移動展を島の館で開催し、質の高い芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

さらに、ジャンガラフェスティバル及び民俗芸能祭を開催することにより、平戸固有の伝統文化を市内外に周知・啓発するとともに、各保存会の意見交換・交流の場を設けることができた。

文化施設について、大島村ふるさと資料館、田平町里田原歴史民俗資料館、生月町博物館・島の館の施設の

維持管理・運営・公開を行い、郷土の歴史や地域文化の紹介と情報発信、文化財の保存保護に対する周知と啓発を行った。里田原歴史民俗資料館では里田原遺跡発見 40 周年・資料館開館 30 周年にあたったことから記念式典や記念講演・ウォークラリー等を行い、里田原遺跡を再認識してもらうことができた。

4 保健体育費

(1) 保健体育・体育施設

スポーツ振興においては、体育協会を中心としてスポーツ団体の育成と競技力の向上を図ることができた。また、スポーツ振興基金を活用して、個人・団体等の九州大会以上の大会への参加費補助やスポーツ教室等の開催に助成を行った。各地区の体育振興会を中心に、健康まつりや町村民運動会などを開催し、市民の融和と社会体育の底辺拡大、市民の健康増進を図るため、生涯スポーツの推進に努めた。

スポーツイベントとして、「第 6 回ひらどツデーウォーク 2012」を開催し、悪天候にもかかわらず市内外から参加者が訪れ、健康増進とともに、観光地平戸を大きく P R し、地域の活性化に貢献することができた。

青少年の健全育成を目的としたスポーツ振興については、スポーツ少年団体の活動に支援を行った。平成 26 年度長崎がんばらば国体に向けて、軟式野球競技の会場となる平戸市総合運動公園ライブカンントリー赤坂野球場と生月町勤労者体育センターの施設改修を行ったことにより、スムーズな競技運営が図られるようになった。そのほか生月町 B & G 海洋センターのプール改修工事や各体育施設改修等を行うことにより、利用者の安全確保やサービスの向上を図った。

第 69 回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業については、4 月 24 日に平戸市実行委員会常任委員会を、5 月 17 日に第 2 回総会を開催し、その後、4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査(東京・岐阜)を行うことにより具体的な内容の把握ができ、今後の業務遂行に大いに参考となった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、イベントでの着ぐるみ P R、フェイスブックの開設及び昭和 44 年国体写真展の開催等により啓発活動に努めた。また、関係機関団体等との連絡調整及び放送委員の実践研修を行い大会開催へ万全を期すため準備を行った。

全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業については、4 月 24 日に平戸市実行委員会常任委員会を、5 月 17 日に第 2 回総会を開催し、その後、4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査(長野県長野市)を行うことにより具体的な施設面・競技運営面等、今後の業務遂行に参考となるものであった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、また、高校生活動とともにイベントでのティッシュ配布及びフェイスブックの開設など啓発活動に努めた。関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の県内外大会での実践研修を行い大会開催への準備を行った。

全国高等学校総合体育大会相模競技選手強化育成事業については、年間を通して遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手強化が図られた。

(2) 学校給食

安全安心でおいしい給食を児童生徒に提供するため、調理講習会や衛生管理研修会を実施し調理従事者等の資質の向上を図った。

また、「おにぎり給食」を 2 回実施し、主食である米の消費拡大と児童生徒自らが心身の健康の保持増進を図ろうとする興味、関心、意欲の向上に努めた。

設備面では、経年劣化により業務に支障をきたしていた北部及び中南部共同調理場のプレハブ冷凍冷蔵庫パネル、中南部共同調理場の蒸気回転釜並びに大島共同調理場及び度島調理場の食器洗浄機を最新の機器に更新するとともに、施設面では、北部、中南部、田平共同調理場及び度島調理場の床の補修を実施することで、学校給食衛生管理基準の遵守を図り、円滑な業務遂行のための環境整備を行った。

事業名	事業内容	事業費																																																																														
奨学資金貸付事業 (教育総務課) 【事項別明細書 296 頁】	<p>経済的理由により修学困難と認められる品行方正、学業成績が良好である者に教育の機会均等を図り、将来の社会発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的に学資を貸与した。</p> <p>平戸市奨学資金貸付基金 平成 24 年度貸付状況 10 人 1,800 千円</p> <p>内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">高校</th> <th colspan="2">高専</th> <th colspan="2">専修</th> <th colspan="2">短大</th> <th colspan="2">大学</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>5</td> <td>648</td> <td>3</td> <td>432</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>720</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3</td> <td>360</td> <td>2</td> <td>288</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>360</td> <td>1,008</td> </tr> </tbody> </table> <p>基金金額 単位：円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">前年度末</th> <th colspan="4">増減額</th> <th rowspan="2">本年度末</th> </tr> <tr> <th>貸付金</th> <th>返還金</th> <th>寄附金</th> <th>利子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現金</td> <td>70,991,935</td> <td>△1,800,000</td> <td>10,561,200</td> <td>800,000</td> <td>9,856</td> <td>80,562,991</td> </tr> <tr> <td>貸付金</td> <td>49,201,200</td> <td>1,800,000</td> <td>△10,561,200</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>40,440,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120,193,135</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>800,000</td> <td>9,856</td> <td>121,002,991</td> </tr> </tbody> </table>	区分	高校		高専		専修		短大		大学		計	人	千円	合計	5	648	3	432					2	720	1,800	H24	3	360	2	288					1	360	1,008	区分	前年度末	増減額				本年度末	貸付金	返還金	寄附金	利子	現金	70,991,935	△1,800,000	10,561,200	800,000	9,856	80,562,991	貸付金	49,201,200	1,800,000	△10,561,200	0	0	40,440,000	合計	120,193,135	0	0	800,000	9,856	121,002,991	990								
区分	高校		高専		専修		短大		大学		計																																																																					
	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円																																																																						
合計	5	648	3	432					2	720	1,800																																																																					
H24	3	360	2	288					1	360	1,008																																																																					
区分	前年度末	増減額				本年度末																																																																										
		貸付金	返還金	寄附金	利子																																																																											
現金	70,991,935	△1,800,000	10,561,200	800,000	9,856	80,562,991																																																																										
貸付金	49,201,200	1,800,000	△10,561,200	0	0	40,440,000																																																																										
合計	120,193,135	0	0	800,000	9,856	121,002,991																																																																										
スクールバス・ボート運行事業 (教育総務課) 【事項別明細書 298 頁】	<p>学校統廃合等による児童生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスの運行またはスクールボートの運航を行った。</p> <p>バス 中野小～古江、大瀬地区 18 人 中野小～主師、山野、白石地区 11 人 紐差小～獅子、高越、春日地区 16 人 紐差小～宝亀地区 21 人 紐差小～大川原、赤松、木ヶ津 4 地区 14 人 津吉小～早福地区 14 人 大島小・中～板ノ浦地区 5 人</p> <p>ボート 宮の浦港～高島港 4 人 乗船延べ人数 児童 1,088 人 一般 284 人</p>	21,065																																																																														

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		810	180	修学困難とされる者に修学を促し、教育の機会均等を図ることができた。
	18,300	54	2,711	学校統廃合となった地区または公共交通機関が乏しい地域の児童生徒の安全な通学の確保ができた。 また、通学以外での市内各小中学校の学習活動（水泳指導、社会科見学等）等へ有効活用できた。

事業名	事業内容	事業費
就学対策事業 (学校教育課) 【事項別明細書 300 頁】 【事項別明細書 304 頁】	就学困難な児童生徒の保護者の負担軽減及び義務教育の円滑な実施等を図るため、就学のために必要な学校用品等の整備及び支援等を行った。 【負担金補助及び交付金】 3,538千円 遠距離等児童・生徒通学費補助金 3,116千円 遠距離等の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校(4km以上) 25人 424千円 (2) 中学校(6km以上) 72人 2,535千円 (3) 特別支援教室等通級費 15人 157千円 児童・生徒通学費助成金 422千円 学校統廃合の条件として、生月町御崎地区及び古賀江地区の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 6人 195千円 (2) 中学校 4人 227千円 【扶助費】 19,644千円 要準要保護児童生徒援助費 15,770千円 要保護及び準要保護児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 124人 1,870千円 給食 124人 4,730千円 医療 16人 123千円 (2) 中学校 就学 105人 4,064千円 給食 105人 4,836千円 医療 15人 147千円 特別支援学級就学奨励費 3,874千円 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 25人 421千円 給食 25人 1,047千円 通学 12人 289千円 (2) 中学校 就学 15人 595千円 給食 15人 754千円 通学 12人 768千円	23,182
図書教育充実事業 (学校教育課) 【事項別明細書 300 頁】 【事項別明細書 304 頁】	心の教育の充実のために、図書を購入整備し、学校図書館を充実させ、児童生徒の読書活動を推進した。	18,202

財 源 内 訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
878			22,304	児童生徒の就学環境の改善とともに、保護者の負担軽減及び義務教育が円滑に実施できた。												
		18,200	2	児童生徒の読書量が増え、休日前にも学校図書を借りて帰ることも多くなり、読書が定着、活発化してきている。 ○学校図書館標準冊数整備状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23.5.1</th> <th>H24.5.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>86.5%</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>63.2%</td> <td>71.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>76.2%</td> <td>85.0%</td> </tr> </tbody> </table>		H23.5.1	H24.5.1	小学校	86.5%	94.4%	中学校	63.2%	71.2%	計	76.2%	85.0%
	H23.5.1	H24.5.1														
小学校	86.5%	94.4%														
中学校	63.2%	71.2%														
計	76.2%	85.0%														

事業名	事業内容	事業費
学校図書館支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 300 頁】 【事項別明細書 306 頁】	市内小中学校図書館の活性化を図るため、学校図書館支援員を配置し、学校図書館の様々な取組みを支援した。 また、2人の支援員リーダーを配置し、支援員の資質の向上を図った。 支援員リーダー 2人 拠点校：平戸小 支援校：平戸中 拠点校：津吉小 支援校：南部中 支援員小学校 2人 拠点校：中野小 支援校：田助小、大島小、中野中、大島中 拠点校：志々伎小 支援校：堤小、生月小、野子小中、中部中 支援員中学校 2人 拠点校：田平中 支援校：田平北小、田平南小、田平東小、度島小中 拠点校：生月中 支援校：根獅子小、紐差小、中津良小、山田小	5,773
情報教育環境整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 308 頁】	児童生徒の情報化時代に対応できる能力を養うとともに、効果的効率的な教育の推進を図るため、児童生徒及び教職員等用のパソコンの整備を行った。 また、経年劣化による不具合が生じたプロキシ・ウィルス対策サーバの入れ替えを行った。 児童用 66台(入替) 津吉小 9台、志々伎小 9台、田平北小 20台 田平南小 9台、田平東小 10台、大島小 9台 生徒用 22台(入替) 中野中 22台 教頭・養護教諭用 20台(入替) 緊急時対応用 1台(導入)	10,007
特別支援教育支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 308 頁】	心身に障害を持つ児童生徒が、健常者と平等に楽しく学習が受けられる環境整備を図るため、特別支援教育支援員を配置し、個々の障害に応じた適切な教育にかかる側面からの支援を行った。 小学校 14人(支援対象児童 108人) 中学校 3人(支援対象生徒 39人)	16,232

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
1,046		3,629	1,098	学校図書館環境が格段に良くなり、児童生徒が図書館を積極的に活用するようになった。 ○児童生徒1人あたりの貸出冊数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>148.4冊</td> <td>169.0冊</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>14.7冊</td> <td>20.3冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100.2冊</td> <td>110.6冊</td> </tr> </tbody> </table>		平成23年度	平成24年度	小学校	148.4冊	169.0冊	中学校	14.7冊	20.3冊	計	100.2冊	110.6冊
	平成23年度	平成24年度														
小学校	148.4冊	169.0冊														
中学校	14.7冊	20.3冊														
計	100.2冊	110.6冊														
			10,007	児童生徒の情報化時代に対応できる能力の養成と効果的効率的な教育が推進できた。 また、サーバを入れ替えたことで、不具合が解消でき、安全安心な情報教育環境が図られた。												
	14,500	77	1,655	心のふれあいや協調性などを学び、心身に障害を持つ児童生徒と健常者が平等に学習できる環境が整備された。												

事業名	事業内容	事業費
小学校施設耐震診断事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	<p>児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、平成 27 年度までに学校施設の耐震化完了に向けて取り組んでおり、耐震診断未実施であった 9 小学校の屋内運動場についても整備計画を策定するため、耐震診断を行った。</p> <p>平戸小学校 S 造 2 階建 860 m² Is 値 0.13 田助小学校 S 造 平屋建 532 m² Is 値 0.40 中野小学校 S 造 平屋建 532 m² Is 値 0.25 中津良小学校 S 造 2 階建 532 m² Is 値 0.48 生月小学校 S 造 2 階建 1,073 m² Is 値 0.26 山田小学校 S 造 2 階建 839 m² Is 値 0.15 田平北小学校 S 造 2 階建 680 m² Is 値 0.37 田平南小学校 S 造 2 階建 484 m² Is 値 0.37 田平東小学校 S 造 2 階建 484 m² Is 値 0.40</p> <p>※ Is 値とは構造耐震指標のことで、柱や壁の強度を計算し値を算出しており、文部科学省は学校の建物について、0.7 以上の Is 値を求めている。</p>	10,413
平戸小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	<p>児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 37 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を実施するための設計を行った。</p> <p>平成 21 年度 耐震診断 平成 24 年度 耐震補強及び大規模改造設計 耐震補強及び大規模改造工事 (工事は平成 25 年度に繰越)</p> <p>【耐震補強設計】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,692 m² 耐震補強ブレース 8 か所 袖壁補強 8 か所</p> <p>【大規模改造設計】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,599 m² 校舎内部 (天井、床、内装、建具類)、校舎外部 (屋上防水、外壁塗装)、高圧受電設備の改修及び電気設備改修、浄化槽改修及び機械設備改修工事に係る実施設計</p>	7,879

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			10,413	9 施設全てに耐震性が無いことが確認され、耐震化完了に向けた整備計画を策定することができた。
	5,400		2,479	本年度は、耐震補強及び大規模改造工事 (平成 25 年度繰越) に先立ち、実施設計を行った。

事業名	事業内容	事業費
志々伎小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	<p>【平成 23 年度繰越明許費】</p> <p>児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 35 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を実施するための設計を行った。</p> <p>平成 21 年度 耐震診断 平成 23 年度 大規模改造設計 平成 24 年度 大規模改造工事</p> <p>【耐震補強工事】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,599 ㎡ 補強箇所 4 か所</p> <p>【大規模改造工事】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,599 ㎡ 校舎内部（天井、床、建具類）、校舎外部（屋上防水、外壁塗装）電気設備及び機械設備の改修工事</p>	116,451
子ども議会開催事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】	<p>中学生（市内 9 校×2 人）を「子ども議員」として、市議会を疑似体験する場を設定し、中学生の視点から将来の平戸市に思いを巡らせ、「魅力ある平戸市」を創るための提言を行った。</p> <p>本年度は、前年度に行った二つの一般質問に対する答弁のうち、その後の経過、進捗状況や成果について、詳しく説明を受けたい内容や疑問に思った内容について、再質問という形で質疑・答弁を行った。</p>	67
平戸市算数・数学検定事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】	<p>検定の合格を目指し学力の向上及び家庭と連携し継続的に取り組むことで家庭学習の習慣化を図るため、平戸市中学校教育研究会を中心に検定を行った。</p> <p>また、保護者への呼びかけを通して親子で計算に親しむ環境をつくり、今年度は 2 人の希望者が受検を行った。</p> <p>年 2 回開催</p> <p>更には、問題集の制作に取り組み、市内統一したものを作成した。</p>	108
外国語指導助手招致事業 (学校教育課) 【事項別明細書 308 頁】	<p>児童生徒の英語力向上並びに国際感覚を高めるため、生きた英語に慣れ親しむことを目的に、外国語指導助手を招致し、全ての小中学校で指導を行った。</p> <p>A L T (Assistant Language Teacher) 5 人 国籍：オーストラリア 5 人 (3 年目…1 人、2 年目…2 人、3 年目…2 人)</p>	23,257

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
38,241	78,100		110	児童の安全性の確保及び教育環境が整備された。
			67	身近な問題から平戸市全体の問題まで、故郷平戸市を見直すことができ、また、自らまちづくりに参画することで、郷土に対する思いやりや行政に対する関心を高めることができた。
			108	全受検者の 8 割近くの合格者に対して、合格証を与え、生徒の関心も高まり、学力の向上及び家庭学習が習慣化できた。
	7,700	88	15,469	児童生徒一人ひとりが意欲を持って学習に参加できており、英語力の向上並びに国際感覚が豊かになった。

事業名	事業内容	事業費
適応指導教室運営事業 (学校教育課) 【事項別明細書 308 頁】	不登校児童生徒の学校復帰及び学校行事への参加促進並びに学習の援助を図るため、適応指導教室を設置した。併せて、指導員を配置し、通級者へ個別の指導や家庭訪問を行った。 平成 24 年度 中学 3 年生 1 人 小学 6 年生 2 人 中学 2 年生 2 人	3,310
空き校舎活用事業 (適応指導教室) (教育総務課) 【事項別明細書 310 頁】	学校統廃合に伴う旧校舎の活用策について、地元との協議会において模索してきたが、平戸市中央部という地理的利点を生かし、不登校児童生徒の学校復帰等の適応指導教室として活用することで協議が整ったため、改修等の整備を行った。 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 280 m ² 内装工事、網戸設置工事、外部階段屋根設置工事、屋外照明設備工事、電気設備工事、給排水設備工事、電話引込工事、空調設備工事	4,535
平戸中学校校舎増改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 310 頁】	生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、老朽化等により授業に支障をきたしている校舎について、5 カ年計画の増改築事業を策定し、改築工事、既存校舎解体工事、太陽光発電設備設置工事を実施した。 グラウンド整備については、現在工事中で、平成 25 年 8 月に完成予定。 平成 21 年度 耐力度調査 平成 22 年度 地質調査、実施設計、プール解体工事 平成 23 年度 プール解体工事、本校舎建設工事 (建設工事の一部は平成 24 年度に繰越) 平成 24 年度 本校舎建設工事、既存校舎解体工事、太陽光発電設備設置、グラウンド整備工事 平成 25 年度 グラウンド整備工事 【本校舎建設工事】 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 3,930 m ²	652,402
	【平成 23 年度繰越明許費】 監理委託 5,479 千円 本校舎建設工事 277,296 千円	282,775

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		1,614	1,696	子どもたちの心のよりどころとして、効果的な学習指導及び精神的ケアが十分に機能し、中学 3 年生が卒業式に参加し、高校入試を受験、進学するとともに、小学 6 年生も卒業式に参加できた。
			4,535	適応指導教室の教育施設としての環境が整備された。
309,971	317,200		25,231	本年度は、平成 23 年度着工の本校舎建設工事及び既存校舎解体工事、太陽光発電設備設置工事が竣工し、12 月から新校舎での授業を行っており、教育環境が改善された。
108,680	165,300		8,795	

事業名	事業内容	事業費
南部中学校校舎外壁改修事業 (教育総務課) 【事項別明細書 310 頁】	南部中学校校舎は、昭和 58 年に建設され耐震性は確保されているものの、建築後 29 年以上経過しており、経年劣化が著しく、校舎の軒天や外壁が崩落している状態であることから、生徒の安全な教育環境を確保するため、外壁改修工事を行った。 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 3,139 ㎡	29,303
幼稚園就園奨励事業 (学校教育課) 【事項別明細書 312 頁】	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担軽減を図るため、私立幼稚園の保育料等を減額又は免除し、公立幼稚園との保護者負担の格差是正を行った。 私立幼稚園就園奨励費補助金 4 園 (68 人) 7,322 千円	8,162
放課後子ども教室開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 314 頁】	放課後等の子どもたちの安全で安心な活動拠点(居場所)を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために公民館及び田平東小学校で子ども教室を開催した。 子ども将棋教室 延べ開催日数 147 日、延べ参加者 852 人 東っ子ふれあい教室 延べ開催日数 75 日、延べ参加者 1,132 人	1,054
生涯学習推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 314 頁】	行政と市民の協働によるまちづくりを推進するため、市民自らが企画・立案・運営まで一貫して行う公募型の生涯学習講演会を開催し、ボランティアを育成するなど、まちづくりに向けた市民参加のための学習を推進した。 また、生涯学習だより「まなぶ君」を情報提供と啓発の場とするとともに、まちづくり出前講座における市民編の P R や生涯学習パスポート制度、生涯学習まちづくり表彰などを通じて市民の生涯学習を評価し、その成果を生かす機会を拡充した。 生涯学習講演会 2 回 出前講座 566 回 生涯学習だよりまなぶ君発行 4 回 生涯学習推進会議 1 回 生涯学習視察研修 1 回	2,060

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			29,303	生徒の安全性の確保及び教育環境が整備された。
1,754			6,408	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担が軽減された。
650			404	放課後の子どもたちの安全で安心な居場所を提供することができた。
			2,060	市民自らが学習の機会を作り、活動し、成果を活用する生涯学習のまちづくりに向けて、さまざまな企画が進み、市民の学習意欲の喚起につなげることができた。特に出前講座市民編は回数と参加者が増え認知されつつある状況である。また、生涯学習だより「まなぶ君」によって生涯学習活動全般や、拠点となる各公民館の情報を全市的に発信することができた。 参加者数 H24 H23 生涯学習講演会 1,820 人 470 人 出前講座 17,726 人 17,885 人 (うち市民編 1,918 人 1,155 人)

事業名	事業内容	事業費
少年の主張大会開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 314 頁】	平戸市内の全小中学校から 26 名の児童・生徒が参加した。 開催日：平成 24 年 6 月 16 日(土) 場所：平戸文化センター 来場者：約 350 名	142
青少年健全育成事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 316 頁】	明日を担う青少年を、心身ともに健全でたくましく育てるため、各地域の青少年健全育成活動に助成を行った。 平戸地区(13 学校区) 911 千円 田平地区 300 千円 生月地区 500 千円 大島地区 120 千円 日本の宝「しま」体感交流事業補助金 504 千円	2,382
自治公民館整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 320 頁】	地域の生涯学習の拠点施設である地区公民館の整備を図るとともに、自治活動やコミュニティの醸成を図るため、地区公民館の改修、補修の補助を行った。 地区公民館改修等(平戸地区) 稗田 743 千円 高麗町 659 千円 後平 188 千円 中の原 150 千円 紺屋町 708 千円 高越 738 千円 紐差第 4 2,357 千円 向月 150 千円 紐差第 1 592 千円 木ヶ津 3 1,981 千円 万場 343 千円	8,609
空き校舎活用事業 (旧志々伎小学校早福分校) (教育総務課) 【事項別明細書 320 頁】	学校統廃合に伴う旧校舎の活用策について、地元との協議会において模索してきたが、地元要望の 1 階部分を地区公民館として活用することが決定したため、改修等の整備を行った。 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 800 m ² 内装改修、浄化槽改修、電気設備、機械設備工事	11,708

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			142	社会問題や家庭での出来事などに対し、自分の思いや自分が果たすべき役割を堂々と主張し、来場者に感銘を与えた。また、社会や地域の問題に接し、問題解決を考えることで、自らも社会の一員であることを自覚し、社会に対する意識の向上や健全な心を育んだ。
	336		2,046	家庭・学校・地域が連携し、青少年の健全育成や社会環境の浄化、非行防止などに努めるとともに、家庭や地域の教育力が向上した。 日本の宝「しま」体感交流事業では、県内の小中学生 30 人が台風の影響も受ける中、2泊3日で大島の自然や民泊、船釣りなどの体験を行った。島の暮らし、離島の魅力を体感することにより、参加者の健全育成と地域との交流が推進された。
		1,849	6,760	地域住民のコミュニティの促進や生涯学習活動を推進するための環境が整った。
			11,708	廃校後の学校施設を、避難所を兼ねた地区公民館として整備した。 今後は、地域の拠点施設としての活用が見込まれる。

事業名	事業内容	事業費																																										
公民館講座開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 320 頁】	<p>①公民館講座開催事業 2,329 千円</p> <p>学習の場を市民に提供するため、各公民館において、女性、高齢者、成人、青年、少年等を対象に、各種事業講座、教室を開催した。また、スポーツ面においては、地域間の親睦と健康増進やスポーツの普及を図るため、軽スポーツ、新スポーツの教室を開催した。</p> <p>主催講座数 延べ受講者数</p> <table border="1"> <tr> <td>北部公民館</td> <td>17 講座</td> <td>911 人</td> </tr> <tr> <td>中部公民館</td> <td>10 講座</td> <td>850 人</td> </tr> <tr> <td>南部公民館</td> <td>17 講座</td> <td>895 人</td> </tr> <tr> <td>生月町中央公民館</td> <td>6 講座</td> <td>1,628 人</td> </tr> <tr> <td>田平町中央公民館</td> <td>12 講座</td> <td>1,931 人</td> </tr> <tr> <td>大島村公民館</td> <td>2 講座</td> <td>210 人</td> </tr> </table> <p>②公民館大会開催事業 305 千円</p> <p>『できることからはじめよう 地域づくり 人づくり』を大会テーマとして、関係者の皆様が一堂に会し、今日の公民館のあり方について議論を深めるため、平戸市公民館大会を開催した。</p> <p>開催日：平成 25 年 2 月 17 日（日） 場 所：平戸市ふれあいセンターゆめホール 講 演：村 節雄 氏 演 題：「まったりでつながる地域の輪～木ヶ津千灯籠春まつり～」 参加者：300 名</p> <p>③北部公民館まつり開催事業 190 千円</p> <p>地域住民の文化振興と生涯学習活動を推進するため、北部公民館に關係する団体が一堂に集まり、日頃の学習成果の発表や作品の展示を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,700 人</td> <td>学習成果発表</td> <td>12 団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>7 団体</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>④越南まつり開催事業（中部公民館） 170 千円</p> <p>学びあう仲間が集い、発表と交流により親睦を深め、活動のより一層の充実と生涯学習の推進及び明るく健康なひとづくり、まちづくりを進めるため越南まつりを開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,000 人</td> <td>学習成果発表</td> <td>20 団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>5 団体、個人 12 人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑤奥ひらど文化祭開催事業（南部公民館） 170 千円</p> <p>日頃の学習成果を発表し、研鑽を深めるとともに仲間づくりや文化の向上を目的に、奥ひらど文化祭を開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>810 人</td> <td>学習成果発表</td> <td>17 団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>14 団体</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	北部公民館	17 講座	911 人	中部公民館	10 講座	850 人	南部公民館	17 講座	895 人	生月町中央公民館	6 講座	1,628 人	田平町中央公民館	12 講座	1,931 人	大島村公民館	2 講座	210 人	参加者数	1,700 人	学習成果発表	12 団体	作品展示コーナー	7 団体			参加者数	1,000 人	学習成果発表	20 団体	作品展示コーナー	5 団体、個人 12 人			参加者数	810 人	学習成果発表	17 団体	作品展示コーナー	14 団体			3,164
北部公民館	17 講座	911 人																																										
中部公民館	10 講座	850 人																																										
南部公民館	17 講座	895 人																																										
生月町中央公民館	6 講座	1,628 人																																										
田平町中央公民館	12 講座	1,931 人																																										
大島村公民館	2 講座	210 人																																										
参加者数	1,700 人	学習成果発表	12 団体																																									
作品展示コーナー	7 団体																																											
参加者数	1,000 人	学習成果発表	20 団体																																									
作品展示コーナー	5 団体、個人 12 人																																											
参加者数	810 人	学習成果発表	17 団体																																									
作品展示コーナー	14 団体																																											

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			3,164	<p>①市民の学習意欲の高揚と学習情報の発信ができた。また、時代に即応した講座を開催し、市民のニーズにあった学習機会を提供することで、生涯学習への意識が高揚した。</p> <p>②この事業が“ふるさと平戸”の宝を再度見つめなおす機会となり、今後も公民館を拠点として、豊かなまちづくりを展開していくうえでの大切なものを考えることができた大会となった。</p> <p>③関係団体相互の親睦と連携が深まり、地区住民への文化振興と生涯学習の推進に貢献した。また、ふれあい広場では、もちつきや出店などを通して、参加者や地域住民相互の交流ができた。</p> <p>④地域住民の団体やサークルによる発表及び作品の展示を通して、公民館利用団体や地域住民との親睦が深まり、公民館活動の一層の充実が図られた。また、呈茶、実演・体験コーナー、バザーコーナー、ちゃんこコーナーなどを通して、地域住民の交流と世代間のふれあいの場を提供した。</p> <p>⑤学習グループや公民館関係団体の発表や作品展示を通して日頃から学んだ生涯学習の成果を発表し、グループ間の親睦交流や生涯学習の相互研鑽ができた。また、地域住民に対し、芸術文化に親しむ機会を提供した。</p>

事業名	事業内容	事業費
読書推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	<p>①子ども読書の週間記念事業（両館主催） 子ども読書週間の期間、おはなし会（紐差小、根獅子小、堤小、永田記念図書館）を開催した。</p> <p>②図書館フェスティバル（両館主催） 子どもから大人までのイベントを開催し、読書活動推進を実施した。</p> <p>開催日：平成 24 年 11 月 24 日（土） 場 所：北部公民館大ホール 参加者：490 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よみきかせ（紙風船、やよいの会） ・講演会「心と体の健康とは」 ～これからの人生をより充実したいとき～ ・廃棄本の配布など <p>③読書感想発表大会（両館主催） 本大会の開催に当り、多数の応募を得て子どもたちの読書活動への意欲を高めるとともに、図書館、学校や家庭における読書活動推進の活性化を図った。</p> <p>開催日：平成 24 年 11 月 17 日（土） 場所：ふれあいセンター 参加者：200 名</p> <p>④絵本作家ワークショップ（両館主催） 絵本作家 菊池日出夫さんを講師に迎え、自作の本の読み聞かせや、本の創作時のエピソードなどの講演会を実施し、読書推進を図った。</p> <p>開催日：平成 25 年 2 月 18 日（月） 場 所：大島小学校、大島村保育所 参加者：27 名</p> <p>⑤図書館モニターツアー 県内の先進的な図書館を市民とともに見学し、図書館運営の参考にした。</p> <p>開催日：平成 25 年 3 月 26 日（火） 場 所：嘉徳生涯学習センター夢サイトかほ 参加者：14 名</p>	621

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			621	読書感想発表大会などの読書推進事業を開催し、児童生徒を中心に読書に親しむ機会を進め、親しみのある図書館づくりを推進した。(出展数 感想文 233 点、感想画 1,086 点) また、図書館フェスティバル、図書館モニターツアー、絵本作家講演会など読書推進活動を行い、絵本の大切さ、読書の楽しみ方やその役割について、子どもから大人まで幅広く理解を深めることができた。また、定期的に読み聞かせやビデオ上映会を行い、図書館の利用促進、本にふれる機会を提供したことによって読書推進の周知ができた。

事業名	事業内容	事業費
図書購入事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	市内の図書館(室)に季節や話題の本など定期的に図書購入を行い、利用者サービスを行った。(一般書・児童書等) ・平戸図書館 2,844 冊 ・永田記念図書館 2,363 冊 ・南部公民館図書室 1,241 冊 ・生月中央公民館図書室 608 冊 ・田平中央公民館図書室 1,620 冊 ・大島村公民館図書室 1,014 冊 合計 9,690 冊	19,060
沖図書保存整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	昭和 24 年「沖楨介記念図書館」の廃館に伴い、古文書・漢籍等の 12,000 冊の寄贈を受けた。(古文書 1,700 冊、書籍 10,300 冊)。資料の重要性についての把握をするため、専従の非常勤職員・整備職員を配置した。 共済費 506 千円 賃金 3,220 千円 需用費 279 千円	4,005
総合情報センター (仮称) 整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】	ボーリング調査 2,573 千円 基本設計・実施設計 7,500 千円 平成 25 年度へ繰越	10,073
生月町開発総合センター施設整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】	生月町開発総合センターは、建造されてから 27 年が経過している。汚水処理施設、電気設備、冷却塔など対応年数経過、老朽化が進んでおり、施設の適切な管理運営を行うため、設備の改修を行った。 ●改修内容 ・汚水処理施設修繕 浄化槽配管取替、第 1・第 2・第 3 接触ばっき槽防水塗装等 ・大ホール系統冷却塔ファンモーター取替 ・電気設備取替 高圧引込ケーブル取替、高圧電機器取替等	5,390
「平戸学」推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 328 頁】	市内の資料調査を行い、その成果に基づく「平戸の家宝展」、和牛共進会に合わせて「牛にまつわる企画展」を実施し、市民への各種講座を開催した。 ・平戸の家宝展 期間：H24. 9. 8～H24. 10. 8 入場者：5,121 人 ・牛にまつわる企画展 期間：H24. 10. 14～H24. 11. 11 入場者：5,758 人	261

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		19,054	6	図書館(室)の利用者層や地域性を重視し、季節や話題の本など毎月、一般書・児童書、雑誌、新聞など資料提供を行った。また、図書システムで資料を管理しており、利用頻度に応じた本の購入によって、不足する資料の充実が図られた。
		4,001	4	新図書館オープンに向け、資料の重要性の把握・活用内容の検討を行い、資料の整理することができた。
3,918	5,800		355	平成 27 年度開館に向け、地質調査を行い、プロポーザル方式により設計者を選定し、設計業務に着手することができた。設計にあたり、住民説明会を開催し、利用者など市民と意見交換を行いながら設計を進めることができた。
			5,390	設備の改修及び取替を行うことにより、施設の適切な管理を行うことができ、利用者に社会教育施設としての機能を損なわず提供することができた。
			261	市内個人宅より約 90 点の資料を確認。内 14 点の資料を「平戸の家宝展」としてオランダ商館 2 階で展示し、本市の歴史の一端を広く紹介することができた。また、和牛共進会の開催に合わせて「牛にまつわる企画展」を開催し、歴史的支援と話題づくりに貢献することができた。商館長日記を読む会、親子で作るオランダ商館、出前講座など各種講座を開催し、本市の持つ豊かな歴史の学びの場を提供するなど平戸学を推進することができた。

事業名	事業内容	事業費
伝統的建造物群保存地区保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 328 頁】	平成 24 年度平戸市大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業は、間接補助事業で町家 4 棟の保存修理補助を行った。(うち 1 棟は 25 年度継続) また、防災施設等事業では、交流拠点施設の消防設備工事と、保存地区内 2 か所に案内・避難誘導看板の設置を行った。 ・ 伝統的建造物群保存修理事業 26,869 千円 柴山家住宅離屋修理補助金 6,152 千円 (事業費 6,973 千円) 田中家住宅修理補助金 6,841 千円 (事業費 7,713 千円) 平井家住宅修理補助金 6,876 千円 (事業費 7,763 千円) 丸田家住宅修理補助金 7,000 千円 (事業費 8,760 千円) ・ 伝統的建造物群防災施設等事業 3,129 千円 交流拠点施設消防設備工事 808 千円 案内・避難誘導看板設置工事 2,321 千円 ・ その他 229 千円	30,227
伝統的建造物群保存地区保存整備推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 328 頁】	保存計画に基づき大島村神浦伝統的建造物群としての町並み保存整備推進を行った。保存地区内の未調査建築物などの学術調査及び、痕跡調査を実施し継続的に町家の修理・修景を推進した。 ・ 修理希望調査の実施 対象 184 人 ・ 学術・痕跡調査 (4 件)	833
指定文化財維持管理事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	指定文化財の保存のため管理・整備・改修など行った。 ・ 史跡維持管理事業 236 千円 ・ 保存整備補助事業 (5 件) 169 千円 ・ 保存管理補助事業 (5 件) 115 千円 ・ ハクモクレン整備事業 275 千円 ・ 大島盆踊り開催委託 1,500 千円 ・ 棲霞園・借楽園航空写真撮影委託 158 千円 ・ 「獅子のアコウ」剪定 125 千円 ・ 消防用設備保守点検補助 52 千円 ・ 無形民俗文化財団体運営費補助 1,380 千円 ・ 事務費 61 千円	4,071
埋蔵文化財発掘調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	各種開発及び範囲確認に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。また、里田原遺跡出土の木製品の保存処理を行った。 ・ 発掘調査事業 3,359 千円 (入口遺跡・番岳遺跡・久吹遺跡・大崎みやま遺跡・生向遺跡・里田原遺跡・籠手田城跡) ・ 出土遺物保存処理委託事業 641 千円	4,000

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
20,687			9,540	町家の修理については 20 年度からこれまでに、15 棟が完了。徐々にではあるが、町家の整備が進みつつある。 間接事業 20 年度 1 棟 21 年度 4 棟 22 年度 4 棟 (うち 1 棟は 21 年度継続事業) 23 年度 4 棟 (うち 1 棟は 22 年度継続事業) 24 年度 4 棟 (うち 1 棟は 25 年度継続事業) 直接事業 公開活用施設 1 棟 防災施設等事業 (直接事業) 交流拠点施設消防設備工事 (非常通報設備) 案内・避難誘導看板設置 (保存地区内 2 か所)
			833	学術調査・痕跡調査により、調査未実施家屋の建築年代と当時の建築構造が解明された。 修理希望調査結果 25 年度修理希望件数 15 件、26 年度以降 5 件 学術調査結果 建築年代推定 江戸末期 1 棟 明治後期 3 棟
137			3,934	指定文化財の維持・管理や修理、伝承や後継者育成等に助成を行うことにより、所有者や管理者・保存会の負担を軽減し、貴重な文化財の保存・保護・継承をうながし、指定文化財としてふさわしい体裁等の保全、伝承活動の活性化を図ることができた。
2,200			1,800	発掘調査により旧石器時代の遺物(入口遺跡)を検出することができ、新たな資料を追加することができた。籠手田城跡の調査では建物遺構が確認された。 里田原遺跡から出土していた、木製品を保存処理することにより、後世に伝えることができるようになった。

事業名	事業内容	事業費
国指定重要文化財保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	「田平天主堂」鐘楼のガラリ及び鐘台座金具が、経年劣化のため破片が落ちるなど大変危険な状態にあることから、補修等に対する補助を行った。 ・国指定有形文化財「田平天主堂」 283 千円	283
重要文化的景観保護推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	国の重要文化的景観「平戸島の文化的景観」の適切な保存活用を図るため、文化的景観推進委員会を開催し、整備活用計画の策定に向けた検討と、地元まちづくり団体と共催によるイベントを実施した。また、平成 24 年度から選定地区家屋修理修景事業を行った。 ・調査研究、委員会開催 7,193 千円 ・修理修景事業 11,443 千円 志田邸家屋修理修景 4,303 千円 (分担金 1,291 千円) 志田邸倉庫修理修景 882 千円 (分担金 264 千円) 坂本邸家屋修理修景 3,319 千円 (分担金 996 千円) 村田邸家屋修理修景 2,939 千円 (分担金 882 千円) ・事務事業 674 千円	19,310
県指定文化財保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」の座敷の改修事業、県指定有形文化財「雄香寺開山堂」の消防設備修繕に対する補助を行った。 ・県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」 2,715 千円 ・県指定有形文化財「雄香寺開山堂」 58 千円	2,773
常灯の鼻修復調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 332 頁】	「史跡平戸和蘭商館跡」に位置する常灯の鼻は、経年劣化による破損が著しく、危険な状態であり、修復工事を行う必要があることから、整備委員会を県とともに開催した。 ・第 1 回整備委員会 12 月 17 日開催	558
和蘭商館関連施設発掘調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 332 頁】	和蘭商館関連施設があったとされる、田平町横島で発掘調査を行い、リンバーンと呼ばれる航海用ロープ製作場のものと関連した排水設備跡や砂岩切石集中区が検出された。 また、建築材と考えられる鉄釘も検出することができた。 ・発掘調査事業 3,496 千円 ・出土遺物保存処理委託事業 201 千円 ・空中写真撮影委託事業 446 千円 ・遺構実測委託事業 591 千円	4,734

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			283	補修補助を行なったことにより、市民・観光客への安全が確保されるとともに、国指定文化財としての構造・美観を保持することができた。
13,517		3,433	2,360	修理修景事業では、選定地区内家屋 4 棟で屋根替えなどの工事を行い、景観の保全・向上を図ることができた。 各種イベントを実施したことで、地域内の意識高揚につなげることができた。
			2,773	県指定文化財としての保存継承が可能となり、火災等への備えを整備することができた。
			558	国指定史跡地内の整備として、文化財的な判断と、今後の方向性を検討することができた。
2,516			2,218	国史跡への追加指定するため、新たな資料を加えることができた。

事業名	事業内容	事業費
和蘭商館復元整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 332 頁】	史跡地内公有地について、砂岩貼りや土系舗装による整備を実施した。整備にあたっては、発掘調査によって検出された「商館長居宅跡」と推定される遺構表示を行うなど、復元専門委員会周辺整備部会の指導の下、史跡地に相応しい整備を行った。また、オランダ塀の修復を行うとともに、事業の最終年度にあたる年から復元整備事業報告書を刊行した。 ・ 商館周辺整備工事 12,753 千円 ・ オランダ塀修復工事 1,213 千円 ・ 復元整備事業報告書刊行 4,190 千円	18,156
世界遺産登録推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 332 頁】	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の早期世界遺産登録を目指し、文化庁、県、関係市町等との連絡調整を行うとともに、関係する調査研究を実施した。また、県負担金事業により、広報活動や周知啓発グッズ作成を行った。 ・ 世界遺産登録推進負担金 1,533 千円 ・ 世界遺産登録に係る調査事業 4,137 千円 (賃金含む) ・ 保存管理計画策定に係る委託研究事業 2,999 千円 ・ 事務事業 2,755 千円	11,424
民俗芸能公開事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	国指定重要無形民俗文化財「平戸のジャンガラ」3地区(平戸、宝亀、津吉)のジャンガラ保存会、県指定無形民俗文化財「チャンココ」による、ジャンガラフェスティバルを平戸港交流広場で行った。 また、第6回ひらんどツーデーウォークにあわせて平戸民俗芸能祭を開催し、県指定無形民俗文化財「度島の盆ごうれい」「田助ハイヤ節」、市指定無形民俗文化財「築地町のジャ踊り」「館浦須古踊」の披露に加え、特別ゲストとして長崎新地中華街より「長崎獅子舞」をお招きし、平戸文化センターに特設ステージを設けて行った。 ・ ジャンガラフェスティバル 868 千円 ・ 民俗芸能祭 1,250 千円	2,139
文化公演開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	ながさき音楽祭 2012 コンサート 5 公演(神浦伝建交流拠点施設、平戸オランダ商館、宝亀教会、平戸文化センター、熊沢三郎記念館)、ひらんコンサート 2 公演(山田教会、延命寺)、次代を担う子どもの文化芸術体験事業(生月小学校)、長崎県美術館名品移動展(島の館)、県展移動展(島の館)を開催した。 ・ ながさき音楽祭 2012 コンサート 775 千円 ・ ひらんコンサート(文化協会主催) 0 千円 ・ 文化芸術体験事業(文化庁委嘱事業) 0 千円 ・ 長崎県美術館名品移動展 125 千円 ・ 県展移動展 71 千円	971

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,830	6,500	6	2,820	史跡地内公有地整備、遺構表示、オランダ塀修復を行ったことにより、一般市民や観光客が史跡地全体を散策・回遊することが可能となり、国指定史跡としての景観を整えることができた。 また、復元整備事業報告書を(300部)刊行したことにより、事業の経過とその成果を記録保存することができた。
		18	11,406	これまでの調査内容を十分反映した推薦書(原案)の提出、世界遺産構成資産地区の価値の証明を行うことができた。 また、世界遺産グッズを配布、ポスター・幟を掲示することで、世界遺産早期登録に向けた周知啓発を行うことができた。
			2,139	地域の優れた伝統文化を再認識する機会、各民俗芸能保存会の交流、保存・伝承活動の意見交換の場を設けることができた。 [ジャンガラフェスティバル] 平成24年8月4日実施 ・ 出演団体 4団体(市内3団体、市外1団体) ・ 入場者 400人 [民俗芸能祭] 平成24年9月30日実施 ・ 出演団体 5団体(市内4団体、市外1団体) ・ 入場者 450人
			971	各種コンサート、美術展など本物の舞台芸術に触れる機会を提供することができた。 ・ ながさき音楽祭 2012 コンサート 644人 ・ ひらんコンサート 155人 ・ 次代を担う子どもの文化芸術体験事業 307人 ・ 長崎県美術館名品移動展 978人 ・ 県展移動展 470人

事業名	事業内容	事業費
市民体育祭開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	市民各層のスポーツ振興、普及発展及び競技力の向上を図り、併せて市民の健康と体力の保持増進を目指し市民体育祭を開催した。 競技部大会 (開催日) 9月2日～11月3日 (競技数) 18競技 (参加者) 2,081人 健康まつり (開催日) 10月7日 (開催地区) 3地区(北部、中部、南部) (参加者数) 1,258人 生月町民運動会 (開催日) 6月3日 3,000人 田平町民運動会 (開催日) 10月7日 3,000人 大島村民体育大会 (開催日) 10月7日 650人	1,166
少年自然体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	半元キャンプ場において、自然観察・シーカヤック・キャンプファイヤーや漁師体験などの野外体験キャンプを行った。 開催日：8月7日(火)～8日(水) 場 所：半元キャンプ場 参加者：34名	99
サバイバル体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	平戸市野子町高島において、市内小学校4年生～6年生を対象に2泊3日の野外体験学習を行った。 開催日：7月23日(月)～25日(水) 場 所：旧野子小中学校高島分校 参加者：38名	564
ひらどツアー事務員雇用事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 「第6回ひらどツアーウォーク 2012」の開催にあたり、実行委員会事務局のスタッフを雇用した。	708

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,166	体育協会加盟団体による競技部大会は、その競技力向上と県民体育大会出場選手等の選考も兼ねて開催した。 市内6地区で開催した「健康まつり」や「町村民運動会」により、市民の融和と健康増進、生涯スポーツの推進に寄与することができた。
			99	自然の中での生物学習、野外炊飯などのキャンプ活動を体験し、自然と接することやリーダーシップなど団体行動での必要な知識を習得させることができ、シーカヤックやタベのつどいを通して地域間の子どもの交流ができた。2日目の漁師体験では、定置網漁を体験することで、ふるさと平戸の漁業について学ぶことができた。
			564	離島という隔絶した環境の中、市内から集まった子どもたちが共同生活により野外体験学習を行うことで、たくましい身体と精神が育成できた。
708				新たな雇用創出が図られたとともに、大会を開催するための事務局体制が整った。 新規雇用失業者数 1名

事業名	事業内容	事業費
スポーツ推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	<p>①平戸ツーデーウォーク大会開催補助金 2,500 千円 開催日：9月29日～30日 開催地区：生月地区（1日目）、平戸・田平地区（2日目） 参加者数：レギュラーコース 延べ1,813人 エコ・トレッキングコース 延べ 126人</p> <p>②社会体育推進事業補助金 4,238 千円 地域スポーツの推進を図るために、生涯スポーツ団体等に補助を行った。 体育振興会 6団体 4,238 千円</p> <p>③スポーツ推進事業補助金 4,577 千円 市民自らが健康で活力ある生活を目指して、スポーツの振興と競技力の向上を図るため、関係団体及び事業に対して補助を行った。 競技大会参加（九州大会等への参加） 24件 2,254 千円 研修会等参加事業 1件 50 千円 市長特認事業 1件 500 千円 県民体育大会参加事業 2件 1,773 千円</p> <p>④スポーツ少年団活動事業補助金 630 千円 少年スポーツの振興を通して、青少年の健全育成に資する活動に補助を行った。 団体育成事業 32件 570 千円 スポーツ交流事業 2件 60 千円</p> <p>⑤体育協会補助金 1,300 千円 本市における社会体育の普及・振興及び競技力向上を図るため、体育協会に対して助成した。 競技部強化費 19 団体</p> <p>⑥平戸縦断駅伝大会開催事業 350 千円 第43回大会を開催するにあたり、体育協会に委託を行った。 開催日：1月20日（日） コース：宮の浦～平戸文化センター 42.1Km 7区間 参加数：一般（フリー）の部 5チーム 一般（市内）の部 7チーム 高校の部 6チーム オープン部の部 1チーム</p> <p>⑦県下一周駅伝大会参加補助金 230 千円 県下42区間を3日間で競う駅伝大会に、市陸上競技協会を中心とした平戸チームに助成を行った。</p>	17,866

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		5,582	12,284	<p>① 市民を中心に誰でも気軽に参加できる歩くイベントを行い、健康増進と交流の場を提供し、地域の活性化を図ることができた。また、このイベントは市外に平戸市の魅力をアピールする絶好の機会であり、更なる地域発展につなげることができた。</p> <p>② 各地区の体育振興会及び団体による社会体育事業を通して、健康で活力ある地域づくりができた。</p> <p>③ 県代表として九州大会以上の大会に参加する競技団体等に対して、補助することにより、その競技力の向上とともに、市民スポーツ普及へつなげることができた。また、韓国少年サッカーチームと交流事業を行い、スポーツの振興につながった。</p> <p>④ 少年スポーツの競技力向上を目的に指導者に対し、正しい知識と技能を修得してもらうための研修会を行い、指導者が研修会に参加した団体に対し活動費を助成し、本市のスポーツの底辺の拡大ができた。</p> <p>⑤ 体育協会に活動補助を行い、各種団体の競技力が向上した。 (県民体育大会成績) 優勝：[団体]相撲（成年男） [個人]相撲（成年）、 [個人]水泳50M平泳ぎ（50歳以上男） 準優勝：[個人]陸上（30-39歳400m） [個人]水泳自由形・バタフライ（50歳以上男） 3位：[団体]サッカー（40歳以上男） [団体]軟式野球（成年男子） [団体]柔道（一般男子） [個人]相撲（成年男子）</p> <p>⑥ 駅伝大会を開催したことにより、駅伝競技の普及と競技力向上、底辺拡大ができた。 優勝：一般（フリー）の部：陸自大村4施大 一般（市内）の部：平戸市消防署A 高校の部：松浦高校A</p> <p>⑦ 助成をしたことにより、平戸チームの経済的負担が軽減されるとともに、レースに専念することができた。 大会結果：総合10位（全11チーム中）</p>

事業名	事業内容	事業費
第69回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 342頁】	<p>実行委員会総会等、各種会議を下記のとおりを開催した。また、先進地視察や啓発活動に努めた。</p> <p>【総会・委員会等】 平成24年5月17日：平戸市実行委員会第2回総会 平成24年4月24日：第2回常任委員会 平成25年2月：4専門委員会</p> <p>【先催地の視察・調査】 平成24年9月1～3日：東京都大島町 第51回全国教職員相撲選手権大会(兼第68回国民体育大会リハ大会) 平成24年9月29～10月4日：岐阜県大垣市ほか 第67回国民体育大会(相撲、軟式野球競技) その他、第67回国民体育大会事後調査説明会、</p> <p>【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、市内イベントでの着ぐるみPR、昭和44年国体写真展の開催、フェイスブック開設等</p> <p>【連絡調整会議等】 平成25年3月9日：東京都新宿区 第52回全国教職員相撲選手権大会三者連絡調整会議 長崎県相撲連盟との協議、放送委員の実践研修</p>	9,305
全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 342頁】	<p>実行委員会総会等、各種会議を下記のとおりを開催した。また、先進地視察や啓発活動に努めた。</p> <p>【総会・委員会等】 平成24年5月17日：平戸市実行委員会第2回総会 平成24年4月24日：第1回常任委員会 平成25年2月：4専門委員会</p> <p>【先催地の視察・調査】 北信越総体相撲競技(抽選会)平成24年7月5日 北信越総体相撲競技 平成24年8月3～5日：長野県長野市 事後調査 平成24年9月20日</p> <p>【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、PRグッズ配布、フェイスブック開設</p> <p>【連絡調整会議等】 長崎県相撲連盟との協議、高校生放送部の視察実践研修</p>	1,927

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			9,305	<p>関係機関団体等との連絡調整を図り、円滑な大会運営を期すための準備ができた。</p> <p>また、先催地の視察・調査(東京・岐阜)を行うことにより具体的な内容の把握ができ、今後の業務遂行に大いに参考となった。</p>
			1,927	<p>先催地の視察・調査(長野県長野市)を行うことにより具体的な施設面・競技運営面等、今後の業務遂行に参考となった。</p> <p>関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の県内外での実践研修を行い大会開催へ万全を期すため準備を行った。</p>

事業名	事業内容	事業費
全国高等学校総合体育大会相撲競技選手強化育成事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 342 頁】	本市高校相撲部の選手強化のため、遠征合宿・交流合宿等に係る費用の補助を行った。	500
生月町B&G海洋センター施設改修事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	生月町B&G海洋センター（プール）の改修を行った。 プール改修工事 プール鉄骨塗装改修 女子更衣室床改修 給湯ボイラー取替工事	22,852
生月町勤労者体育センター整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	生月町勤労者体育センター（野球場）の改修を行った。 【工事内容】野球場外壁クッションウォール改修、ダックアウト改修、ファールポール改修、バックネット改修、外周フェンス改修、空調機設置、放送システム改修えなど	34,713
赤坂野球場整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	赤坂野球場の改修を行った。 【工事内容】スコアボード改修、ダックアウト改修、外野壁面補修、ゴムマット改修、外周舗装改修など	22,722
生月町国民体育館耐震診断事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	地震発生時における施設の安全性確保のため、耐震診断を行った。 耐震診断委託料 903 千円	903
給食共同調理場設備整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 346 頁】	安全安心な給食を提供するため、老朽化した設備機器及び調理用機械器具の更新を行った。	19,959

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		500		遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手の技術力が向上した。
		12,100	10,752	老朽化した施設を改修することで、安全性が向上し、市民が安心して利用できるようになった。
603	14,600	19,301	209	平成 26 年度開催の第 69 回国民体育大会軟式野球競技を実施するための環境が整った。
		6,679	16,043	
301			602	耐震基準を満たした施設であることが判明し、安全性が確認できた。
			19,959	各調理場において、作業の効率化と衛生面が大幅に改善し、児童生徒等に安全安心でおいしい給食を提供できるようになった。

【 11 款 災害復旧費 】

農地・漁港等並びに公共土木施設の機能回復及び保全、地域の安全性の向上及び経営の安定を図るため、平成 23 年 6 月及び 7 月の梅雨前線豪雨、8 月及び 10 月の豪雨、平成 24 年 6 月の台風 4 号及び梅雨前線豪雨、7 月の梅雨前線豪雨、9 月の豪雨による農地及び農業用施設並びに漁港、道路・河川、学校施設等の被災した箇所等の災害復旧工事を実施した。

事業名	事業内容	事業費
農地等災害復旧事業 (農林課) 【事項別明細書 348 頁】 【事項別明細書 350 頁】	23 年災 (過年災) 農地 150 か所 159,581 千円 農業用施設 81 か所 115,396 千円 その他 (事務費) 5,286 千円	280,263
	24 年災 (現年災) 農地 3 か所 2,363 千円 農業用施設 2 か所 1,444 千円 単独工事費 1,000 千円 その他 (事務費) 934 千円 測量設計委託 152 か所 15,006 千円	20,747
	【平成 23 年度繰越明許費】 23 年災 (現年災) 農地 76 か所 72,642 千円 農業用施設 47 か所 75,334 千円 その他 (事務費) 131 千円	148,107
漁港施設災害復旧事業 (建設課) 【事項別明細書 350 頁】	24 年災 (現年災) 根獅子漁港 14,518 千円 -2.5m 航路災害復旧工事 L=107.0m 浚渫面積 A=2,493m ² 宝亀漁港 測量業務委託 L=61.0m 441 千円	14,959

【被災箇所数】

農地等災害復旧事業

平成 24 年度発生件数 農地 136 か所 農業用施設 43 か所 計 179 か所
平成 23 年度発生件数 農地 232 か所 農業用施設 130 か所 計 362 か所

公共土木施設災害復旧事業

平成 24 年度発生件数 道路 8 か所 河川 10 か所 海岸 1 か所 計 19 か所
平成 23 年度発生件数 道路 38 か所 河川 34 か所 計 72 か所

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
260,368	15,600	3,042	1,253	被災箇所の復旧工事を行ったことにより、農地等の機能が回復し、農地 (国土) の保全、農業生産力の維持及び農業経営の安定化に寄与することができた。
8,960	6,300	134	5,353	
127,120	10,200	2,846	7,941	
6,340	3,166		5,453	この復旧工事により、漁港施設の機能が回復され、漁業活動の安全が確保された。

事業名	事業内容	事業費
公共土木施設災害 復旧事業 (建設課) 【事項別明細書 352 頁】	24年災(現年災) [補助災害] 道 路 8 か所(うち離島2か所) 40,995千円 河 川 9 か所 15,757千円 海 岸 1 か所 19,816千円 そ の 他(事務費) 4,043千円 1,379千円 [単独災害] 道 路 2 か所 1,042千円 そ の 他(事務費) 995千円 47千円	42,037
	【平成23年度繰越明許費】 23年災(現年災) [補助災害] 道 路 6 か所(うち離島1か所) 183,928千円 河 川 21か所 20,777千円 そ の 他(事務費) 162,773千円 378千円	183,928
公立学校施設災害 復旧事業 (教育総務課) 【事項別明細書 352 頁】	24年災(現年災) 大島中学校敷地法面 L=16.5m 6,354千円 測量設計委託 1,029千円	7,383

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
27,559	13,100		1,378	風雨における災害箇所への復旧工事により、河川及び道路の機能が回復し、河川流域住民の安全が保たれ、道路の交通安全が確保された。
127,087	56,800		41	
4,929	1,200		1,254	この復旧工事により、学校施設としての機能が回復され、学校生活における生徒の安全が確保された。

【 12 款 公債費 】

1 市債繰上償還

平成 19 年度から 21 年度までは、総人件費の削減等を内容とする財政健全化計画、または公営企業経営健全化計画を策定し、新規市債発行額を元金償還額以下に抑制し、市債残高を減らしていくとともに、年利 5%以上の公的資金（財政融資資金、簡保資金、公営公庫資金）に係る残債の積極的な繰上償還を行い、財政の健全化を図った。

平成 22 年度からは、健全な財政運営に資するため、民間資金（銀行引受資金）に係る市債繰上償還を実施している。平成 24 年度においては、公営住宅事業債の抑制と併せて繰上償還を行い、実質公債費比率の減少及び将来の地方債負担の軽減を図ることができた。

表 1 平成 24 年度繰上償還額及び利子影響額（一般会計）（単位：千円）

年度	対象債利率	繰上償還額	利子影響額	備考
H24	1.20%～1.40%	1,471,579	125,046	任意の繰上償還（銀行引受分）
H23	1.40%～1.80%	625,588	35,046	任意の繰上償還（銀行引受分）
H22	1.70%～2.20%	378,247	20,132	任意の繰上償還（銀行引受分）370,120 獅子小・野子小高島分校（簡保資金）8,127
H21	5.50%～6.70%	255,078	46,638	補償金免除（財政融資、簡保）255,078
H20	5.00%～7.10%	353,156	68,607	補償金免除（財政融資、簡保、金融公庫）326,001 たびらんど（年金資金）27,155
H19	7.10%	17,368	1,044	補償金免除（財政融資）16,468 津吉小学校（簡保資金）900
H18		2,734		野子中高島分校（簡保資金）2,734

図 1 地方債借入額、償還額及び実質公債費比率の推移

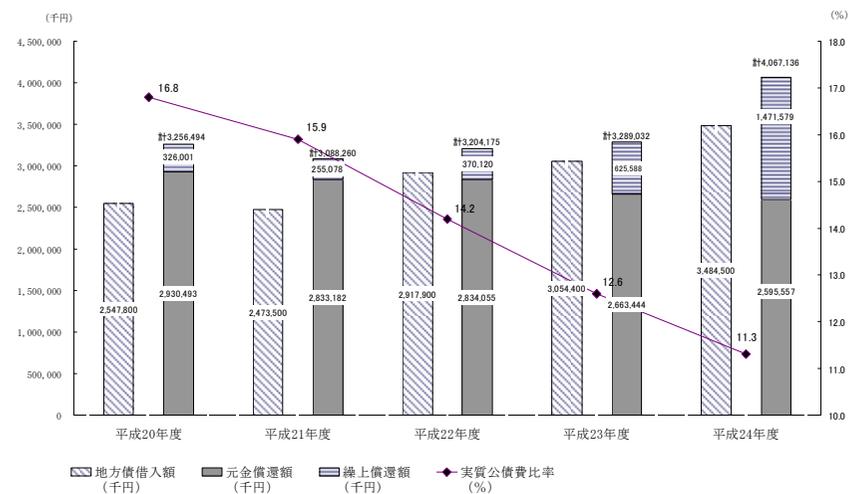
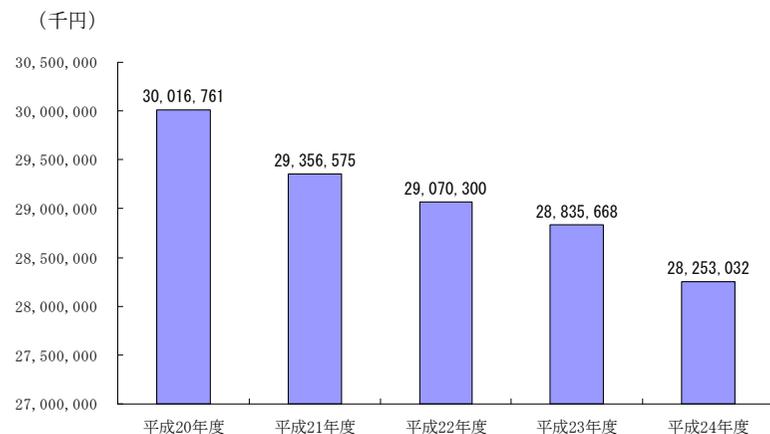


図 2 地方債現在高



※図 1、2 の地方債借入額、元金（繰上）償還額及び現在高は、一般会計のみを計上。

※21 年度における電気事業特別会計の新設により、図 2 の 21 年度以降の現在高には、電気事業分の起債現在高（21 年度 38,245 千円、22 年度 30,912 千円、23 年度 23,424 千円）は含まない。

別紙 雇用対策事業

1 雇用対策事業

平成 21 年度から深刻な雇用失業情勢を踏まえ、国の交付金を財源として県に創設された、「緊急雇用創出事業臨時特例基金事業」の助成を受け、雇用機会の創出に取り組んだ。

(1) 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業

本事業は市が直接実施または民間企業等へ委託して、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までをつなぐ短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業で、11 事業を実施し 61 人の新規雇用を創出した。

○緊急雇用創出事業臨時特例基金事業一覧

(単位：千円)

事業名	担当課	事項別明細書	事業費	労働者数(人)		実施方法
					うち新規雇用失業者数	
平戸英国商館設置 400 周年推進事業	政策推進課	118 頁	468	1	1	直接
高齢者生きがいづくりサポート事業	長寿保険課	150 頁	3,969	2	2	委託
農援隊設置事業	農林課	198 頁	26,995	14	14	委託
農業振興地域整備計画更新事業	農林課	200 頁	21,553	19	13	委託
担い手コーディネーター設置事業	農林課	202 頁	1,940	2	2	委託
林道環境整備事業	農林課	216 頁	1,916	3	2	委託
漁港海岸施設老朽化調査及びシステム化事業	水産課	228 頁	6,825	12	7	委託
地域資源ブランド化推進事業	商工物産課	238 頁	10,292	4	4	委託
ひらどキャラクターまちなか賑わい事業	商工物産課	240 頁	29,258	16	13	委託
“おもてなし”モデル施設創出事業	観光課	242 頁	5,335	2	2	委託
ひらどツアーウォーク事務補助員雇用事業	生涯学習課	340 頁	708	1	1	委託
計			109,259	76	61	

※上記事業費については、全体事業費のうち当該事業の対象経費を計上。